

令和3年度(2021年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和4年8月



令和3年度(2021年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目 次 >

< I・調査方法等 >

1. 調査概要	1
2. 表記区分	1
3. 注意事項	2

< II・回収状況 >

回収状況	5
------	---

< III・調査結果及びその概要 >

1. 学校全体の学生数	7
2. 障害学生数	8
(1) 障害学生数	
(2) 障害学生在籍率	
(3) 障害種別の障害学生数	
(4) 障害種別・学科(専攻)別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)	
3. 障害学生在籍学校数	16
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別	
4. 支援障害学生数	19
(1) 支援障害学生数	
(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率	
(3) 障害種別の支援障害学生数	
(4) 障害種別・学科(専攻)別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)	
5. 支援障害学生在籍学校数	27
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別	
6. 支援の実施状況	30
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別	
ア 授業支援(総表)	
イ 授業以外の支援(総表)	

ウ 授業支援(大学)	
エ 授業以外の支援(大学)	
オ 授業支援(短期大学)	
カ 授業以外の支援(短期大学)	
キ 授業支援(高等専門学校)	
ク 授業以外の支援(高等専門学校)	
(3)主な支援	
ア 視覚障害	
イ 聴覚・言語障害	
ウ 肢体不自由	
エ 病弱・虚弱	
オ 発達障害	
カ 精神障害	
7. 障害学生支援に関する体制等.....	43
(1)障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)	
(2)専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)	
(3)紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)	
(4)1)障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)	
2)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)	
3)障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生数別・学校種別)	
(5)障害学生の相談受付窓口	
(6)支援の申し出等に関する対応手順	
(7)施設・設備の整備状況(学校種別・内容別)	
(8)支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数(支援学生数別・学校種別)	
8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況.....	53
(1)学校種別・障害学生在籍者数別	
(2)学校種別・内容別	
9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等	57
(1)入学者選抜における配慮に関する体制	
(2)入学者選抜において実施可能な配慮	
(3)障害のある入学者数等(障害種別・学校種別)	
(4)受験上の配慮を行なった受験者数(障害種別・学校種別)	
(5)入学者選抜において実施した配慮の内容(障害種別)	
10. 障害学生の卒業後の進路	64
進路状況(学校種別・障害種別)	
11. 発達障害学生支援状況(一部再掲)	69
(1)発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学校種別)	
(2)発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学科(専攻)別)	
(3)発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数(学校種別)	
(4)発達障害のある学生への支援(支援内容別)	
(5)発達障害を理由とする受験上の配慮(学校種別)	
(6)発達障害学生の卒業後の進路状況(学校種別)	
<IV・参考資料>	
調査の手引	75
調査票(大学・大学院用)	89

< I・調査方法等 >

1.調査概要

- (1) 目的:障害のある学生(以下「障害学生」という。)の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校(以下「学校」という。)における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象:大学(専門職大学、大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ。)、短期大学(大学内に短期大学部を有している場合及び専門職短期大学、専攻科を含む。以下同じ。)、高等専門学校(専攻科を含む。以下同じ。)
- (3) 調査方法:悉皆調査
- 各学校が独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトから調査票をダウンロードし、回答を記入後、メール添付で提出する。
- (4) 調査期日:令和3年5月1日現在

2.表記区分

(1)学校種別

学校種別	区 分
大 学	大学(専門職大学、大学院、大学院大学及び専攻科を含む。)
短期大学	短期大学(大学内に短期大学部を有している場合及び専門職短期大学、専攻科を含む。)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む。)

(2)課程別

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	本科(通学)	本科生
	専攻科	専攻科生

※調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生を含まない。

(3)障害種別

障害種別	区分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書有)	SLD(限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD(注意欠如・多動症／ 注意欠如・多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラ ム障害)、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他 の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害(診断書 無・配慮有)	SLD(限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD(注意欠如・多動症／ 注意欠如・多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラ ム障害)

3.注意事項

(1)本調査における用語の定義

①「障害学生」とは、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)

②「支援障害学生」とは、学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている(今年度中の支援予定を含む。)障害学生

支援例:ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、校内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

③障害種別の内訳区分

【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用した教育が必要な程度

弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度(視野障害や、明るいところがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む。)

※色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨(色覚異常、片目の失明)を記入する。

【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能、又は著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂）

【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指及び各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指及び各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害及び運動の障害

【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者を指す。

内部障害等（※1）……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の 疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者。

※1：「身体障害者障害程度等級表」又は「小児慢性特定疾病」に該当する者

他の慢性疾患（※2）……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者。又は健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はここに計上する。）。

※2：これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】

以下のとおり、障害が重複している者

○2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

※発達障害又は精神障害と他の障害の重複については、ここには計上しない。

（別途調査：14、15 ページ、25、26 ページ参照）

【発達障害（診断書有）】

発達障害に関する医師の診断書がある者

SLD……限局性学習症／限局性学習障害（ILD：学習障害）

ADHD……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害(旧注意欠陥／多動性障害)

ASD……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害(ICD-10 F20-F29に該当する疾患)

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分(感情)障害等(ICD-10 F30-F39に該当する疾患)

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害(強迫神経症)、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性(転換性)障害、身体表現性障害、神経衰弱等(ICD-10 F40-F48に該当する疾患)

摂食障害・睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等(ICD-10 F50-F59に該当する疾患)

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等

【その他の障害】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者。又は健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者。

※多汗症、原因を特定することができない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

(2) 発達障害学生数について

発達障害学生数について、医師の診断書がない場合は「障害学生数」に含めていない。しかし、学校における支援の実態等に鑑み、以下の定義により発達障害(診断書無・配慮有)の学生数、支援内容について回答を得ている。

【発達障害(診断書無・配慮有)】

発達障害があるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援(教育上の配慮等)を行なっている者

※何らかの支援(教育上の配慮等)とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものを含まない。

SLD……限局性学習症／限局性学習障害(旧LD：学習障害)

ADHD…注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害(旧注意欠陥／多動性障害)

ASD……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

区分不明……上記の3つのいずれに該当するかが不明の者

< Ⅱ・回收状況 >

回収状況

本年度の回収率は100%である。

なお、本調査の回収率は、調査を開始した平成17年度が90.5%、平成18年度が93.8%、平成19年度からは平成24年度(※)を除いて回収率100%を達成している。

※閉校となる私立大学1校が未回答のため99.9%

区 分		対象校数 (校)		回答校数 (校)		回収率 (%)	
大学	国立	86	(86)	86	(86)	100.0	(100.0)
	公立	98	(94)	98	(94)	100.0	(100.0)
	私立	625	(621)	625	(621)	100.0	(100.0)
	小計	809	(801)	809	(801)	100.0	(100.0)
短期大学	国立	—	(—)	—	(—)	—	(—)
	公立	14	(15)	14	(15)	100.0	(100.0)
	私立	296	(300)	296	(300)	100.0	(100.0)
	小計	310	(315)	310	(315)	100.0	(100.0)
高等専門 学校	国立	51	(51)	51	(51)	100.0	(100.0)
	公立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	私立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	小計	57	(57)	57	(57)	100.0	(100.0)
計		1,176	(1,173)	1,176	(1,173)	100.0	(100.0)

【留意点】

- ①表中の()内は、前年度の調査結果の数値である。
- ②表中の比率(%)については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

※上記の【留意点】については、次の<Ⅲ・調査結果及びその概要>においても同様である。

< Ⅲ・調査結果及びその概要 >

1. 学校全体の学生数

学校からの回答における令和3年5月1日時点の学生数

表1 学校全体の学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計	3,233,301 (3,228,488)	2,774,121 (2,781,189)	193,515 (181,908)	255,028 (254,084)	3,694 (3,570)	6,943 (7,737)
大学	3,055,843 (3,047,227)	2,621,783 (2,623,428)	174,171 (164,450)	255,028 (254,084)	3,694 (3,570)	1,167 (1,695)
国立	585,398 (587,900)	433,582	—	151,497	—	319
公立	158,433 (156,366)	141,196	—	17,090	—	147
私立	2,312,012 (2,302,961)	2,047,005	174,171	86,441	3,694	701
短期大学	120,555 (124,340)	98,624 (104,064)	19,344 (17,458)	—	—	2,587 (2,818)
国立	—	—	—	—	—	—
公立	5,348 (5,755)	5,230	—	—	—	118
私立	115,207 (118,585)	93,394	19,344	—	—	2,469
高等専門学校	56,903 (56,921)	53,714 (53,697)	—	—	—	3,189 (3,224)
国立	51,315 (51,164)	48,359	—	—	—	2,956
公立	3,771 (3,799)	3,600	—	—	—	171
私立	1,817 (1,958)	1,755	—	—	—	62

()内は前年度数値

2.障害学生数

(1)障害学生数

<概要>

- 「大学、短期大学及び高等専門学校」の障害学生数は40,744人で、前年度(35,341人)より5,403人の増。
- 学校種別で見ると次のとおり。
 - ・「大学」に在籍している障害学生は36,414人で、前年度(31,689人)より4,725人の増。
 - ・「短期大学」は1,780人で前年度(1,541人)より239人の増。
 - ・「高等専門学校」は2,550人で前年度(2,111人)より439人の増。
- 課程別で見ると、在籍者が多い順に「大学の学部(通学)」の32,013人で、前年度(28,002人)より4,011人の増。「高等専門学校の本科(通学)」の2,484人で、前年度(2,055人)より429人の増。「大学院(通学)」の2,210人で、前年度(1,850人)より360人の増。「大学の学部(通信)」の2,159人で、前年度(1,809人)より350人の増。「短期大学の学科(通学)」の1,749人で、前年度(1,509人)より240人の増。

表2 障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

	(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		40,744 (35,341)	36,246 (31,566)	2,175 (1,832)	2,210 (1,850)	19 (15)	94 (78)
大学		36,414 (31,689)	32,013 (28,002)	2,159 (1,809)	2,210 (1,850)	19 (15)	13 (13)
国立		7,358 (6,438)	5,846	—	1,506	—	6
公立		2,113 (2,187)	1,957	—	156	—	0
私立		26,943 (23,064)	24,210	2,159	548	19	7
短期大学		1,780 (1,541)	1,749 (1,509)	16 (23)	—	—	15 (9)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		155 (139)	155	—	—	—	0
私立		1,625 (1,402)	1,594	16	—	—	15
高等専門学校		2,550 (2,111)	2,484 (2,055)	—	—	—	66 (56)
国立		2,219 (1,826)	2,160	—	—	—	59
公立		247 (205)	243	—	—	—	4
私立		84 (80)	81	—	—	—	3

()内は前年度数値

(2)障害学生在籍率

<概要>

○全学生(3,233,301人)に占める障害学生の在籍率は1.26%で、前年度(1.09%)より0.17ポイントの増。

・学校種別の設置者別に見ると、障害学生の在籍率が高い順に「公立高等専門学校」の6.50%で、前年度(5.40%)より1.10ポイントの増。「私立高等専門学校」の4.62%で、前年度(4.09%)より0.53ポイントの増。「国立高等専門学校」の4.32%で、前年度(3.57%)より0.75ポイントの増。

・学校種別の課程別を見ると、障害学生の在籍率が高い順に「公立高等専門学校の学部(通学)」の6.75%、「私立高等専門学校の専攻科」の4.84%。また、「公立大学(専攻科)」及び「公立短期大学(専攻科)」に障害学生は在籍しない。

表3 障害学生在籍率 [学校種別・設置者別・課程別]

	(%)	全体の在籍率	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		1.26 (1.09)	1.31 (1.13)	1.12 (1.01)	0.87 (0.73)	0.51 (0.42)	1.35 (1.01)
大学		1.19 (1.04)	1.22 (1.07)	1.24 (1.10)	0.87 (0.73)	0.51 (0.42)	1.11 (0.77)
国立		1.26 (1.10)	1.35	—	0.99	—	1.88
公立		1.33 (1.40)	1.39	—	0.91	—	0
私立		1.17 (1.00)	1.18	1.24	0.63	0.51	1.00
短期大学			学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
		1.48 (1.24)	1.77 (1.45)	0.08 (0.13)	—	—	0.58 (0.32)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		2.90 (2.42)	2.96	—	—	—	0
私立		1.41 (1.18)	1.71	0.08	—	—	0.61
高等専門学校			本科(通学)	—	—	—	専攻科
		4.48 (3.71)	4.62 (3.83)	—	—	—	2.07 (1.74)
国立		4.32 (3.57)	4.47	—	—	—	2.00
公立		6.55 (5.40)	6.75	—	—	—	2.34
私立		4.62 (4.09)	4.62	—	—	—	4.84

()内は前年度数値

(3)障害種別の障害学生数

<概要>

○障害種別で見た障害学生数は、多い順に「精神障害」の12,228人で、前年度(9,682人)より2,546人の増。「病弱・虚弱」の11,830人で、前年度(10,720人)より1,110人の増。「発達障害」の8,698人で、前年度(7,654人)より1,044人の増。

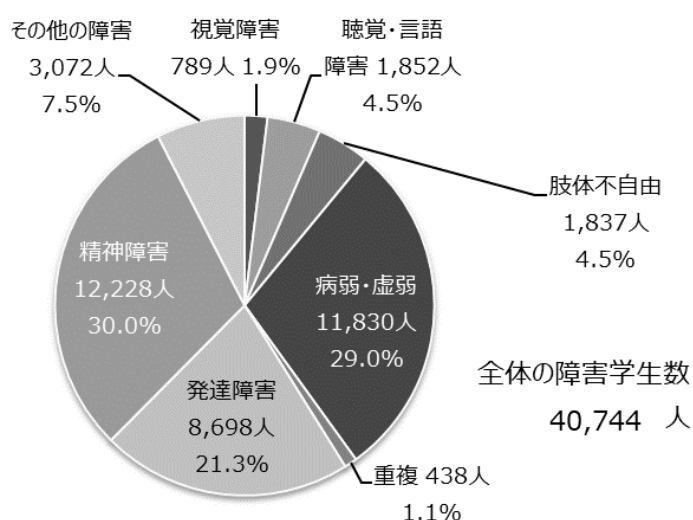


図1 障害学生数[障害種別]

表4 障害学生数 [障害種別・学校種別]

(人)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	40,744 (35,341)	36,414 (31,689)	1,780 (1,541)	2,550 (2,111)
視覚障害	789 (767)	752 (733)	10 (21)	27 (13)
盲	130 (133)	130	0	0
弱視	659 (634)	622	10	27
聴覚・言語障害	1,852 (1,798)	1,733 (1,684)	46 (53)	73 (61)
聾	504 (516)	499	4	1
難聴	1,300 (1,233)	1,197	42	61
言語障害のみ	48 (49)	37	0	11
肢体不自由	1,837 (1,901)	1,726 (1,815)	61 (45)	50 (41)
上肢機能障害	298 (296)	270	19	9
下肢機能障害	652 (711)	607	21	24
上下肢機能障害	570 (644)	549	9	12
他の機能障害	317 (250)	300	12	5
病弱・虚弱	11,830 (10,720)	10,388 (9,503)	756 (662)	686 (555)
内部障害等	7,548 (6,924)	6,762	436	350
他の慢性疾患	4,282 (3,796)	3,626	320	336
重複	438 (311)	413 (300)	9 (7)	16 (4)
発達障害	8,698 (7,654)	7,368 (6,466)	278 (249)	1,052 (939)
SLD	243 (222)	210	15	18
ADHD	2,648 (2,116)	2,245	80	323
ASD	4,212 (3,951)	3,542	140	530
発達障害の重複	1,595 (1,365)	1,371	43	181
精神障害	12,228 (9,682)	11,512 (9,090)	445 (363)	271 (229)
統合失調症等	751 (675)	718	26	7
気分障害	3,602 (2,699)	3,431	101	70
神経症性障害等	4,525 (3,554)	4,277	161	87
摂食障害・睡眠障害等	882 (773)	817	40	25
他の精神障害	2,468 (1,981)	2,269	117	82
その他の障害	3,072 (2,508)	2,522 (2,098)	175 (141)	375 (269)

()内は前年度数値

(4)障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

<概要>

○大学に在籍している障害学生数(36,414人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」8,220人、「人文科学」7,618人、「工学」5,493人。

表5 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別](大学)

(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計	36,414	7,618	8,220	1,484	5,493	1,438	703	3,561	27	819	2,066	1,999	2,986
視覚障害	752	81	188	21	105	8	5	81	2	13	39	32	177
盲	130	15	25	5	12	0	1	9	0	0	6	11	46
弱視	622	66	163	16	93	8	4	72	2	13	33	21	131
聴覚・言語障害	1,733	256	409	65	304	53	32	153	0	36	151	135	139
聾	499	57	115	10	146	7	1	12	0	10	40	66	35
難聴	1,197	193	289	53	149	44	31	137	0	26	107	67	101
言語障害のみ	37	6	5	2	9	2	0	4	0	0	4	2	3
肢体不自由	1,726	376	551	50	171	29	24	129	0	22	93	82	199
上肢機能障害	270	58	75	10	30	9	3	16	0	6	26	12	25
下肢機能障害	607	115	167	16	56	12	12	64	0	7	31	38	89
上下肢機能障害	549	131	208	21	49	6	7	28	0	3	22	19	55
他の機能障害	300	72	101	3	36	2	2	21	0	6	14	13	30
病弱・虚弱	10,388	1,813	2,486	228	1,360	448	214	1,539	0	319	643	476	862
内部障害等	6,762	1,179	1,553	181	913	263	167	986	0	215	411	325	569
他の慢性疾患	3,626	634	933	47	447	185	47	553	0	104	232	151	293
重複	413	80	88	7	88	9	2	38	0	4	24	24	49
発達障害	7,368	1,669	1,496	518	1,516	384	71	324	8	86	302	482	512
SLD	210	39	49	7	31	9	0	13	0	4	12	21	25
ADHD	2,245	507	434	133	428	109	30	130	4	33	114	157	166
ASD	3,542	813	745	240	787	180	36	144	3	37	120	213	224
発達障害の重複	1,371	310	268	138	270	86	5	37	1	12	56	91	97
精神障害	11,512	2,903	2,459	528	1,550	423	306	889	17	257	654	617	909
統合失調症等	718	171	179	24	97	15	20	35	0	9	32	49	87
気分障害	3,431	910	669	180	486	117	109	239	2	58	212	192	257
神経症性障害等	4,277	1,079	941	197	538	179	120	355	13	87	245	187	336
摂食障害・睡眠障害等	817	174	125	32	105	43	31	91	1	48	45	47	75
他の精神障害	2,269	569	545	95	324	69	26	169	1	55	120	142	154
その他の障害	2,522	440	543	67	399	84	49	408	0	82	160	151	139

(4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

<概要>

○短期大学に在籍している障害学生数(1,780人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」502人、「家政」322人、「社会」240人。

表6 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

(人)	計	人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他
計	1,780	214	240	26	41	37	115	322	502	130	153
視覚障害	10	1	3	0	0	0	0	0	3	3	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	10	1	3	0	0	0	0	0	3	3	0
聴覚・言語障害	46	8	4	2	1	0	5	12	10	3	1
聾	4	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1
難聴	42	8	3	2	1	0	5	11	9	3	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	61	10	15	2	0	0	4	8	10	3	9
上肢機能障害	19	3	3	1	0	0	3	2	4	1	2
下肢機能障害	21	2	6	0	0	0	0	6	3	1	3
上下肢機能障害	9	3	1	1	0	0	1	0	1	0	2
他の機能障害	12	2	5	0	0	0	0	0	2	1	2
病弱・虚弱	756	67	96	6	10	24	67	143	257	25	61
内部障害等	436	43	57	4	9	8	42	77	141	20	35
他の慢性疾患	320	24	39	2	1	16	25	66	116	5	26
重複	9	1	0	0	0	0	1	1	3	3	0
発達障害	278	46	34	9	16	2	4	55	40	42	30
SLD	15	0	1	1	0	0	0	4	0	4	5
ADHD	80	14	12	3	5	1	3	12	15	11	4
ASD	140	28	15	3	7	1	1	31	20	16	18
発達障害の重複	43	4	6	2	4	0	0	8	5	11	3
精神障害	445	67	61	5	10	7	22	74	117	46	36
統合失調症等	26	4	4	0	0	1	1	4	5	5	2
気分障害	101	15	13	0	2	3	5	16	20	16	11
神経症性障害等	161	31	16	2	3	2	10	25	47	14	11
摂食障害・睡眠障害等	40	4	4	0	1	1	3	11	10	4	2
他の精神障害	117	13	24	3	4	0	3	18	35	7	10
その他の障害	175	14	27	2	4	4	12	29	62	5	16

(4)障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

<概要>

○高等専門学校に在籍している障害学生(2,550人)を学科(専攻)別に見ると、ほとんどの障害学生(2,510人)が「工業」に在籍している。

表7 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社 会	工 業	商 船	芸 術
計		2,550	13	2,510	10	17
視覚障害		27	0	27	0	0
盲		0	0	0	0	0
弱視		27	0	27	0	0
聴覚・言語障害		73	0	73	0	0
聾		1	0	1	0	0
難聴		61	0	61	0	0
言語障害のみ		11	0	11	0	0
肢体不自由		50	0	50	0	0
上肢機能障害		9	0	9	0	0
下肢機能障害		24	0	24	0	0
上下肢機能障害		12	0	12	0	0
他の機能障害		5	0	5	0	0
病弱・虚弱		686	8	672	0	6
内部障害等		350	3	342	0	5
他の慢性疾患		336	5	330	0	1
重複		16	0	16	0	0
発達障害		1,052	1	1,041	7	3
SLD		18	1	17	0	0
ADHD		323	0	319	4	0
ASD		530	0	527	1	2
発達障害の重複		181	0	178	2	1
精神障害		271	0	265	1	5
統合失調症等		7	0	6	0	1
気分障害		70	0	67	1	2
神経症性障害等		87	0	85	0	2
摂食障害・睡眠障害等		25	0	25	0	0
他の精神障害		82	0	82	0	0
その他の障害		375	4	366	2	3

(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)

<概要>

○発達障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると次のとおり。

- ・多い順に「精神障害」との重複が344人、「病弱・虚弱」との重複が157人となっている。
- ・学校種別で見ると、「大学」と「短期大学」では「精神障害」との重複が最も多く、「高等専門学校」では「病弱・虚弱」との重複が最も多くなっている。

○精神障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると次のとおり。

- ・多い順に「発達障害」との重複が799人、「病弱・虚弱」との重複が182人となっている。
- ・学校種別で見ると、すべての学校種において「発達障害」との重複が最も多くなっている。

表8 発達障害と他の障害が重複している障害学生数 [障害種別]

	(人) 計	大学			発達障害の重複	短期大学			発達障害の重複	高等専門学校			発達障害の重複			
		S L D	A D H D	A S D		S L D	A D H D	A S D		S L D	A D H D	A S D				
計	704	614	12	224	278	100	26	2	12	9	3	64	3	14	33	14
視覚障害	10	9	0	1	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
盲	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	9	8	0	1	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
聴覚・言語障害	29	27	0	12	12	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1
聾	15	15	0	7	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	13	12	0	5	6	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
肢体不自由	22	20	3	2	8	7	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0
上肢機能障害	3	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	8	7	0	2	3	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
上下肢機能障害	6	5	1	0	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
他の機能障害	5	5	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	157	127	5	39	61	22	9	0	4	4	1	21	1	4	12	4
内部障害等	81	72	2	27	32	11	3	0	2	1	0	6	0	0	4	2
他の慢性疾患	76	55	3	12	29	11	6	0	2	3	1	15	1	4	8	2
重複	86	73	1	29	27	16	4	2	1	0	1	9	1	3	5	0
精神障害	344	314	2	124	145	43	10	0	5	5	0	20	1	3	12	4
統合失調症等	25	24	0	2	18	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
気分障害	120	110	1	62	31	16	4	0	2	2	0	6	0	1	4	1
神経症性障害等	101	94	0	32	54	8	2	0	1	1	0	5	1	1	2	1
摂食障害・睡眠障害等	20	16	0	6	7	3	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0
他の精神障害	78	70	1	22	35	12	2	0	0	2	0	6	0	1	3	2
その他の障害	56	44	1	17	17	9	2	0	2	0	0	10	0	2	4	4

表9 精神障害と他の障害が重複している障害学生数 [障害種別]

	(人)	大学				短期大学				高等専門学校				他の精神障害					
		計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害		
計	1,218	1,134	34	337	325	91	347	38	1	10	8	4	15	46	3	14	4	5	20
視覚障害	11	10	0	3	4	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
盲	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	10	9	0	2	4	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
聴覚・言語障害	17	17	0	3	5	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聾	12	12	0	2	3	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	5	5	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	38	38	1	6	10	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	12	12	0	3	4	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	16	16	1	2	4	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	7	7	0	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	182	170	11	30	43	17	69	5	0	1	1	0	3	7	0	3	2	1	1
内部障害等	108	104	7	20	32	9	36	1	0	0	0	0	1	3	0	1	1	0	1
他の慢性疾患	74	66	4	10	11	8	33	4	0	1	1	0	2	4	0	2	1	1	0
重複	92	84	5	31	21	10	17	4	0	0	1	0	3	4	0	3	0	1	0
発達障害	799	741	17	244	222	57	201	27	1	8	6	3	9	31	3	8	1	3	16
SLD	10	10	0	1	2	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	275	254	5	102	64	23	60	12	1	6	3	0	2	9	0	2	0	1	6
ASD	353	331	9	93	117	19	93	10	0	1	2	1	6	12	1	5	0	2	4
発達障害の重複	161	146	3	48	39	14	42	5	0	1	1	2	1	10	2	1	1	0	6
その他の障害	79	74	0	20	20	5	29	2	0	1	0	1	0	3	0	0	1	0	2

3. 障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

<概要>

○障害学生が在籍している学校は942校。

○障害種別の在籍校数は多い順に「精神障害」778校、「発達障害」740校、「病弱・虚弱」708校。

表10 障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	942	693	193	56
視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	265	241	8	16
盲	55	55	0	0
弱視	247	223	8	16
聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	486	422	35	29
聾	112	107	4	1
難聴	456	396	32	28
言語障害のみ	35	30	0	5
肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	517	443	46	28
上肢機能障害	190	166	17	7
下肢機能障害	312	278	17	17
上下肢機能障害	252	233	9	10
他の機能障害	176	161	11	4
病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	708	542	123	43
内部障害等	666	518	106	42
他の慢性疾患	525	403	85	37
重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	141	128	7	6
発達障害学生が 1人以上在籍する学校数	740	579	108	53
SLD	152	129	12	11
ADHD	561	456	56	49
ASD	605	481	74	50
発達障害の重複	388	314	30	44
精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	778	593	136	49
統合失調症等	333	303	23	7
気分障害	534	446	61	27
神経症性障害等	612	497	86	29
摂食障害・睡眠障害等	335	285	33	17
他の精神障害	549	448	67	34
その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	517	409	65	43
全体の学校数	1,176	809	310	57

(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

<概要>

- 全学校(1,176校)に占める障害学生在籍校の割合は80.1%。
- 障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「21人以上」456校、「0人」234校、「2~5人」142校。
- 障害学生が在籍する学校を全学生数の規模別で見ると、多い順に「1~499人」223校、「1,000~1,999人」194校、「2,000~4,999人」188校。

表11 障害学生在籍学校数 [学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生		障害学生		障害学生		障害学生		全体の 学校数
	在籍 (校)	在籍率 (%)	21人以上	11~20人	6~10人	2~5人	1人	0人	
計	942	80.1	456	136	131	142	77	234	1,176
大学	693	85.7	392	95	82	80	44	116	809
短期大学	193	62.3	18	37	47	58	33	117	310
高等専門学校	56	98.2	46	4	2	4	0	1	57

表12 障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生		障害学生		障害学生		障害学生		全体の 学校数
	在籍 (校)	在籍率 (%)	21人以上	11~20人	6~10人	2~5人	1人	0人	
10,000人以上	68	100.0	65	2	1	0	0	0	68
大学	68	100.0	65	2	1	0	0	0	68
短期大学	0	-	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
5,000~9,999人	107	99.1	94	6	6	1	0	1	108
大学	106	99.1	94	6	6	0	0	1	107
短期大学	1	100.0	0	0	0	1	0	0	1
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
2,000~4,999人	188	96.4	129	29	16	14	0	7	195
大学	183	96.8	127	28	16	12	0	6	189
短期大学	4	80.0	1	1	0	2	0	1	5
高等専門学校	1	100.0	1	0	0	0	0	0	1
1,000~1,999人	194	87.8	92	38	24	22	18	27	221
大学	160	85.6	67	35	23	19	16	27	187
短期大学	4	100.0	1	0	0	1	2	0	4
高等専門学校	30	100.0	24	3	1	2	0	0	30
500~999人	162	78.6	53	24	35	37	13	44	206
大学	101	78.3	26	18	26	23	8	28	129
短期大学	36	69.2	6	5	8	12	5	16	52
高等専門学校	25	100.0	21	1	1	2	0	0	25
1~499人	223	59.0	23	37	49	68	46	155	378
大学	75	58.1	13	6	10	26	20	54	129
短期大学	148	59.7	10	31	39	42	26	100	248
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	1	1

※障害学生在籍率:障害学生在籍校数÷全体の学校数×100(%)

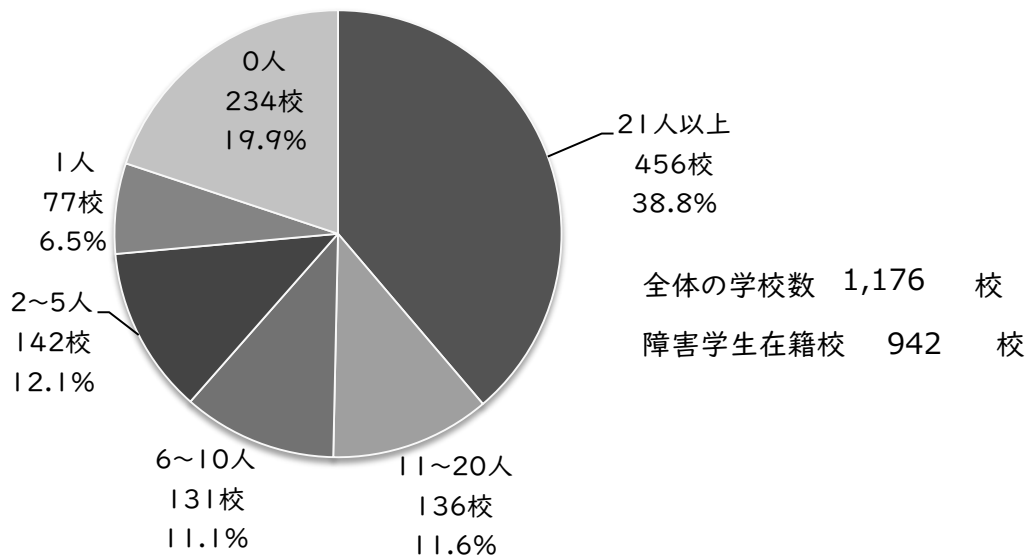


図2 障害学生在校学校数 [障害学生在校者数別]

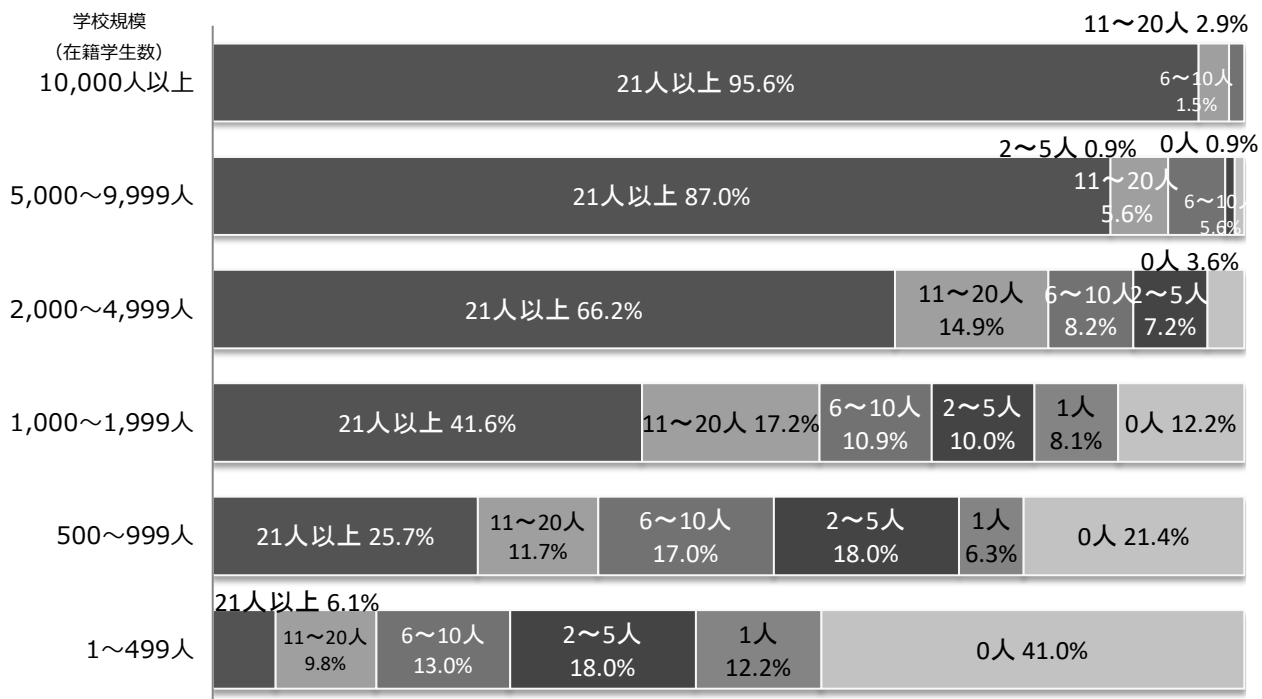


図3 障害学生在校学校構成比 [在籍学生数別・障害学生在校者数別]

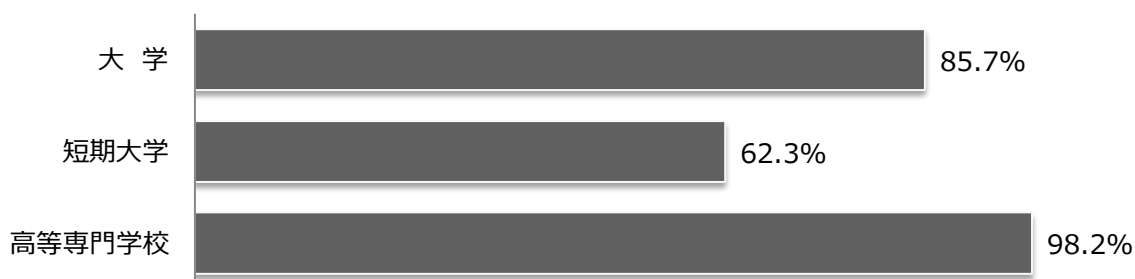


図4 障害学生在校率 [学校種別]

4. 支援障害学生数

(1) 支援障害学生数

<概要>

○障害学生(40,744人)のうち支援障害学生の総数は21,767人で、前年度(18,777人)より2,990人の増。

○学校種別で見ると、多い順に「大学」の19,847人で、前年度(17,000人)より2,847人の増。「高等専門学校」の1,033人で、前年度(961人)より72人の増。「短期大学」の887人で、前年度(816人)より71人の増。

○学校種別・設置者別で見ると、多い順に「私立大学」の14,126人で、前年度(12,112人)より2,014人の増。「国立大学」の4,669人で、前年度(4,038人)より631人の増。「公立大学」の1,052人で、前年度(850人)より202人の増。

○課程別で見ると多い順に、「大学の学部(通学)」の17,569人で、前年度(14,918人)より2,651人の増。「大学院(通学)」の1,137人で、前年度(1,008人)より129人の増。「大学の学部(通信)」の1,113人で、前年度(1,057人)より56人の増。

表13 支援障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計	21,767 (18,777)	19,440 (16,648)	1,124 (1,072)	1,137 (1,008)	17 (12)	49 (37)
大学	19,847 (17,000)	17,569 (14,918)	1,113 (1,057)	1,137 (1,008)	17 (12)	11 (5)
国立	4,669 (4,038)	3,860	—	805	—	4
公立	1,052 (850)	1,001	—	51	—	0
私立	14,126 (12,112)	12,708	1,113	281	17	7
(人)	計	学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学	887 (816)	868 (797)	11 (15)	—	—	8 (4)
国立	—	—	—	—	—	—
公立	68 (117)	68	—	—	—	0
私立	819 (699)	800	11	—	—	8
(人)	計	本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校	1,033 (961)	1,003 (933)	—	—	—	30 (28)
国立	850 (758)	825	—	—	—	25
公立	136 (148)	132	—	—	—	4
私立	47 (55)	46	—	—	—	1

()内は前年度数値

(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率

<概要>

○支援障害学生在籍率で見ると次のとおり。

- ・支援障害学生在籍率は0.67%で、前年度(0.58%)より0.09ポイントの増。
- ・学校種別で見ると、多い順に「高等専門学校」の1.82%で、前年度(1.69%)より0.13ポイントの増。「短期大学」の0.74%で、前年度(0.66%)より0.08ポイントの増。「大学」の0.65%で、前年度(0.56%)より0.09ポイントの増。

○障害学生支援率で見ると次のとおり。

- ・障害学生支援率は53.4%で、前年度(53.1%)より0.3ポイントの増。
- ・学校種別・設置者別で見ると、障害学生支援率で50%を超えているのは、「国立大学」で63.5%、「私立高等専門学校」で56.0%、「公立高等専門学校」で55.1%、「私立大学」で52.4%、

表14 支援障害学生在籍率・障害学生支援率 [学校種別・設置者別・課程別]

	在籍率 (%)	支援率 (%)	学部(通学)		学部(通信)		大学院(通学)		大学院(通信)		専攻科	
			在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率
計	0.67 (0.58)	53.4 (53.1)	0.70 (0.60)	53.6 (52.7)	0.58 (0.59)	51.7 (58.5)	0.45 (0.40)	51.4 (54.5)	0.46 (0.34)	89.5 (80.0)	0.71 (0.48)	52.1 (47.4)
大学	0.65 (0.56)	54.5 (53.6)	0.67 (0.57)	54.9 (53.3)	0.64 (0.64)	51.6 (58.4)	0.45 (0.40)	51.4 (54.5)	0.46 (0.34)	89.5 (80.0)	0.94 (0.29)	84.6 (38.5)
国立	0.80 (0.69)	63.5 (62.7)	0.89	66.0	-	-	0.53	53.5	-	-	1.25	66.7
公立	0.66 (0.54)	49.8 (38.9)	0.71	51.1	-	-	0.30	32.7	-	-	-	-
私立	0.61 (0.53)	52.4 (52.5)	0.62	52.5	0.64	51.6	0.33	51.3	0.46	89.5	1.00	100.0
短期大学	0.74 (0.66)	49.8 (53.0)	0.88 (0.77)	49.6 (52.8)	0.06 (0.09)	68.8 (65.2)	-	-	-	-	0.31 (0.14)	53.3 (44.4)
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	1.27 (2.03)	43.9 (84.2)	1.30	43.9	-	-	-	-	-	-	-	-
私立	0.71 (0.59)	50.4 (49.9)	0.86	50.2	0.06	68.8	-	-	-	-	0.32	53.3
高等専門学校	1.82 (1.69)	40.5 (45.5)	1.87 (1.74)	40.4 (45.4)	-	-	-	-	-	-	0.94 (0.87)	45.5 (50.0)
国立	1.66 (1.48)	38.3 (41.5)	1.71	38.2	-	-	-	-	-	-	0.85	42.4
公立	3.61 (3.90)	55.1 (72.2)	3.67	54.3	-	-	-	-	-	-	2.34	100.0
私立	2.59 (2.81)	56.0 (68.8)	2.62	56.8	-	-	-	-	-	-	1.61	33.3

()内は前年度数値

※支援障害学生在籍率:支援障害学生数÷全体の学生数×100(%)

※障害学生支援率:支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(3)障害種別の支援障害学生数

<概要>

○障害学生(40,744人)のうち支援障害学生の総数は、21,767人で、前年度(18,777人)より2990人の増。

○障害種別で見ると、多い順に「精神障害」の7,613人で、前年度(5,823人)より1,790人の増。

「発達障害」6,037人で、前年度(5,331人)より706人の増。

「病弱・虚弱」3,514人で、前年度(3,410人)より104人の増。

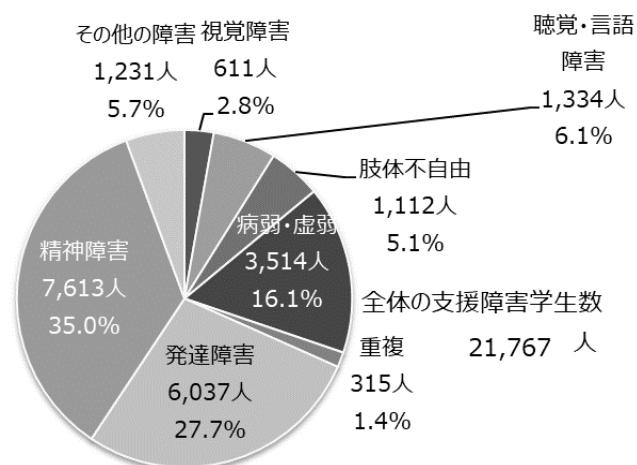


図5 支援障害学生数[障害種別]

表15 支援障害学生数 [障害種別・学校種別]

(人)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	21,767 (18,777)	19,847 (17,000)	887 (816)	1,033 (961)
視覚障害	611 (606)	593 (582)	6 (18)	12 (6)
盲	122 (127)	122	0	0
弱視	489 (479)	471	6	12
聴覚・言語障害	1,334 (1,254)	1,273 (1,179)	34 (41)	27 (34)
聾	473 (487)	470	2	1
難聴	842 (741)	785	32	25
言語障害のみ	19 (26)	18	0	1
肢体不自由	1,112 (1,165)	1,049 (1,117)	35 (26)	28 (22)
上肢機能障害	132 (135)	124	5	3
下肢機能障害	371 (413)	344	11	16
上下肢機能障害	399 (460)	381	9	9
他の機能障害	210 (157)	200	10	0
病弱・虚弱	3,514 (3,410)	2,959 (2,885)	252 (244)	303 (281)
内部障害等	2,426 (2,211)	2,129	156	141
他の慢性疾患	1,088 (1,199)	830	96	162
重複	315 (232)	299 (225)	8 (5)	8 (2)
発達障害	6,037 (5,331)	5,434 (4,769)	189 (179)	414 (383)
SLD	171 (146)	150	9	12
ADHD	1,774 (1,385)	1,616	53	105
ASD	2,869 (2,742)	2,576	93	200
発達障害の重複	1,223 (1,058)	1,092	34	97
精神障害	7,613 (5,823)	7,189 (5,454)	289 (231)	135 (138)
統合失調症等	470 (420)	449	17	4
気分障害	2,253 (1,600)	2,141	65	47
神経症性障害等	2,884 (2,168)	2,725	113	46
摂食障害・睡眠障害等	497 (402)	460	26	11
他の精神障害	1,509 (1,233)	1,414	68	27
その他の障害	1,231 (956)	1,051 (789)	74 (72)	106 (95)

()内は前年度数値

(4)障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

<概要>

○大学に在籍している支援障害学生(19,847人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」4,554人、「人文科学」4,451人、「工学」2,910人。

表16 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別](大学)

(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計	19,847	4,451	4,554	967	2,910	765	356	1,519	12	450	1,096	1,006	1,761
視覚障害	593	63	138	15	76	5	4	71	2	6	27	24	162
盲	122	14	23	4	12	0	1	9	0	0	4	11	44
弱視	471	49	115	11	64	5	3	62	2	6	23	13	118
聴覚・言語障害	1,273	186	301	50	228	32	25	90	0	24	124	105	108
聾	470	51	107	9	145	4	1	10	0	8	40	62	33
難聴	785	132	192	40	79	28	24	79	0	16	81	41	73
言語障害のみ	18	3	2	1	4	0	0	1	0	0	3	2	2
肢体不自由	1,049	227	354	31	93	18	11	74	0	12	52	25	152
上肢機能障害	124	24	37	2	12	6	2	11	0	3	9	2	16
下肢機能障害	344	59	105	9	29	6	6	32	0	5	16	9	68
上下肢機能障害	381	96	147	17	29	4	2	17	0	1	15	9	44
他の機能障害	200	48	65	3	23	2	1	14	0	3	12	5	24
病弱・虚弱	2,959	518	710	84	360	122	55	368	0	117	168	135	322
内部障害等	2,129	367	490	69	269	77	38	260	0	65	116	92	286
他の慢性疾患	830	151	220	15	91	45	17	108	0	52	52	43	36
重複	299	54	56	6	75	5	1	33	0	2	20	17	30
発達障害	5,434	1,302	1,116	412	1,066	292	36	214	6	58	217	315	400
SLD	150	29	35	4	19	6	0	7	0	3	9	18	20
ADHD	1,616	379	327	107	296	77	14	84	2	24	82	108	116
ASD	2,576	637	534	191	546	136	19	97	3	21	85	130	177
発達障害の重複	1,092	257	220	110	205	73	3	26	1	10	41	59	87
精神障害	7,189	1,902	1,643	341	869	260	196	533	4	185	407	322	527
統合失調症等	449	110	116	18	54	10	11	16	0	9	14	26	65
気分障害	2,141	593	439	128	284	72	64	140	1	46	140	101	133
神経症性障害等	2,725	726	655	114	302	108	80	233	3	65	148	102	189
摂食障害・睡眠障害等	460	118	69	16	44	22	20	53	0	26	29	23	40
他の精神障害	1,414	355	364	65	185	48	21	91	0	39	76	70	100
その他の障害	1,051	199	236	28	143	31	28	136	0	46	81	63	60

(4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

<概要>

○短期大学に在籍している支援障害学生(887人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」232人、「家政」139人、「人文」135人。

表17 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

(人)	計	人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他
計	887	135	120	11	23	7	51	139	232	79	90
視覚障害	6	0	2	0	0	0	0	0	2	2	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	6	0	2	0	0	0	0	0	2	2	0
聴覚・言語障害	34	7	3	1	0	0	5	10	4	3	1
聾	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
難聴	32	7	2	1	0	0	5	10	4	3	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	35	6	10	1	0	0	1	2	6	2	7
上肢機能障害	5	0	2	0	0	0	0	0	2	0	1
下肢機能障害	11	1	4	0	0	0	0	2	1	1	2
上下肢機能障害	9	3	1	1	0	0	1	0	1	0	2
他の機能障害	10	2	3	0	0	0	0	0	2	1	2
病弱・虚弱	252	28	28	2	6	3	23	34	95	9	24
内部障害等	156	18	20	1	6	1	15	23	48	8	16
他の慢性疾患	96	10	8	1	0	2	8	11	47	1	8
重複	8	1	0	0	0	0	1	1	2	3	0
発達障害	189	38	25	4	13	0	3	36	23	29	18
SLD	9	0	0	0	0	0	0	2	0	3	4
ADHD	53	10	8	1	4	0	2	10	11	6	1
ASD	93	25	12	3	6	0	1	19	8	9	10
発達障害の重複	34	3	5	0	3	0	0	5	4	11	3
精神障害	289	50	42	2	3	3	13	45	76	29	26
統合失調症等	17	4	3	0	0	0	1	2	3	4	0
気分障害	65	10	9	0	1	2	1	9	13	12	8
神経症性障害等	113	24	13	2	0	0	7	17	34	8	8
摂食障害・睡眠障害等	26	3	3	0	0	1	2	6	9	1	1
他の精神障害	68	9	14	0	2	0	2	11	17	4	9
その他の障害	74	5	10	1	1	1	5	11	24	2	14

(4)障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

<概要>

○高等専門学校に在籍している支援障害学生(1,033人)を学科(専攻)別に見ると、障害学生数と同様に、ほとんどの支援障害学生(1,008人)が「工業」に在籍している。

表18 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社 会	工 業	商 船	芸 術
計		1,033	13	1,008	3	9
視覚障害		12	0	12	0	0
盲		0	0	0	0	0
弱視		12	0	12	0	0
聴覚・言語障害		27	0	27	0	0
聾		1	0	1	0	0
難聴		25	0	25	0	0
言語障害のみ		1	0	1	0	0
肢体不自由		28	0	28	0	0
上肢機能障害		3	0	3	0	0
下肢機能障害		16	0	16	0	0
上下肢機能障害		9	0	9	0	0
他の機能障害		0	0	0	0	0
病弱・虚弱		303	8	292	0	3
内部障害等		141	3	135	0	3
他の慢性疾患		162	5	157	0	0
重複		8	0	8	0	0
発達障害		414	1	409	3	1
SLD		12	1	11	0	0
ADHD		105	0	104	1	0
ASD		200	0	200	0	0
発達障害の重複		97	0	94	2	1
精神障害		135	0	131	0	4
統合失調症等		4	0	3	0	1
気分障害		47	0	45	0	2
神経症性障害等		46	0	45	0	1
摂食障害・睡眠障害等		11	0	11	0	0
他の精神障害		27	0	27	0	0
その他の障害		106	4	101	0	1

(5)発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)

<概要>

○発達障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」246人、「病弱・虚弱」113人となっている。

○精神障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「発達障害」637人、「病弱・虚弱」116人となっている。

表19 発達障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別]

	大学					発達障害の重複	短期大学			発達障害の重複	高等専門学校			発達障害の重複		
	(人)	計	S L D	A D H D	A S D		S L D	A D H D	A S D		S L D	A D H D	A S D			
計	525	462	7	168	212	75	21	2	11	6	2	42	1	11	20	10
視覚障害	9	9	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	8	8	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	28	27	0	12	12	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
聾	15	15	0	7	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	13	12	0	5	6	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	20	18	1	2	8	7	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0
上肢機能障害	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	8	7	0	2	3	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
上下肢機能障害	6	5	1	0	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
他の機能障害	4	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	113	90	3	24	48	15	5	0	3	2	0	18	0	4	10	4
内部障害等	63	55	2	18	27	8	2	0	2	0	0	6	0	0	4	2
他の慢性疾患	50	35	1	6	21	7	3	0	1	2	0	12	0	4	6	2
重複	69	60	1	24	22	13	4	2	1	0	1	5	1	2	2	0
精神障害	246	226	1	94	102	29	9	0	5	4	0	11	0	2	6	3
統合失調症等	21	21	0	2	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	77	73	0	44	19	10	3	0	2	1	0	1	0	0	0	1
神経症性障害等	76	70	0	28	36	6	2	0	1	1	0	4	0	1	2	1
摂食障害・睡眠障害等	17	13	0	6	5	2	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0
他の精神障害	55	49	1	14	27	7	2	0	0	2	0	4	0	1	2	1
その他の障害	40	32	1	11	12	8	2	0	2	0	0	6	0	1	2	3

表20 精神障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別]

	大学		短期大学					高等専門学校											
	(人)	計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害							
計	929	880	26	256	252	65	281	28	1	8	5	2	12	21	1	3	2	4	11
視覚障害	8	7	0	1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	8	7	0	1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
聴覚・言語障害	16	16	0	3	5	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聾	12	12	0	2	3	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	4	4	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	29	29	1	3	8	1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	9	9	0	2	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	13	13	1	1	3	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	5	5	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	116	111	6	17	26	12	50	3	0	1	1	0	1	2	0	1	0	0	1
内部障害等	69	68	5	11	17	7	28	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
他の慢性疾患	47	43	1	6	9	5	22	3	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0
重複	69	64	5	26	16	6	11	4	0	0	1	0	3	1	0	0	0	1	0
発達障害	637	603	14	193	182	42	172	20	1	6	3	2	8	14	1	2	1	3	7
SLD	7	7	0	0	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	210	198	4	75	52	17	50	8	1	4	1	0	2	4	0	0	0	1	3
ASD	286	271	7	76	92	14	82	9	0	1	2	0	6	6	0	1	0	2	3
発達障害の重複	134	127	3	42	36	10	36	3	0	1	0	2	0	4	1	1	1	0	1
その他の障害	54	50	0	13	12	3	22	1	0	1	0	0	0	3	0	0	1	0	2

5. 支援障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

<概要>

○支援障害学生が在籍している学校は837校。

○障害種別の支援障害学生の在籍校は、多い順に「精神障害」659校、「発達障害」636校、「病弱・虚弱」537校。

表21 支援障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	837	626	157	54
支援視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	208	192	6	10
盲	52	52	0	0
弱視	189	173	6	10
支援聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	380	339	25	16
聾	103	100	2	1
難聴	348	309	24	15
言語障害のみ	16	15	0	1
支援肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	388	343	27	18
上肢機能障害	94	87	5	2
下肢機能障害	214	191	9	14
上下肢機能障害	204	187	9	8
他の機能障害	115	106	9	0
支援病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	537	422	83	32
内部障害等	495	401	65	29
他の慢性疾患	344	273	47	24
支援重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	116	107	6	3
支援発達障害学生が 1人以上在籍する学校数	636	507	79	50
SLD	114	99	7	8
ADHD	453	381	37	35
ASD	520	424	53	43
発達障害の重複	333	272	23	38
支援精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	659	514	106	39
統合失調症等	246	227	15	4
気分障害	433	374	41	18
神経症性障害等	510	426	63	21
摂食障害・睡眠障害等	239	208	22	9
他の精神障害	417	354	46	17
支援その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	380	312	39	29
全体の学校数	1,176	809	310	57

(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

<概要>

○全学校(1,176校)に占める支援障害学生在籍校(837校)の割合は71.2%。

○支援障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「0人」339校、「21人以上」296校、「2~5人」167校。

表22 支援障害学生在籍学校数 [学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校) 学校数	支援 障害学生 在籍率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11~20人	支援 障害学生 6~10人	支援 障害学生 2~5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
計	837	71.2	296	157	107	167	110	339	1,176
大学	626	77.4	276	122	67	92	69	183	809
短期大学	157	50.6	6	17	30	67	37	153	310
高等専門学校	54	94.7	14	18	10	8	4	3	57

表23 支援障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校) 学校数	支援 障害学生 在籍率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11~20人	支援 障害学生 6~10人	支援 障害学生 2~5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
10,000人以上	65	95.6	61	2	2	0	0	3	68
大学	65	95.6	61	2	2	0	0	3	68
短期大学	0	-	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
5,000~9,999人	105	97.2	78	16	5	5	1	3	108
大学	104	97.2	78	16	5	5	0	3	107
短期大学	1	100.0	0	0	0	0	1	0	1
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
2,000~4,999人	177	90.8	89	45	16	15	12	18	195
大学	174	92.1	88	44	16	15	11	15	189
短期大学	2	40.0	1	1	0	0	0	3	5
高等専門学校	1	100.0	0	0	0	0	1	0	1
1,000~1,999人	175	79.2	42	51	25	30	27	46	221
大学	142	75.9	34	39	20	25	24	45	187
短期大学	4	100.0	0	1	0	1	2	0	4
高等専門学校	29	96.7	8	11	5	4	1	1	30
500~999人	140	68.0	18	23	37	42	20	66	206
大学	85	65.9	10	14	22	26	13	44	129
短期大学	31	59.6	2	2	10	12	5	21	52
高等専門学校	24	96.0	6	7	5	4	2	1	25
1~499人	175	46.3	8	20	22	75	50	203	378
大学	56	43.4	5	7	2	21	21	73	129
短期大学	119	48.0	3	13	20	54	29	129	248
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	1	1

※支援障害学生在籍率: 支援障害学生在籍校数÷全体の学校数×100(%)

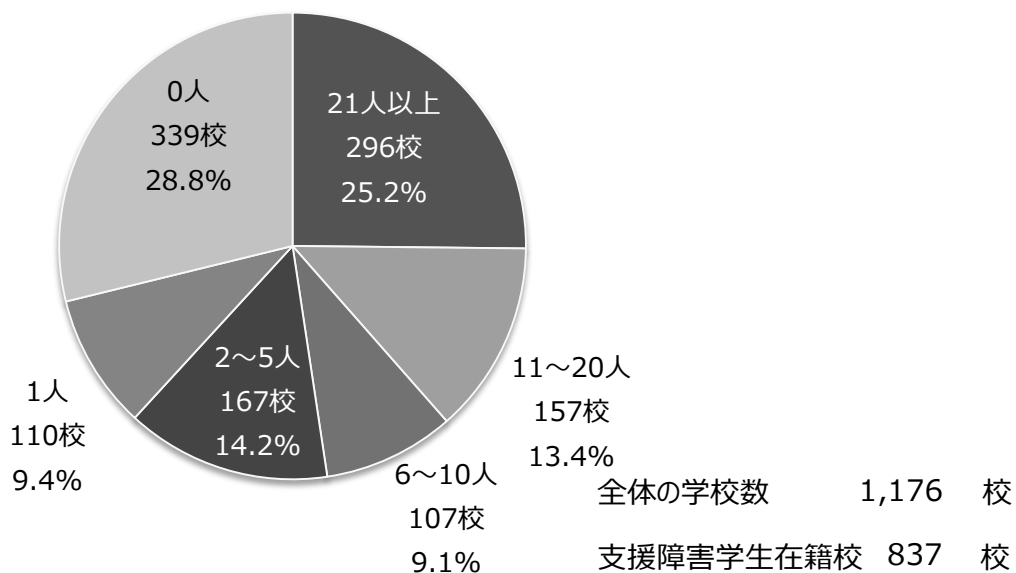


図6 支援障害学生在校学校数 [支援障害学生在校者数別]

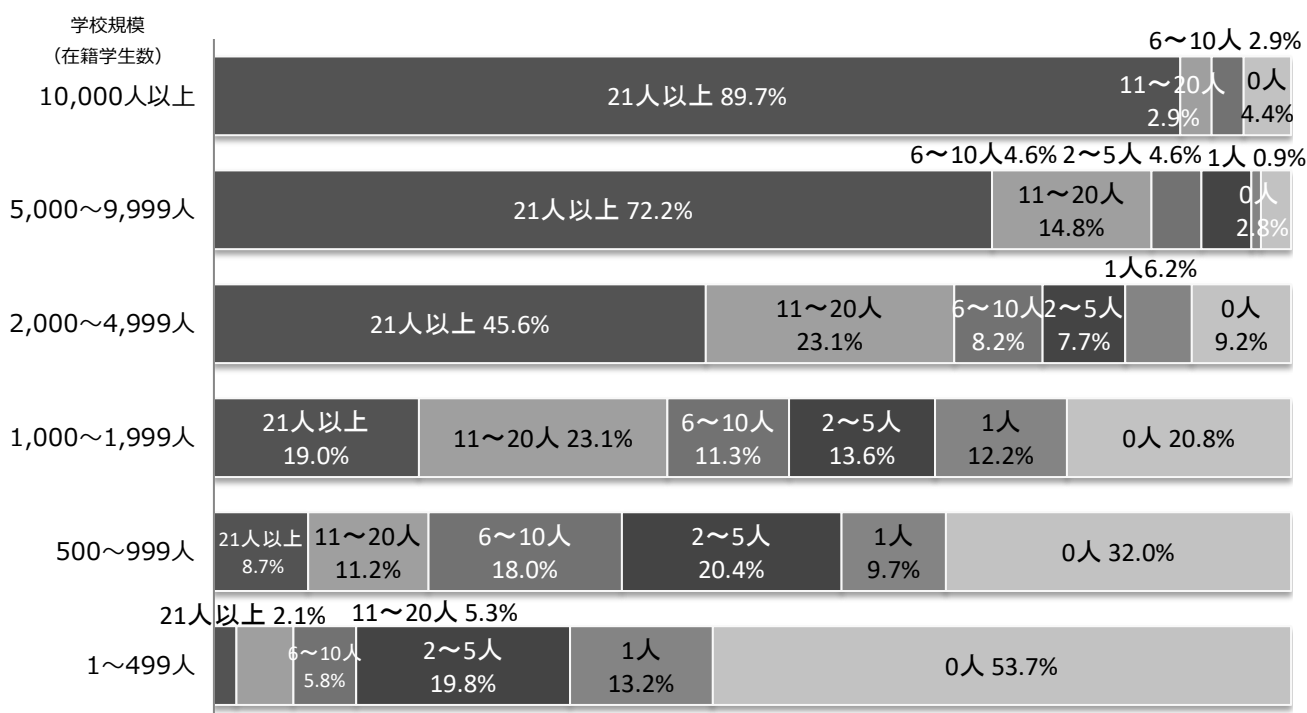


図7 支援障害学生在校学校構成比 [在籍学生数別・支援障害学生在校者数別]

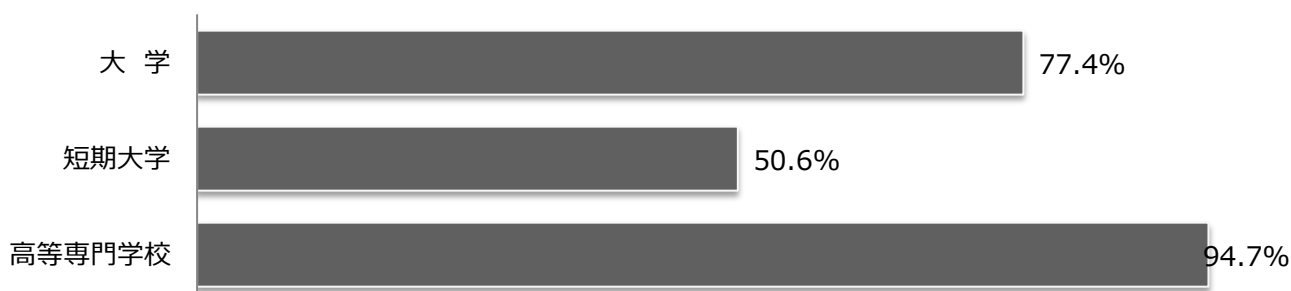


図8 支援障害学生在校率 [学校種別]

6. 支援の実施状況

(1) 障害種別・学校種別

<概要>

- 障害学生への授業に関する支援を実施している学校は804校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「精神障害」592校、「発達障害」588校、「病弱・虚弱」480校。
- 障害学生への授業以外の支援を実施している学校は691校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「発達障害」509校、「精神障害」501校、「病弱・虚弱」392校。

表24 授業支援実施状況 [障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		804	608	143	53
視覚障害		200	184	6	10
聴覚・言語障害		367	327	25	15
肢体不自由		356	313	26	17
病弱・虚弱		480	386	68	26
重複		105	98	5	2
発達障害		588	474	68	46
精神障害		592	472	89	31
その他の障害		348	287	35	26

表25 授業以外の支援実施状況[障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		691	521	121	49
視覚障害		104	99	1	4
聴覚・言語障害		178	162	11	5
肢体不自由		281	255	16	10
病弱・虚弱		392	319	44	29
重複		84	77	4	3
発達障害		509	405	61	43
精神障害		501	394	75	32
その他の障害		223	186	18	19

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ア 授業支援(総表)

<概要>

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」575校、「17 教室内座席配慮」561校、「23 出席に関する配慮」521校。

表26 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別](総表)

	(校) 計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数	804	200	367	356	480	105	588	592	348
1 点訳・墨訳	35	34	—	—	—	3	—	—	—
2 教材のテキストデータ化	119	69	22	18	17	11	21	9	2
3 教材の拡大	172	103	3	25	28	16	43	6	8
4 ガイドヘルプ	43	29	2	13	2	5	1	1	2
5 リーディングサービス	19	15	1	1	0	2	3	2	1
6 手話通訳	48	0	48	—	—	1	—	—	—
7 ノートテイク	152	8	120	24	9	16	13	9	2
8 パソコンテイク	133	6	113	12	2	7	15	7	4
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし	134	6	128	1	3	8	6	7	3
10 キューターまたはティーチング・アシスタントの活用	92	18	21	17	15	10	39	24	6
11 試験時間延長・別室受験	331	85	31	111	93	29	159	162	49
12 解答方法配慮	213	65	20	63	35	22	103	49	15
13 パソコンの持込使用許可	227	63	38	62	35	22	97	22	19
14 注意事項等文書伝達	311	30	141	28	64	19	211	89	27
15 使用教室配慮	234	20	28	119	67	21	38	35	18
16 実技・実習配慮	400	52	81	163	191	36	141	138	83
17 教室内座席配慮	561	118	223	202	191	60	227	276	168
18 FM補聴器・マイク使用	202	—	199	—	—	10	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保	216	17	11	144	47	28	14	14	19
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	149	51	93	3	5	7	23	12	5
21 講義に関する配慮	394	78	93	95	67	42	280	154	48
22 配慮依頼文書の配付	575	148	272	254	360	82	439	422	255
23 出席に関する配慮	521	27	16	152	307	58	301	383	187
24 学習指導	315	16	22	16	67	14	226	147	34
25 授業内容の代替、提出期限延長等	434	49	48	73	181	31	297	307	93
26 履修支援	287	35	31	39	57	18	207	147	31
27 学外実習・フィールドワーク配慮	219	25	41	68	96	25	73	84	33
28 その他	394	72	110	90	195	35	245	259	126

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 イ 授業以外の支援(総表)

<概要>

○障害学生への授業以外の支援状況について、多い順に「8 専門家によるカウンセリング」472校、「5 自己管理指導」317校、「9 医療機関との連携」300校。

○障害種別で見ると、多い順に「8 専門家によるカウンセリング」で「精神障害」394校、「発達障害」373校、「5 自己管理指導」で「発達障害」271校、「精神障害」154校。

表27 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](総表)

	(校) 計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数	691	104	178	281	392	84	509	501	223
学生生活支援	442	50	54	164	141	46	263	192	65
1 居場所の確保	253	18	19	35	47	12	157	131	24
2 通学支援	207	11	5	131	70	30	11	23	18
3 個別支援情報の収集	164	22	34	38	36	14	97	47	15
4 情報取得支援	172	24	17	13	29	13	130	60	14
社会的スキル指導	377	6	23	29	76	24	320	204	39
5 自己管理指導	317	4	13	13	56	20	271	154	27
6 対人関係配慮	268	5	13	9	30	13	220	142	16
7 日常生活支援	108	2	3	12	20	7	66	63	10
保健管理・生活支援	576	39	69	159	285	54	411	434	166
8 専門家によるカウンセリング	472	27	52	58	157	29	373	394	121
9 医療機関との連携	300	7	6	26	105	13	155	207	29
10 医療機器、薬剤の保管等	83	1	2	10	54	7	15	14	2
11 休憩室・治療室の確保等	287	14	12	66	152	19	110	157	60
12 生活介助	53	0	0	36	14	7	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可	124	8	8	76	33	15	6	13	3
進路・就職指導	352	44	92	105	118	33	253	178	48
14 キャリア教育	213	20	46	50	59	18	164	105	23
15 障害学生向け求人情報の提供	215	31	61	67	64	19	142	79	23
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介	255	38	60	75	88	26	185	118	30
17 インターンシップ先の開拓	95	9	19	25	22	5	59	30	8
18 就職先の開拓、就職活動支援	205	21	47	56	64	16	137	95	25
その他	254	30	35	80	120	25	115	130	41

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ウ 授業支援(大学)

<概要>

○大学における障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」455校、「17 教室内座席配慮」447校、「23 出席に関する配慮」425校。

表28 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別](大学)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		608	184	327	313	386	98	474	472	287
1 点訳・墨訳		35	34	—	—	—	3	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		116	68	21	18	16	11	21	9	2
3 教材の拡大		155	97	3	25	22	16	34	6	8
4 ガイドヘルプ		43	29	2	13	2	5	1	1	2
5 リーディングサービス		18	15	1	1	0	2	2	2	1
6 手話通訳		46	0	46	—	—	1	—	—	—
7 ノートテイク		142	8	113	23	8	16	12	9	2
8 パソコンテイク		124	5	108	12	1	7	13	7	4
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし		128	6	122	1	3	8	6	7	3
10 キューターまたはティーピング・アシスタントの活用		81	18	20	15	14	10	32	22	4
11 試験時間延長・別室受験		278	82	30	103	82	29	137	140	44
12 解答方法配慮		198	63	20	61	33	22	96	47	14
13 パソコンの持込使用許可		211	62	37	59	33	21	89	22	18
14 注意事項等文書伝達		270	28	137	25	53	18	180	79	22
15 使用教室配慮		208	19	26	109	60	21	32	29	17
16 実技・実習配慮		317	46	71	138	151	34	119	115	65
17 教室内座席配慮		447	106	197	188	172	58	190	241	140
18 FM補聴器・マイク使用		183	—	180	—	—	10	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		198	15	11	135	43	28	12	14	17
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		142	51	89	3	5	7	20	12	5
21 講義に関する配慮		339	78	88	93	61	41	243	142	42
22 配慮依頼文書の配付		455	143	253	231	309	78	367	360	226
23 出席に関する配慮		425	26	16	139	264	58	267	323	168
24 学習指導		255	15	21	15	55	14	183	126	31
25 授業内容の代替、提出期限延長等		366	48	46	66	162	30	262	273	83
26 履修支援		253	34	30	38	51	18	186	131	30
27 学外実習・フィールドワーク配慮		184	24	38	59	83	24	66	72	29
28 その他		320	68	103	82	170	34	204	228	113

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 エ 授業以外の支援(大学)

<概要>

○大学における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」377校、「5 自己管理指導」256校、「9 医療機関との連携」244校。

表29 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](大学)

	(校) 計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数	521	99	162	255	319	77	405	394	186
学生生活支援	357	48	52	155	121	44	217	154	51
1 居場所の確保	197	17	18	33	36	12	127	102	19
2 通学支援	196	11	5	127	67	29	10	21	15
3 個別支援情報の収集	127	21	32	33	28	14	73	34	11
4 情報取得支援	150	24	17	12	27	12	116	53	11
社会的スキル指導	298	5	21	25	66	23	256	176	34
5 自己管理指導	256	3	13	11	48	19	222	137	24
6 対人関係配慮	211	4	11	7	27	13	175	121	14
7 日常生活支援	93	2	3	10	18	7	56	55	9
保健管理・生活支援	448	38	62	148	240	49	336	351	137
8 専門家によるカウンセリング	377	26	47	54	139	28	308	321	104
9 医療機関との連携	244	7	6	24	88	10	131	172	26
10 医療機器、薬剤の保管等	64	1	2	8	43	6	10	10	2
11 休憩室・治療室の確保等	230	14	10	61	127	18	87	129	45
12 生活介助	50	0	0	35	12	7	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可	115	8	7	73	29	15	5	11	3
進路・就職指導	288	43	84	96	108	31	219	152	46
14 キャリア教育	179	19	41	48	54	17	142	91	22
15 障害学生向け求人情報の提供	183	30	55	64	60	18	129	67	22
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介	218	37	54	72	83	25	164	110	29
17 インターンシップ先の開拓	83	8	19	21	22	5	53	29	8
18 就職先の開拓、就職活動支援	172	20	43	54	58	15	123	83	23
その他	216	28	32	76	99	23	103	115	37

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 才 授業支援(短期大学)

<概要>

○短期大学における障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」89校、「17 教室内座席配慮」76校、「23 出席に関する配慮」72校。

表30 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

	(校) 計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数	143	6	25	26	68	5	68	89	35
1 点訳・墨訳	0	0	—	—	—	0	—	—	—
2 教材のテキストデータ化	1	0	1	0	0	0	0	0	0
3 教材の拡大	7	3	0	0	3	0	3	0	0
4 ガイドヘルプ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 リーディングサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 手話通訳	2	0	2	—	—	0	—	—	—
7 ノートテイク	10	0	7	1	1	0	1	0	0
8 パソコンテイク	5	0	5	0	0	0	0	0	0
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし	6	0	6	0	0	0	0	0	0
10 フォーターまたはティーチング・アシスタントの活用	7	0	1	1	1	0	4	2	2
11 試験時間延長・別室受験	29	2	1	4	4	0	10	12	2
12 解答方法配慮	5	0	0	0	1	0	4	1	0
13 パソコンの持込使用許可	5	0	0	2	1	0	3	0	0
14 注意事項等文書伝達	25	0	4	0	5	1	19	8	3
15 使用教室配慮	17	1	2	6	2	0	5	6	0
16 実技・実習配慮	55	1	7	12	22	0	13	17	9
17 教室内座席配慮	76	3	15	8	17	2	21	28	14
18 FM補聴器・マイク使用	9	—	9	—	—	0	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保	12	2	0	6	4	0	1	0	0
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	4	0	4	0	0	0	0	0	0
21 講義に関する配慮	37	0	3	1	6	1	22	9	2
22 配慮依頼文書の配付	89	2	15	15	43	4	44	51	21
23 出席に関する配慮	72	1	0	6	33	0	21	49	13
24 学習指導	33	0	1	1	8	0	20	13	1
25 授業内容の代替、提出期限延長等	44	0	2	4	13	1	18	25	6
26 履修支援	32	0	1	1	6	0	20	16	1
27 学外実習・フィールドワーク配慮	27	0	3	5	10	1	7	11	2
28 その他	52	1	5	6	18	1	24	25	6

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 カ 授業以外の支援(短期大学)

<概要>

○短期大学における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」55校、「1 居場所の確保」34校、「11 休憩室・治療室の確保等」32校。

表31 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](短期大学)

	(校) 計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数	121	1	11	16	44	4	61	75	18
学生生活支援	56	1	0	7	10	1	21	28	8
1 居場所の確保	34	1	0	1	6	0	11	20	4
2 通学支援	9	0	0	4	2	0	1	2	3
3 個別支援情報の収集	21	0	0	3	2	0	10	11	1
4 情報取得支援	13	0	0	0	2	1	6	7	1
社会的スキル指導	43	1	0	2	8	1	29	21	3
5 自己管理指導	31	1	0	1	6	1	20	13	2
6 対人関係配慮	29	1	0	0	2	0	18	16	2
7 日常生活支援	10	0	0	1	2	0	6	7	0
保健管理・生活支援	82	0	4	7	24	2	37	52	12
8 専門家によるカウンセリング	55	0	2	1	8	0	29	43	6
9 医療機関との連携	27	0	0	1	6	1	7	19	1
10 医療機器、薬剤の保管等	5	0	0	1	1	0	1	2	0
11 休憩室・治療室の確保等	32	0	1	2	13	1	8	19	7
12 生活介助	2	0	0	1	1	0	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可	8	0	1	2	4	0	1	2	0
進路・就職指導	45	1	8	5	9	2	22	21	2
14 キャリア教育	24	1	5	1	5	1	13	12	1
15 障害学生向け求人情報の提供	25	1	6	2	4	1	9	10	1
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介	26	1	6	2	4	1	13	7	1
17 インターンシップ先の開拓	6	1	0	2	0	0	2	1	0
18 就職先の開拓、就職活動支援	23	1	4	1	6	1	9	8	2
その他	17	0	1	1	8	0	5	9	1

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 キ 授業支援(高等専門学校)

<概要>

○高等専門学校における障害学生への授業支援状況について、多い順に「17 教室内座席配慮」38校、「22 配慮
依頼文書の配付」31校、「16 実技・実習配慮」28校。

表32 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

	(校) 計	視 覚 障 害	聴 覚 ・ 言 語 障 害	肢 体 不 自 由	病 弱 ・ 虚 弱	重 複	発 達 障 害	精 神 障 害	そ の 他 の 障 害
実施校数	53	10	15	17	26	2	46	31	26
1 点訳・墨訳	0	0	—	—	—	0	—	—	—
2 教材のテキストデータ化	2	1	0	0	1	0	0	0	0
3 教材の拡大	10	3	0	0	3	0	6	0	0
4 ガイドヘルプ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 リーディングサービス	1	0	0	0	0	0	1	0	0
6 手話通訳	0	0	0	—	—	0	—	—	—
7 ノートテイク	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 パソコンテイク	4	1	0	0	1	0	2	0	0
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 チューターまたはティーチング・アシスタントの活用	4	0	0	1	0	0	3	0	0
11 試験時間延長・別室受験	24	1	0	4	7	0	12	10	3
12 解答方法配慮	10	2	0	2	1	0	3	1	1
13 パソコンの持込使用許可	11	1	1	1	1	1	5	0	1
14 注意事項等文書伝達	16	2	0	3	6	0	12	2	2
15 使用教室配慮	9	0	0	4	5	0	1	0	1
16 実技・実習配慮	28	5	3	13	18	2	9	6	9
17 教室内座席配慮	38	9	11	6	2	0	16	7	14
18 FM補聴器・マイク使用	10	—	10	—	—	0	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保	6	0	0	3	0	0	1	0	2
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	3	0	0	0	0	0	3	0	0
21 講義に関する配慮	18	0	2	1	0	0	15	3	4
22 配慮依頼文書の配付	31	3	4	8	8	0	28	11	8
23 出席に関する配慮	24	0	0	7	10	0	13	11	6
24 学習指導	27	1	0	0	4	0	23	8	2
25 授業内容の代替、提出期限延長等	24	1	0	3	6	0	17	9	4
26 履修支援	2	1	0	0	0	0	1	0	0
27 学外実習・フィールドワーク配慮	8	1	0	4	3	0	0	1	2
28 その他	22	3	2	2	7	0	17	6	7

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ク 授業以外の支援(高等専門学校)

<概要>

○高等専門学校における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」40校、「5 自己管理指導」30校、「9 医療機関との連携」29校。

表33 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](高等専門学校)

	(校) 計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数	49	4	5	10	29	3	43	32	19
学生生活支援	29	1	2	2	10	1	25	10	6
1 居場所の確保	22	0	1	1	5	0	19	9	1
2 通学支援	2	0	0	0	1	1	0	0	0
3 個別支援情報の収集	16	1	2	2	6	0	14	2	3
4 情報取得支援	9	0	0	1	0	0	8	0	2
社会的スキル指導	36	0	2	2	2	0	35	7	2
5 自己管理指導	30	0	0	1	2	0	29	4	1
6 対人関係配慮	28	0	2	2	1	0	27	5	0
7 日常生活支援	5	0	0	1	0	0	4	1	1
保健管理・生活支援	46	1	3	4	21	3	38	31	17
8 専門家によるカウンセリング	40	1	3	3	10	1	36	30	11
9 医療機関との連携	29	0	0	1	11	2	17	16	2
10 医療機器、薬剤の保管等	14	0	0	1	10	1	4	2	0
11 休憩室・治療室の確保等	25	0	1	3	12	0	15	9	8
12 生活介助	1	0	0	0	1	0	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可	1	0	0	1	0	0	0	0	0
進路・就職指導	19	0	0	4	1	0	12	5	0
14 キャリア教育	10	0	0	1	0	0	9	2	0
15 障害学生向け求人情報の提供	7	0	0	1	0	0	4	2	0
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介	11	0	0	1	1	0	8	1	0
17 インターンシップ先の開拓	6	0	0	2	0	0	4	0	0
18 就職先の開拓、就職活動支援	10	0	0	1	0	0	5	4	0
その他	21	2	2	3	13	2	7	6	3

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(3)主な支援 ア 視覚障害

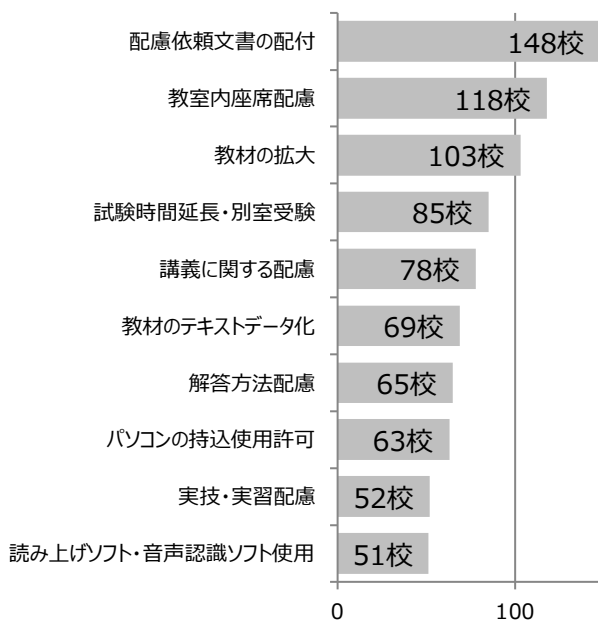


図9 主な授業支援（視覚障害）

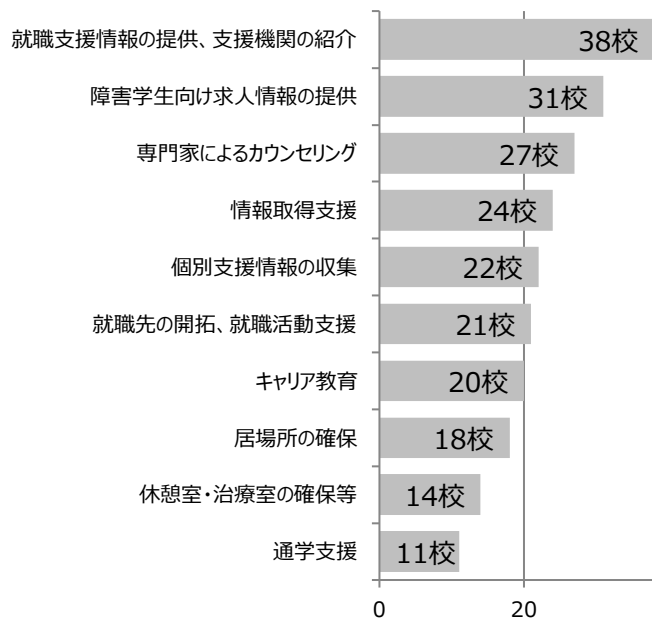


図10 主な授業以外の支援（視覚障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 イ 聴覚・言語障害

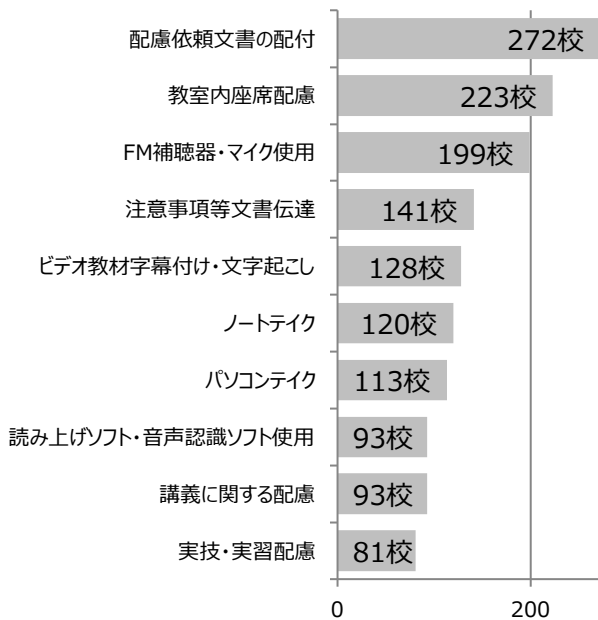


図11 主な授業支援（聴覚・言語障害）

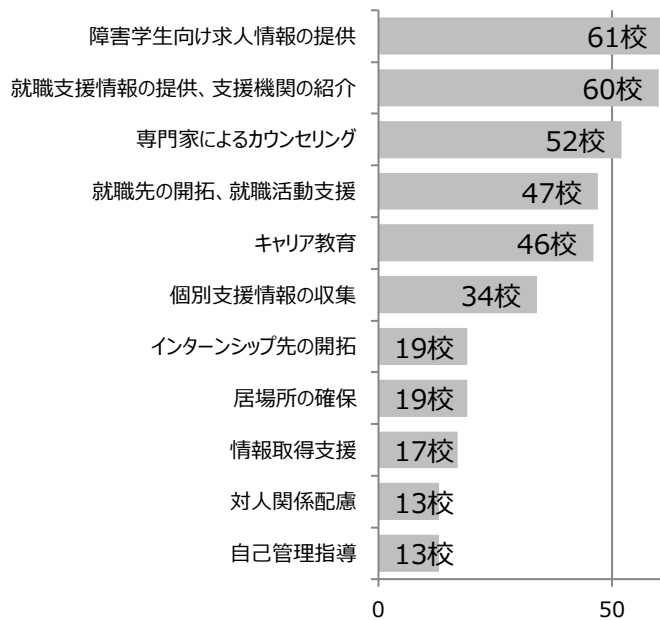


図12 主な授業以外の支援（聴覚・言語障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 ウ 肢体不自由

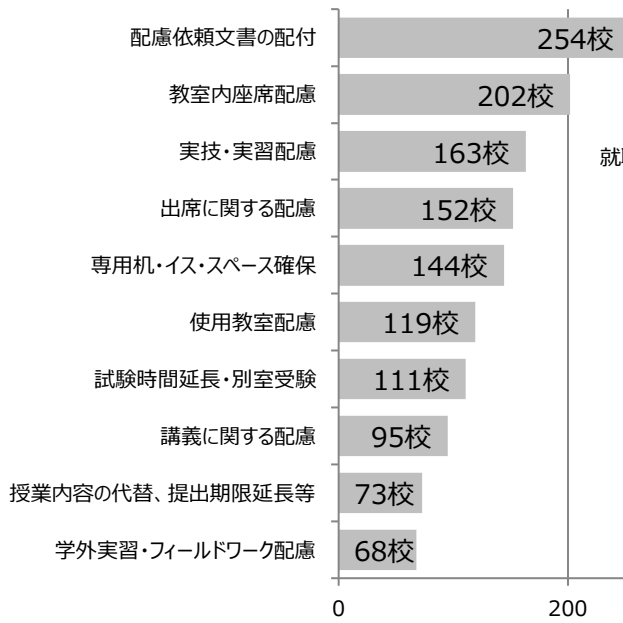


図13 主な授業支援(肢体不自由)

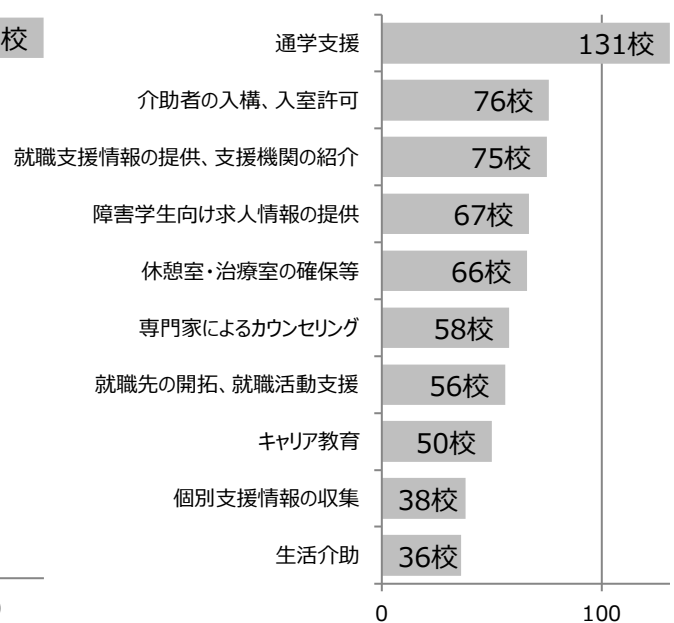


図14 主な授業以外の支援(肢体不自由)

※ 複数回答あり

(3)主な支援 エ 病弱・虚弱

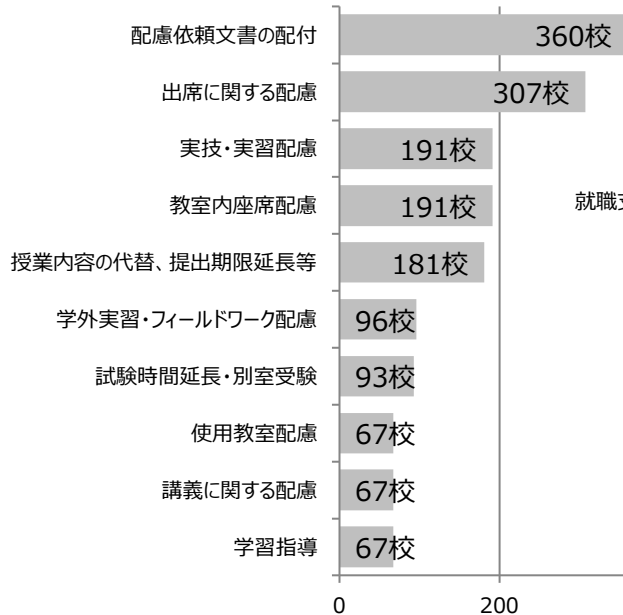


図15 主な授業支援(病弱・虚弱)

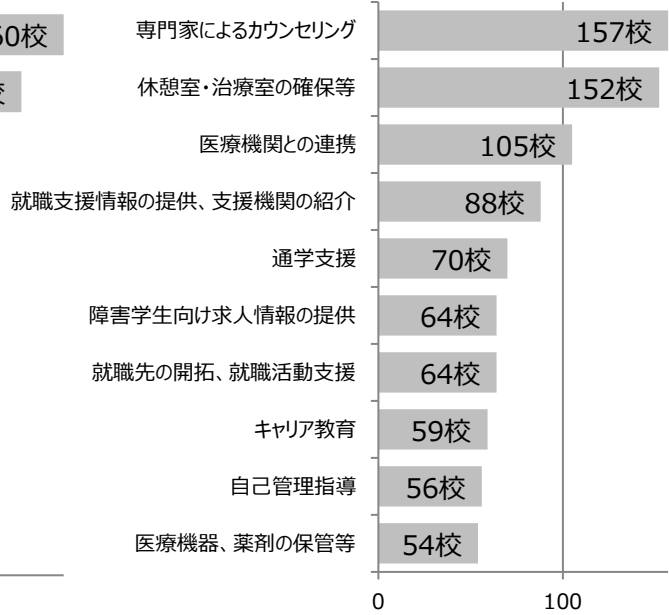


図16 主な授業以外の支援(病弱・虚弱)

※ 複数回答あり

(3)主な支援 オ 発達障害

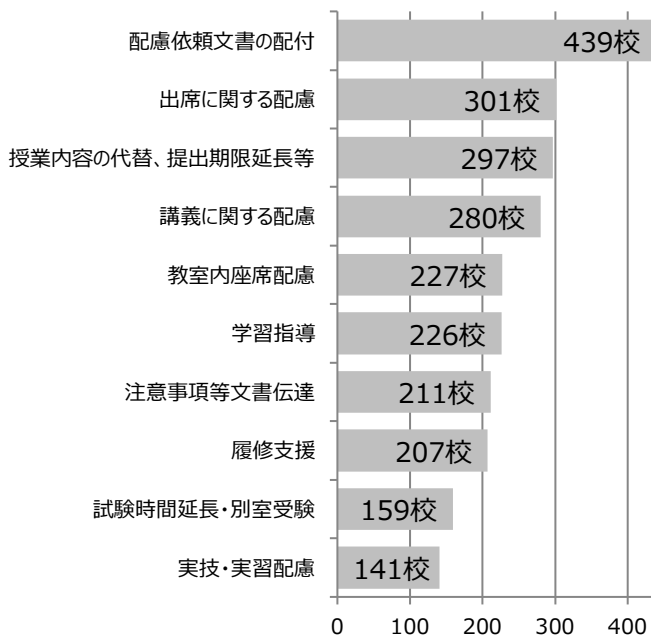


図17 主な授業支援(発達障害)

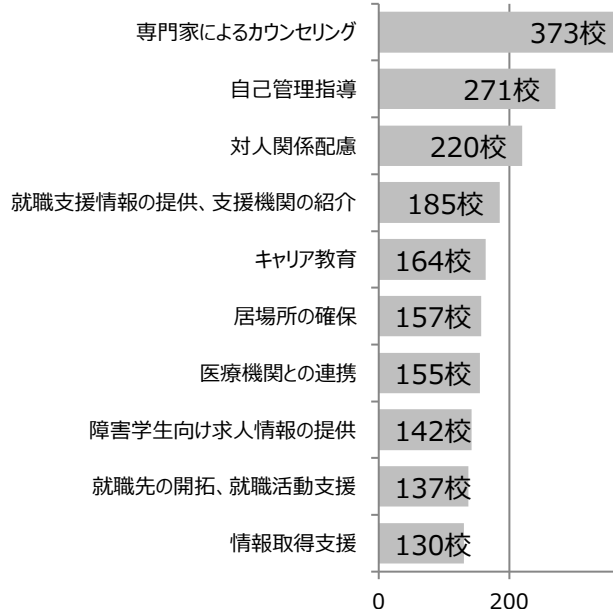


図18 主な授業以外の支援(発達障害)

※ 複数回答あり

(3)主な支援 カ 精神障害

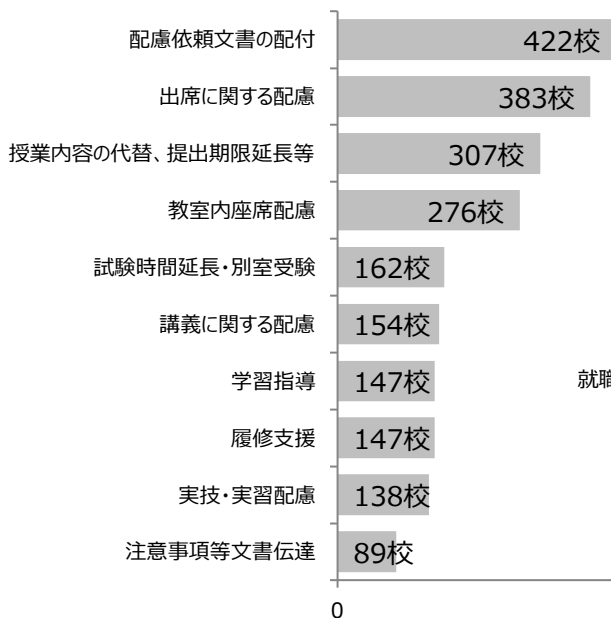


図19 主な授業支援(精神障害)

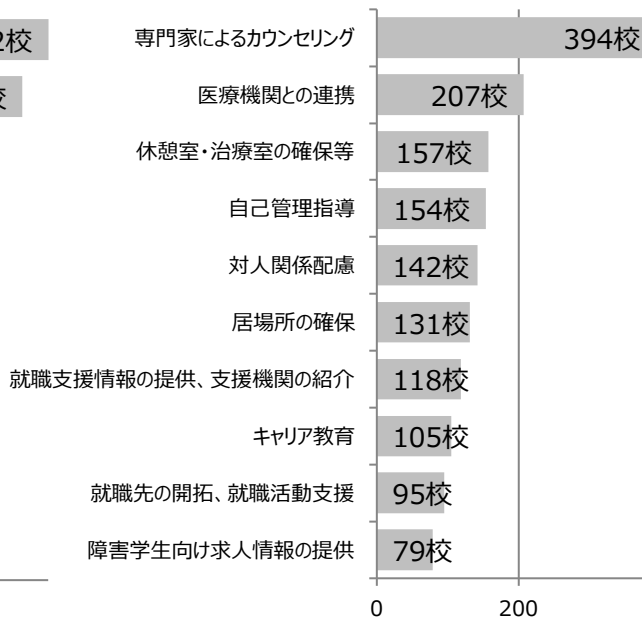


図20 主な授業以外の支援(精神障害)

※ 複数回答あり

7. 障害学生支援に関する体制等

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害者差別解消法に関する対応要領等の設置状況を見ると、「対応要領または基本方針、規程等がある」学校は859校で、全学校(1,176校)の73.0%。「令和3年度中に策定予定」である学校45校を合わせると904校であり、全学校(1,176校)の76.9%。「対応要領または基本方針、規程等はない」学校は272校で、全学校(1,176校)の23.1%。

表34 障害者差別解消法に関する対応要領等 [学校種別]

	全体の学校数		対応要領または基本方針 規程等がある		令和3年度中に策定予定		対応要領または基本方針 規程等はない			
	(校)	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校
計	1,176	859	73.0	703	45	3.8	31	272	23.1	103
大学	809	610	75.4	529	26	3.2	20	173	21.4	77
短期大学	310	196	63.2	124	17	5.5	9	97	31.3	24
高等専門学校	57	53	93.0	50	2	3.5	2	2	3.5	2

表35 障害者差別解消法に関する対応要領等 [障害学生数別・学校種別]

	全体の学校数		対応要領または基本方針 規程等がある		令和3年度中に策定予定		対応要領または基本方針 規程等はない			
	(校)	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校
障害学生21人以上	456	406	89.0	391	8	1.8	7	42	9.2	32
大学	392	349	89.0	337	6	1.5	5	37	9.4	28
短期大学	18	12	66.7	11	1	5.6	1	5	27.8	4
高等専門学校	46	45	97.8	43	1	2.2	1	0	0.0	0
障害学生11~20人	136	115	84.6	107	10	7.4	10	11	8.1	11
大学	95	80	84.2	77	7	7.4	7	8	8.4	8
短期大学	37	32	86.5	27	3	8.1	3	2	5.4	2
高等専門学校	4	3	75.0	3	0	0.0	0	1	25.0	1
障害学生6~10人	131	95	72.5	85	4	3.1	4	32	24.4	22
大学	82	57	69.5	53	2	2.4	2	23	28.0	16
短期大学	47	36	76.6	30	2	4.3	2	9	19.1	6
高等専門学校	2	2	100.0	2	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生2~5人	142	99	69.7	85	9	6.3	6	34	23.9	21
大学	80	53	66.3	45	4	5.0	3	23	28.8	13
短期大学	58	44	75.9	38	4	6.9	2	10	17.2	7
高等専門学校	4	2	50.0	2	1	25.0	1	1	25.0	1
障害学生1人	77	44	57.1	35	4	5.2	4	29	37.7	17
大学	44	22	50.0	17	3	6.8	3	19	43.2	12
短期大学	33	22	66.7	18	1	3.0	1	10	30.3	5
高等専門学校	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0
障害学生0人	234	100	42.7	0	10	4.3	0	124	53.0	0
大学	116	49	42.2	0	4	3.4	0	63	54.3	0
短期大学	117	50	42.7	0	6	5.1	0	61	52.1	0
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0

※支援障害学生在籍校: 支援障害学生が在籍している学校数

(2) 専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援に関する専門委員会の設置状況を見てみると、「専門委員会を設置」している学校は517校で、全学校(1,176校)の44.0%。「他の委員会が対応」する学校は568校で、全学校(1,176校)の48.3%。これらを合わせた「対応する委員会がある」学校は1,085校で、全学校(1,176校)の92.3%にあたる。

表36 障害学生支援に関する専門委員会等 [学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	専門委員会を設置 支援障 害学生 在籍校	(%)	他の委員会が対応 支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)					
計	1,176	1,085	92.3	801	517	44.0	438	568	48.3	363	91	7.7	36
大学	809	753	93.1	602	367	45.4	337	386	47.7	265	56	6.9	24
短期大学	310	276	89.0	146	116	37.4	70	160	51.6	76	34	11.0	11
高等専門学校	57	56	98.2	53	34	59.6	31	22	38.6	22	1	1.8	1

表37 障害学生支援に関する専門委員会等 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	専門委員会を設置 支援障 害学生 在籍校	(%)	他の委員会が対応 支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)					
障害学生21人以上	456	440	96.5	418	269	59.0	260	171	37.5	158	16	3.5	12
大学	392	378	96.4	359	238	60.7	231	140	35.7	128	14	3.6	11
短期大学	18	16	88.9	15	5	27.8	5	11	61.1	10	2	11.1	1
高等専門学校	46	46	100.0	44	26	56.5	24	20	43.5	20	0	0.0	0
障害学生11~20人	136	130	95.6	122	69	50.7	63	61	44.9	59	6	4.4	6
大学	95	91	95.8	88	47	49.5	45	44	46.3	43	4	4.2	4
短期大学	37	36	97.3	31	20	54.1	16	16	43.2	15	1	2.7	1
高等専門学校	4	3	75.0	3	2	50.0	2	1	25.0	1	1	25.0	1
障害学生6~10人	131	123	93.9	106	61	46.6	56	62	47.3	50	8	6.1	5
大学	82	77	93.9	69	34	41.5	33	43	52.4	36	5	6.1	2
短期大学	47	44	93.6	35	26	55.3	22	18	38.3	13	3	6.4	3
高等専門学校	2	2	100.0	2	1	50.0	1	1	50.0	1	0	0.0	0
障害学生2~5人	142	133	93.7	104	53	37.3	42	80	56.3	62	9	6.3	8
大学	80	75	93.8	57	27	33.8	20	48	60.0	37	5	6.3	4
短期大学	58	54	93.1	43	22	37.9	18	32	55.2	25	4	6.9	4
高等専門学校	4	4	100.0	4	4	100.0	4	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生1人	77	69	89.6	51	21	27.3	17	48	62.3	34	8	10.4	5
大学	44	40	90.9	29	9	20.5	8	31	70.5	21	4	9.1	3
短期大学	33	29	87.9	22	12	36.4	9	17	51.5	13	4	12.1	2
高等専門学校	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害学生0人	234	190	81.2	0	44	18.8	0	146	62.4	0	44	18.8	0
大学	116	92	79.3	0	12	10.3	0	80	69.0	0	24	20.7	0
短期大学	117	97	82.9	0	31	26.5	0	66	56.4	0	20	17.1	0
高等専門学校	1	1	100.0	0	1	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0

※支援障害学生在籍校: 支援障害学生が在籍している学校数

(3)紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

- 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況を見ると、「第三者視点で調査を行なう機関がある」学校76校と「他の機関が対応している」学校529校を合わせた605校で組織的な対応をしており、全学校(1,176校)の51.4%にあたる。
- 「第三者的視点で調整を行なう機関はない」学校は571校で、全学校の(1,176校)の48.6%にあたる。

表38 紛争の防止、解決等に関する調整機関 [学校種別]

	全体の 対応する機関がある 学校数				第三者的視点で調整を行なう機関はない								
	(校)	(%)	第三者的視点で調整を行なう機関がある				他の機関で対応している						
			支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)			
計	1,176	605	51.4	473	76	6.5	66	529	45.0	407	571	48.6	364
大学	809	444	54.9	368	64	7.9	59	380	47.0	309	365	45.1	258
短期大学	310	132	42.6	77	10	3.2	5	122	39.4	72	178	57.4	80
高等専門学校	57	29	50.9	28	2	3.5	2	27	47.4	26	28	49.1	26

表39 紛争の防止、解決等に関する調整機関 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 対応する機関がある 学校数				第三者的視点で調整を行なう機関はない								
	(校)	(%)	第三者的視点で調整を行なう機関がある				他の機関で対応している						
			支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)			
障害学生21人以上	456	276	60.5	267	48	10.5	44	228	50.0	223	180	39.5	163
大学	392	245	62.5	238	45	11.5	42	200	51.0	196	147	37.5	132
短期大学	18	7	38.9	6	1	5.6	0	6	33.3	6	11	61.1	10
高等専門学校	46	24	52.2	23	2	4.3	2	22	47.8	21	22	47.8	21
障害学生11~20人	136	69	50.7	68	10	7.4	10	59	43.4	58	67	49.3	60
大学	95	50	52.6	49	9	9.5	9	41	43.2	40	45	47.4	43
短期大学	37	17	45.9	17	1	2.7	1	16	43.2	16	20	54.1	15
高等専門学校	4	2	50.0	2	0	0.0	0	2	50.0	2	2	50.0	2
障害学生6~10人	131	71	54.2	61	7	5.3	5	64	48.9	56	60	45.8	50
大学	82	41	50.0	36	5	6.1	4	36	43.9	32	41	50.0	35
短期大学	47	28	59.6	23	2	4.3	1	26	55.3	22	19	40.4	15
高等専門学校	2	2	100.0	2	0	0.0	0	2	100.0	2	0	0.0	0
障害学生2~5人	142	64	45.1	51	6	4.2	5	58	40.8	46	78	54.9	61
大学	80	39	48.8	30	3	3.8	2	36	45.0	28	41	51.3	31
短期大学	58	24	41.4	20	3	5.2	3	21	36.2	17	34	58.6	27
高等専門学校	4	1	25.0	1	0	0.0	0	1	25.0	1	3	75.0	3
障害学生1人	77	33	42.9	26	2	2.6	2	31	40.3	24	44	57.1	30
大学	44	17	38.6	15	2	4.5	2	15	34.1	13	27	61.4	17
短期大学	33	16	48.5	11	0	0.0	0	16	48.5	11	17	51.5	13
高等専門学校	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害学生0人	234	92	39.3	0	3	1.3	0	89	38.0	0	142	60.7	0
大学	116	52	44.8	0	0	0.0	0	52	44.8	0	64	55.2	0
短期大学	117	40	34.2	0	3	2.6	0	37	31.6	0	77	65.8	0
高等専門学校	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0

※支援障害学生在籍校:支援障害学生が在籍している学校数

(4) 1) 障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当部署の設置状況を見ると、「専門部署・機関を設置」している学校292校と「他の部署・機関が対応」する学校845校を合わせた1,137校で組織的な対応をしており、全学校(1,176校)の96.7%に当たる。

○「対応する部署・機関はない」学校は39校で、全学校の(1,176校)の3.3%に当たる。

表40 障害学生支援担当部署 [学校種別]

	全体の 学校数		対応する部署・機関がある						対応する部署・機関はない				
	(校)	(校)	専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			専門部署・機関を設置		他の部署・機関が対応		
			(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	
計	1,176	1,137	96.7	830	292	24.8	261	845	71.9	569	39	3.3	7
大学	809	787	97.3	622	222	27.4	212	565	69.8	410	22	2.7	4
短期大学	310	293	94.5	154	53	17.1	32	240	77.4	122	17	5.5	3
高等専門学校	57	57	100.0	54	17	29.8	17	40	70.2	37	0	0.0	0

表41 障害学生支援担当部署 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する部署・機関がある						対応する部署・機関はない				
	(校)	(校)	専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			専門部署・機関を設置		他の部署・機関が対応		
			(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	
障害学生21人以上	456	455	99.8	430	181	39.7	178	274	60.1	252	1	0.2	0
大学	392	391	99.7	370	166	42.3	163	225	57.4	207	1	0.3	0
短期大学	18	18	100.0	16	1	5.6	1	17	94.4	15	0	0.0	0
高等専門学校	46	46	100.0	44	14	30.4	14	32	69.6	30	0	0.0	0
障害学生11~20人	136	135	99.3	127	43	31.6	43	92	67.6	84	1	0.7	1
大学	95	94	98.9	91	27	28.4	27	67	70.5	64	1	1.1	1
短期大学	37	37	100.0	32	14	37.8	14	23	62.2	18	0	0.0	0
高等専門学校	4	4	100.0	4	2	50.0	2	2	50.0	2	0	0.0	0
障害学生6~10人	131	130	99.2	110	26	19.8	24	104	79.4	86	1	0.8	1
大学	82	82	100.0	71	16	19.5	16	66	80.5	55	0	0.0	0
短期大学	47	46	97.9	37	9	19.1	7	37	78.7	30	1	2.1	1
高等専門学校	2	2	100.0	2	1	50.0	1	1	50.0	1	0	0.0	0
障害学生2~5人	142	138	97.2	108	15	10.6	13	123	86.6	95	4	2.8	4
大学	80	77	96.3	58	6	7.5	5	71	88.8	53	3	3.8	3
短期大学	58	57	98.3	46	9	15.5	8	48	82.8	38	1	1.7	1
高等専門学校	4	4	100.0	4	0	0.0	0	4	100.0	4	0	0.0	0
障害学生1人	77	75	97.4	55	5	6.5	3	70	90.9	52	2	2.6	1
大学	44	44	100.0	32	1	2.3	1	43	97.7	31	0	0.0	0
短期大学	33	31	93.9	23	4	12.1	2	27	81.8	21	2	6.1	1
高等専門学校	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害学生0人	234	204	87.2	0	22	9.4	0	182	77.8	0	30	12.8	0
大学	116	99	85.3	0	6	5.2	0	93	80.2	0	17	14.7	0
短期大学	117	104	88.9	0	16	13.7	0	88	75.2	0	13	11.1	0
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0	0

※支援障害学生在籍校: 支援障害学生が在籍している学校数

(4) 2)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当者の配置状況を見てみると、「専任」を配置している学校255校と「兼任」を配置している学校877校を合わせた1,132校で支援担当者を配置しており、全学校(1,176校)の96.3%に当たる。

表42 障害学生支援担当者 [学校種別]

	全体の 学校数 (校)	支援担当者を配置		専任		兼任		外部委託				
		(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)			
計	1,176	1,132	96.3	826	255	21.7	227	877	74.6	599	500	42.5
大学	809	780	96.4	616	205	25.3	192	575	71.1	424	334	41.3
短期大学	310	296	95.5	157	42	13.5	27	254	81.9	130	125	40.3
高等専門学校	57	56	98.2	53	8	14.0	8	48	84.2	45	41	71.9

表43 障害学生支援担当者 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数 (校)	支援担当者を配置		専任		兼任		外部委託				
		(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)			
障害学生21人以上	456	449	98.5	426	173	37.9	170	276	60.5	256	227	49.8
大学	392	386	98.5	367	167	42.6	165	219	55.9	202	184	46.9
短期大学	18	18	100.0	16	3	16.7	2	15	83.3	14	7	38.9
高等専門学校	46	45	97.8	43	3	6.5	3	42	91.3	40	36	78.3
障害学生11~20人	136	135	99.3	127	30	22.1	30	105	77.2	97	64	47.1
大学	95	94	98.9	91	20	21.1	20	74	77.9	71	44	46.3
短期大学	37	37	100.0	32	8	21.6	8	29	78.4	24	18	48.6
高等専門学校	4	4	100.0	4	2	50.0	2	2	50.0	2	2	50.0
障害学生6~10人	131	130	99.2	110	18	13.7	16	112	85.5	94	60	45.8
大学	82	81	98.8	70	8	9.8	7	73	89.0	63	34	41.5
短期大学	47	47	100.0	38	9	19.1	8	38	80.9	30	25	53.2
高等専門学校	2	2	100.0	2	1	50.0	1	1	50.0	1	1	50.0
障害学生2~5人	142	137	96.5	107	13	9.2	10	124	87.3	97	68	47.9
大学	80	75	93.8	56	1	1.3	0	74	92.5	56	35	43.8
短期大学	58	58	100.0	47	10	17.2	8	48	82.8	39	31	53.4
高等専門学校	4	4	100.0	4	2	50.0	2	2	50.0	2	2	50.0
障害学生1人	77	75	97.4	56	2	2.6	1	73	94.8	55	26	33.8
大学	44	43	97.7	32	0	0.0	0	43	97.7	32	13	29.5
短期大学	33	32	97.0	24	2	6.1	1	30	90.9	23	13	39.4
高等専門学校	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害学生0人	234	206	88.0	0	19	8.1	0	187	79.9	0	55	23.5
大学	116	101	87.1	0	9	7.8	0	92	79.3	0	24	20.7
短期大学	117	104	88.9	0	10	8.5	0	94	80.3	0	31	26.5
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0

※支援障害学生在籍校:支援障害学生が在籍している学校数

※複数回答あり

※専任担当者と兼任担当者の両方が配置されている学校については、専任配置校とした。

(4) 3)障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当者別の配置校数を職種別に多い順に並べると次のとおり。

- ・専任スタッフで最も多いのが「コーディネーター」140校。次いで「職員」111校、「教員」61校。
- ・兼任スタッフで最も多いのが「職員」986校。次いで「教員」666校、「カウンセラー」395校。

表44 障害学生支援担当者 [職種別・学校種別]

(校)	計	専任スタッフ							兼任スタッフ					支援技術を持つ教職員			外部委託			医師・カウンセラー等		専門技能者		その他
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	外部委託	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他					
計	1,176	255	140	41	8	7	111	61	41	1,084	105	395	181	19	986	666	68	500	442	48	42			
大学	809	205	117	32	7	6	92	52	35	747	71	290	152	16	677	435	51	334	289	40	27			
短期大学	310	42	21	7	1	1	16	7	5	283	26	94	27	2	258	179	13	125	113	8	10			
高等専門学校	57	8	2	2	0	0	3	2	1	54	8	11	2	1	51	52	4	41	40	0	5			

表45 障害学生支援担当者 [職種別・障害学生数別・学校種別]

(校)	計	専任スタッフ							兼任スタッフ					支援技術を持つ教職員			外部委託			医師・カウンセラー等		専門技能者		その他
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	外部委託	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他					
障害学生21人以上	456	173	107	27	6	5	80	47	26	426	45	203	98	9	385	269	29	227	192	30	24			
大学	392	167	104	26	6	5	78	45	26	366	37	187	95	8	327	217	27	184	150	30	18			
短期大学	18	3	2	0	0	0	1	1	0	17	1	7	1	0	16	11	0	7	7	0	1			
高等専門学校	46	3	1	1	0	0	1	1	0	43	7	9	2	1	42	41	2	36	35	0	5			
障害学生11~20人	136	30	15	3	0	1	13	3	3	127	18	53	23	0	117	72	9	64	57	5	6			
大学	95	20	10	3	0	1	7	2	2	88	11	32	16	0	80	49	8	44	40	4	3			
短期大学	37	8	4	0	0	0	5	0	1	35	6	21	7	0	34	19	1	18	15	1	3			
高等専門学校	4	2	1	0	0	0	1	1	0	4	1	0	0	0	3	4	0	2	2	0	0			
障害学生6~10人	131	18	9	3	1	0	6	3	3	127	18	42	22	4	121	76	7	60	56	4	4			
大学	82	8	3	2	1	0	3	3	3	79	11	27	15	3	74	44	5	34	31	3	3			
短期大学	47	9	6	0	0	0	3	0	0	46	7	15	7	1	46	30	2	25	24	1	1			
高等専門学校	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0			
障害学生2~5人	142	13	8	3	1	1	4	2	3	131	11	36	11	2	122	84	9	68	66	1	3			
大学	80	1	0	0	0	0	1	0	0	75	5	15	6	1	70	45	5	35	34	1	1			
短期大学	58	10	8	3	1	1	2	2	2	52	6	20	5	1	48	35	2	31	30	0	2			
高等専門学校	4	2	0	0	0	0	1	0	1	4	0	1	0	0	4	4	2	2	2	0	0			
障害学生1人	77	2	0	2	0	0	1	0	0	75	7	19	11	1	73	49	4	26	23	5	0			
大学	44	0	0	0	0	0	0	0	0	43	4	9	8	1	42	28	1	13	13	0	0			
短期大学	33	2	0	2	0	0	1	0	0	32	3	10	3	0	31	21	3	13	10	5	0			
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
障害学生0人	234	19	1	3	0	0	7	6	6	198	6	42	16	3	168	116	10	55	48	3	5			
大学	116	9	0	1	0	0	3	2	4	96	3	20	12	3	84	52	5	24	21	2	2			
短期大学	117	10	1	2	0	0	4	4	2	101	3	21	4	0	83	63	5	31	27	1	3			
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0			

※ 複数回答あり

表46 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者 [職種別・学校種別]

	支援障害学生 在籍校 (校)	専任スタッフ			支援技術を持つ教職員					兼任スタッフ			支援技術を持つ教職員			外部委託			医師・カウンセラー等		専門技能者		その他	
		コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	医師	職員	教員	その他	医師	カウンセラー等	専門技能者	その他			
計	837	227	136	33	6	6	99	53	35	788	90	334	159	15	723	494	54	403	352	43	36			
大学	626	192	117	29	6	6	86	49	31	589	64	260	137	13	533	351	43	286	244	38	24			
短期大学	157	27	17	2	0	0	10	2	3	148	18	64	20	1	142	94	7	78	70	5	7			
高等専門学校	54	8	2	2	0	0	3	2	1	51	8	10	2	1	48	49	4	39	38	0	5			

表47 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者 [職種別・障害学生数別・学校種別]

	支援障害学生 在籍校 (校)	専任スタッフ			支援技術を持つ教職員					兼任スタッフ			支援技術を持つ教職員			外部委託			医師・カウンセラー等		専門技能者		その他	
		コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	医師	職員	教員	その他	医師	カウンセラー等	専門技能者	その他			
障害学生21人以上	430	170	106	26	6	5	79	47	26	403	44	198	96	9	363	257	29	217	182	30	24			
大学	370	165	104	25	6	5	77	45	26	347	36	182	93	8	309	208	27	176	142	30	18			
短期大学	16	2	1	0	0	0	1	1	0	15	1	7	1	0	14	10	0	7	7	0	1			
高等専門学校	44	3	1	1	0	0	1	1	0	41	7	9	2	1	40	39	2	34	33	0	5			
障害学生11~20人	128	30	15	3	0	1	13	3	3	119	18	51	23	0	109	66	9	60	53	5	6			
大学	92	20	10	3	0	1	7	2	2	85	11	32	16	0	77	46	8	42	38	4	3			
短期大学	32	8	4	0	0	0	5	0	1	30	6	19	7	0	29	16	1	16	13	1	3			
高等専門学校	4	2	1	0	0	0	1	1	0	4	1	0	0	0	3	4	0	2	2	0	0			
障害学生6~10人	111	16	9	2	0	0	4	2	3	108	14	37	20	4	103	69	5	53	49	4	4			
大学	71	7	3	1	0	0	2	2	3	69	10	24	14	3	65	42	4	31	28	3	3			
短期大学	38	8	6	0	0	0	2	0	0	37	4	13	6	1	37	25	1	21	20	1	1			
高等専門学校	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0			
障害学生2~5人	112	10	6	1	0	0	2	1	3	102	10	32	9	1	93	67	8	54	52	1	2			
大学	61	0	0	0	0	0	0	0	0	56	5	14	6	1	51	35	4	29	28	1	0			
短期大学	47	8	6	1	0	0	1	1	2	42	5	17	3	0	38	28	2	23	22	0	2			
高等専門学校	4	2	0	0	0	0	1	0	1	4	0	1	0	0	4	4	2	2	2	0	0			
障害学生1人	56	1	0	1	0	0	1	0	0	56	4	16	11	1	55	35	3	19	16	3	0			
大学	32	0	0	0	0	0	0	0	0	32	2	8	8	1	31	20	0	8	8	0	0			
短期大学	24	1	0	1	0	0	1	0	0	24	2	8	3	0	24	15	3	11	8	3	0			
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
障害学生0人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
短期大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
高等専門学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

※ 支援障害学生在籍校:各障害学生数区分のうち、支援障害学生が在籍している学校数 ※ 複数回答あり

(5)障害学生の相談受付窓口

<概要>

○障害学生の支援の申し出等に対応する窓口の設置状況を見ると、「支援の申し出等の相談に対応する窓口がある」学校は961校で、全体の学校数(1,176校)の81.7%。このうち、「窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している」学校は794校。

表48 障害学生の相談受付窓口の設置状況

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
支援の申し出等の相談に対応する窓口がある		961	677	229	55
窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している		794	567	179	48
窓口は設けているが、特に周知はしていない		167	110	50	7
支援の申し出等の相談に対応する窓口はない		215	132	81	2
特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している		146	90	54	2
窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない		69	42	27	0

(6)支援の申し出等に関する対応手順

<概要>

○支援の申し出等に関する対応手順の整備状況を見ると、「対応手順を規定した文書がある」学校は393校。「対応要領等に対応手順が記載されている」学校264校と合わせると657校で、全体の学校数(1,176校)の55.9%。

表49 支援の申し出等に関する対応手順

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
対応手順を規定した文書がある		393	283	84	26
対応要領等に対応手順が記載されている		264	192	59	13
対応手順を規定する文書はない		519	334	167	18

※複数回答あり

(7)施設・設備の整備状況(学校種別・内容別)

<概要>

○大学、短期大学、高等専門学校の前すべてにおいて以下のような整備状況である。

- ・屋外については「道路の舗装、段差の解消等」、「専用駐車場」が多い。
- ・屋内については「エレベーター」、「障害者用トイレ」が多い。

表50 施設・設備の整備状況

		学内全体に (校)	現在必要な 箇所に整備	部分的に整 備している が不十分	整備中また は年度内に 整備予定	未整備
大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	169	345	250	0	45
	手すり、スロープ、階段昇降機等	94	401	269	0	45
	点字ブロック、標識シール等	46	190	268	1	304
	専用駐車場	159	405	123	0	122
屋内	自動扉等出入り口の整備	132	332	255	2	88
	エレベーター	208	368	216	1	16
	手すり、スロープ、階段昇降機等	106	374	287	2	40
	車椅子移動等に必要なスペース確保	176	324	245	1	63
	点字プレート等教室表示	24	90	104	4	587
	聴覚障害者用屋内信号装置	1	11	21	2	774
	障害者用トイレ	197	404	191	1	16
	自習室、独習室	64	259	180	4	302
	磁気誘導ループ	0	5	6	3	795
	点字プリンタ	-	74	21	3	711
支援機器	立体コピー機	-	31	10	1	767
	拡大読書機	-	99	53	1	656
	点字携帯端末	-	28	7	0	774
	筆談器等	-	133	98	5	573
	車椅子、簡易ベッド等	-	532	230	1	46
その他	10	87	14	1	-	
短期大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	51	116	112	1	30
	手すり、スロープ、階段昇降機等	20	133	120	1	36
	点字ブロック、標識シール等	8	48	66	2	186
	専用駐車場	47	135	39	1	88
屋内	自動扉等出入り口の整備	33	112	86	2	77
	エレベーター	56	130	73	2	49
	手すり、スロープ、階段昇降機等	30	125	122	1	32
	車椅子移動等に必要なスペース確保	44	114	100	1	51
	点字プレート等教室表示	1	18	33	2	256
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	2	2	3	303
	障害者用トイレ	57	132	97	1	23
	自習室、独習室	15	70	52	3	170
	磁気誘導ループ	0	1	1	3	305
	点字プリンタ	-	6	2	2	300
支援機器	立体コピー機	-	3	3	1	303
	拡大読書機	-	14	6	0	290
	点字携帯端末	-	4	0	0	306
	筆談器等	-	23	20	1	266
	車椅子、簡易ベッド等	-	183	98	2	27
その他	3	15	3	0	-	
高等専門学校						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	11	20	24	1	1
	手すり、スロープ、階段昇降機等	7	25	24	1	0
	点字ブロック、標識シール等	0	5	18	0	34
	専用駐車場	9	30	12	0	6
屋内	自動扉等出入り口の整備	8	22	24	1	2
	エレベーター	10	22	24	0	1
	手すり、スロープ、階段昇降機等	5	26	24	1	1
	車椅子移動等に必要なスペース確保	8	20	24	1	4
	点字プレート等教室表示	0	0	4	0	53
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	0	0	0	57
	障害者用トイレ	11	23	22	0	1
	自習室、独習室	2	15	12	0	28
	磁気誘導ループ	0	0	0	0	57
	点字プリンタ	-	0	0	0	57
支援機器	立体コピー機	-	2	1	0	54
	拡大読書機	-	1	1	0	55
	点字携帯端末	-	0	0	0	57
	筆談器等	-	2	3	0	52
	車椅子、簡易ベッド等	-	39	17	0	1
その他	1	3	0	0	-	

(8) 支援学生(障害学生を支援する学生) 在籍学校数(支援学生数別・学校種別)

<概要>

○支援学生 在籍学校数の状況を見ると、「①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる」学校が212校であり、支援学生 在籍校243校の87.2%となっている。

表51 支援学生 在籍学校数 [支援学生数別・学校種別]

(校)	支援学生がいる												支援学生はいない					
	①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる						②①以外の支援学生がいる						有償		無償		その他	
	有償	無償	その他		有償	無償	その他		有償	無償	その他		有償	無償	その他			
計	243	212	187	31	9	11	5	5	1	3	3	0	0	29	20	7	3	
大学	209	185	166	23	8	10	5	5	0	0	0	0	0	23	18	4	2	
短期大学	27	22	17	6	1	1	0	0	1	3	3	0	0	3	1	1	1	
高等専門学校	7	5	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	
51人以上	41	39	38	3	3	1	0	1	0	1	1	0	0	3	2	0	1	
大学	39	38	37	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	3	2	0	1	
短期大学	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
41～50人	13	13	11	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大学	13	13	11	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
31～40人	15	15	13	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大学	15	15	13	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
21～30人	24	24	21	3	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
大学	18	18	16	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
短期大学	4	4	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
高等専門学校	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11～20人	46	42	37	6	2	2	1	1	0	1	1	0	0	2	2	1	0	
大学	42	39	35	5	1	2	1	1	0	0	0	0	0	2	2	1	0	
短期大学	4	3	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6～10人	29	25	22	5	0	2	1	1	0	0	0	0	0	3	1	1	1	
大学	22	18	16	3	0	2	1	1	0	0	0	0	0	3	1	1	1	
短期大学	6	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高等専門学校	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1～5人	75	54	45	10	1	4	2	1	1	0	0	0	0	21	15	5	1	
大学	60	44	38	6	1	3	2	1	0	0	0	0	0	15	13	2	0	
短期大学	11	8	5	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	1	1	1	
高等専門学校	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	
支援学生はいない	933																	
大学	600																	
短期大学	283																	
高等専門学校	50																	

※①②は複数回答あり。

8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況

(1) 学校種別・障害学生在籍者数別

<概要>

○障害学生支援に関する活動や取組を実施している学校は1,068校であり、このうち支援障害学生が在籍する学校は813校である。

表52 活動・取組実施状況 [学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生 在籍校
計	1,176	1,068	813
大学	809	748	606
短期大学	310	263	153
高等専門学校	57	57	54

表53 活動・取組実施状況 [障害学生数別・学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生 在籍校
障害学生21人以上	456	450	424
大学	392	387	365
短期大学	18	17	15
高等専門学校	46	46	44
障害学生11~20人	136	132	125
大学	95	93	90
短期大学	37	35	31
高等専門学校	4	4	4
障害学生6~10人	131	124	110
大学	82	78	70
短期大学	47	44	38
高等専門学校	2	2	2
障害学生2~5人	142	129	104
大学	80	70	55
短期大学	58	55	45
高等専門学校	4	4	4
障害学生1人	77	64	50
大学	44	33	26
短期大学	33	31	24
高等専門学校	0	0	0
障害学生0人	234	169	0
大学	116	87	0
短期大学	117	81	0
高等専門学校	1	1	0

※支援障害学生在籍校：支援障害学生が在籍している学校数

(2)学校種別・内容別

<概要>

○障害学生支援に関する活動や取組を内容別に見ると、多い順に「4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援」785校(前年度785校)、「3 支援情報の公開」742校(同681校)、「1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組」730校(同696校)、

表54 活動・取組実施状況 [学校種別・内容別]

	(校) 実施校数	大学	短期大学	専門学校	高等	全実施校	全学校
					中の実施率	中の実施率	
					(%)	(%)	
1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組	730 (696)	519 (484)	168 (172)	43 (40)	68.4 (65.3)	62.1 (59.3)	
2 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組	610 (580)	435 (413)	133 (131)	42 (36)	57.1 (54.4)	51.9 (49.4)	
3 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)	742 (681)	552 (503)	142 (132)	48 (46)	69.5 (63.9)	63.1 (58.1)	
4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援	785 (785)	562 (561)	186 (189)	37 (35)	73.5 (73.6)	66.8 (66.9)	
5 他大学等との連携	278 (263)	217 (207)	45 (41)	16 (15)	26.0 (24.7)	23.6 (22.4)	
6 学外機関との連携	483 (451)	354 (329)	102 (95)	27 (27)	45.2 (42.3)	41.1 (38.4)	
7 相談対応・懇親会等(障害学生・支援スタッフ向け)	350 (355)	257 (271)	72 (64)	21 (20)	32.8 (33.3)	29.8 (30.3)	
8 障害学生支援に関する(学内)研修	384 (337)	280 (237)	81 (77)	23 (23)	36.0 (31.6)	32.7 (28.7)	
8 教員向け各種研修(FD等)	350 (316)	254 (220)	73 (74)	23 (22)	32.8 (29.6)	29.8 (26.9)	
9 職員向け各種研修(SD等)	312 (255)	224 (177)	73 (63)	15 (15)	29.2 (23.9)	26.5 (21.7)	
10 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣	386 (377)	268 (272)	82 (70)	36 (35)	36.1 (35.4)	32.8 (32.1)	
11 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイク養成等)	172 (144)	147 (126)	24 (17)	1 (1)	16.1 (13.5)	14.6 (12.3)	
12 支援マニュアル、パンフレット等の配布	279 (270)	226 (220)	50 (48)	3 (2)	26.1 (25.3)	23.7 (23.0)	
13 オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供	338 (325)	261 (256)	61 (60)	16 (9)	31.6 (30.5)	28.7 (27.7)	
14 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知	303 (260)	230 (202)	58 (46)	15 (12)	28.4 (24.4)	25.8 (22.2)	
15 障害学生支援に関する講座講演等イベント	118 (107)	100 (90)	17 (15)	1 (2)	11.0 (10.0)	10.0 (9.1)	
16 障害学生支援または障害者支援に関する講義(ボラティア論等)	441 (430)	340 (331)	100 (98)	1 (1)	41.3 (40.3)	37.5 (36.7)	

※ 複数回答あり

()内は前年度数値

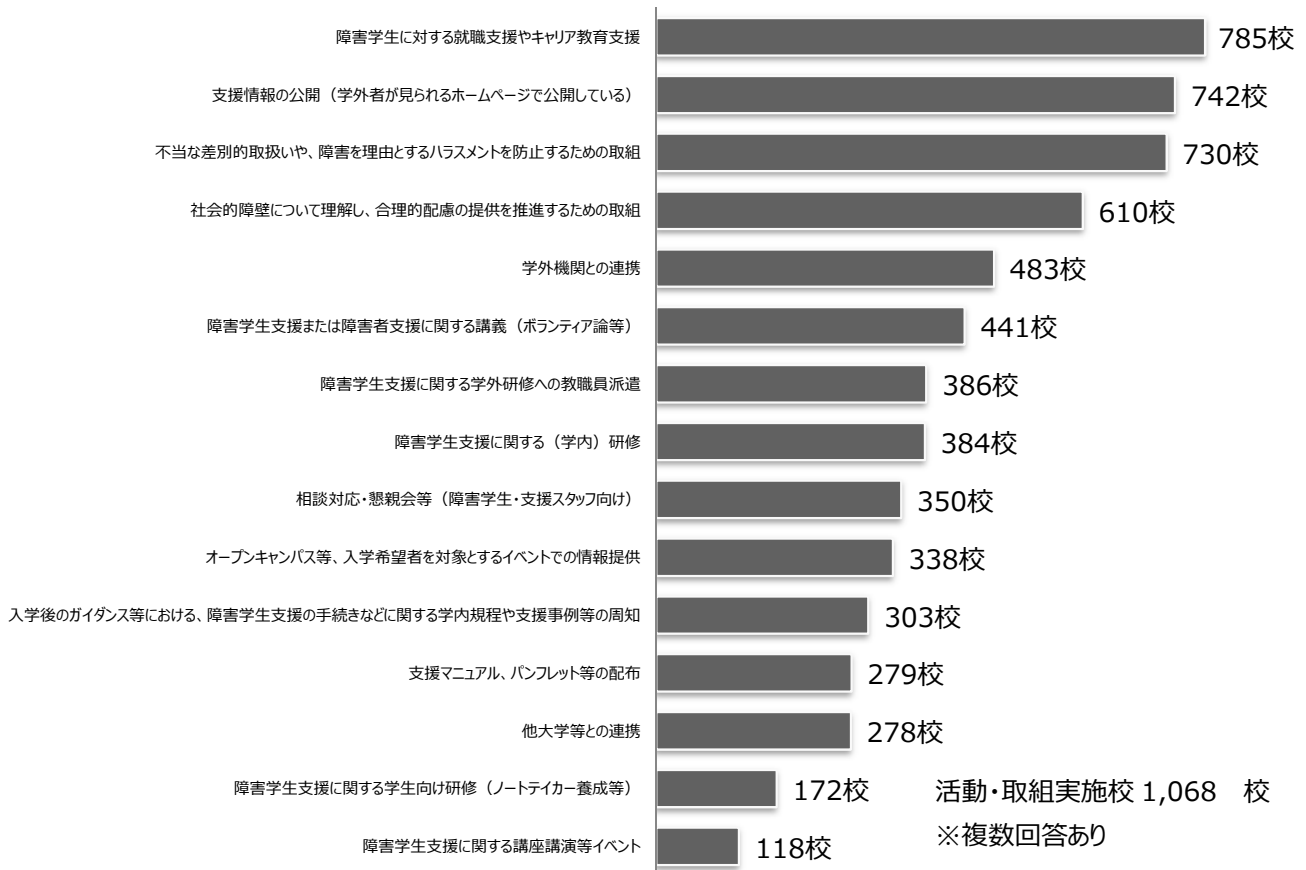


図21 活動・取組実施状況（内容別）

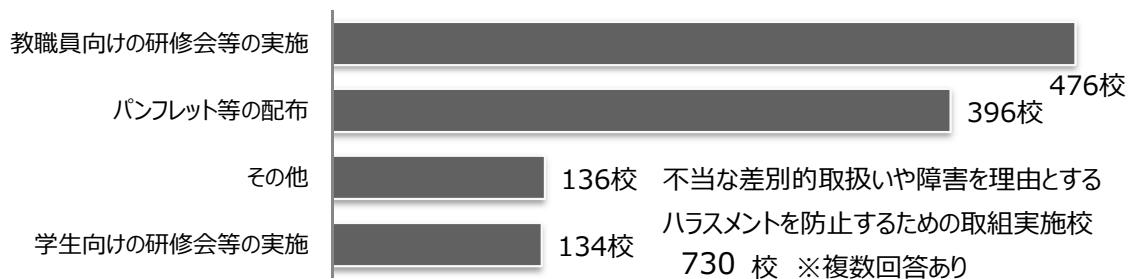


図22 不当な差別的取扱いや障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

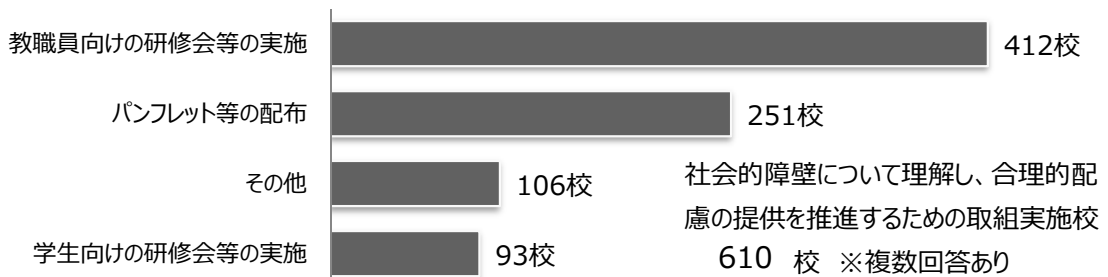


図23 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組

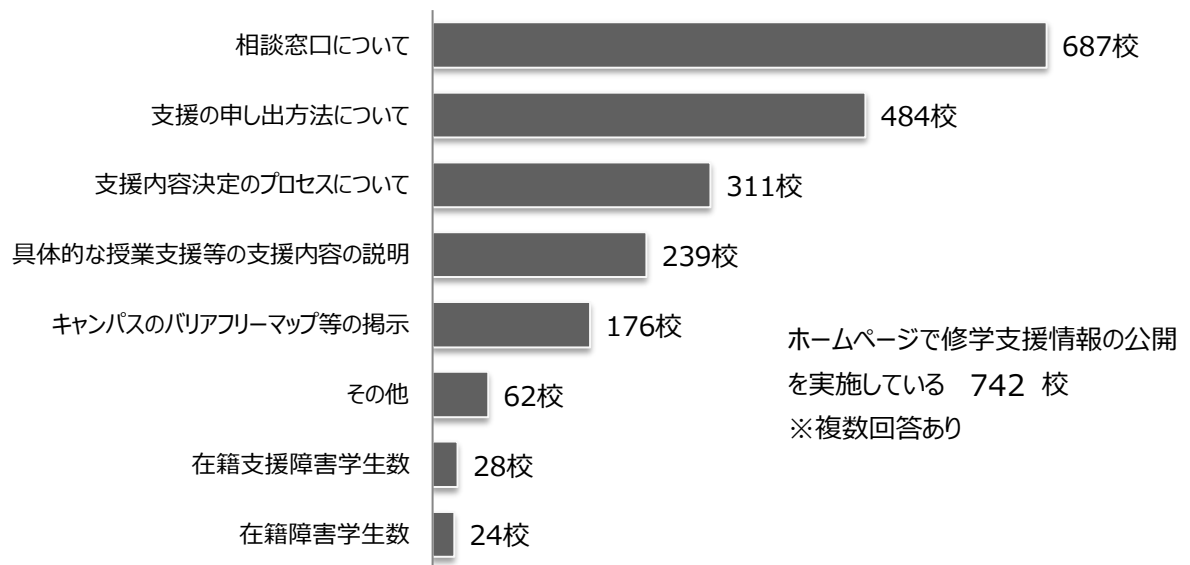


図24 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している。）

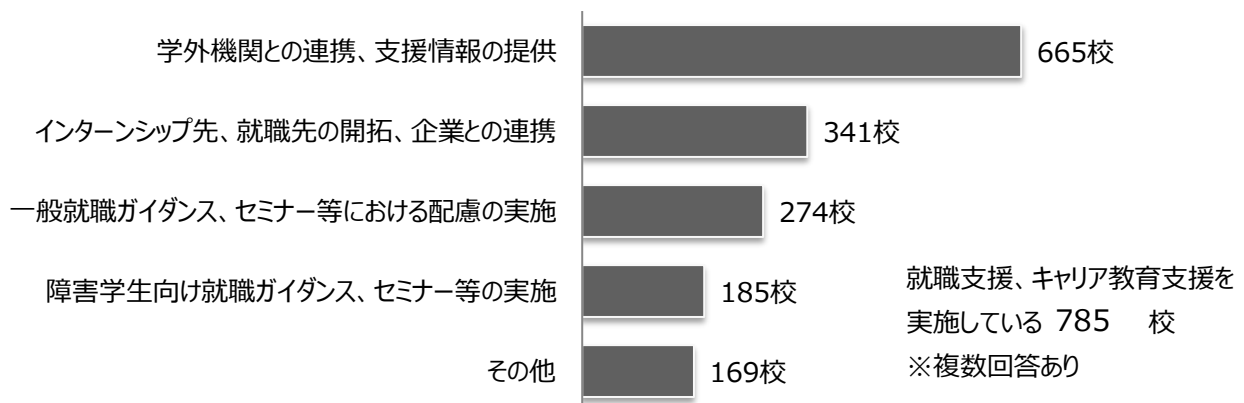


図25 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

9.障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等

(1)入学者選抜における配慮に関する体制

<概要>

- 令和3年度入学者選抜における、入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況については、「入試要項（紙）及びホームページに記載」している学校が880校である。
- 入学選抜における配慮についての事前相談の受付方法は、「全学共通のルールで期間を設けている」学校が576校である。

表55 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
入試要項（紙）及びホームページに記載		880	649	180	51
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		862	635	176	51
個々の困難に応じた配慮内容を記載		18	17	1	0
その他		20	18	2	0
入試要項（紙）のみに記載		145	86	55	4
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		137	83	50	4
個々の困難に応じた配慮内容を記載		3	2	1	0
その他		10	5	5	0
入試要項（紙）にもホームページにも記載していない		125	58	65	2

※複数回答あり

表56 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
随時受け付けている		394	245	133	16
全学共通のルールで期間を設けている		576	435	103	38
出願受付締め切りまで		83	63	16	4
試験前日まで		3	2	0	1
その他		490	370	87	33
学部、学科等や入試形態によって違う		50	47	2	1
特に告知はしていないが、相談があれば対応する		152	80	70	2

(2)入学者選抜において実施可能な配慮

<概要>

○令和3年度入学者選抜における実施可能な配慮について、多い順に「別室を設定」が957校、「車椅子等の持参使用」が948校、「松葉杖の持参使用」が944校。

表57 入学者選抜において実施可能な配慮

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
点字問題を点字で解答		143	132	10	1
拡大文字問題の準備		622	473	123	26
拡大解答用紙の準備		604	460	122	22
音声で出題し音声で解答		62	51	10	1
マークシートに替えて文字で解答		156	135	17	4
チェック解答		201	172	27	2
試験時間の延長		671	515	126	30
照明器具の準備		418	312	82	24
特製机の使用		432	356	60	16
拡大鏡等の持参使用		742	557	152	33
補聴器の持参使用		863	631	194	38
車椅子等の持参使用		948	682	221	45
松葉杖の持参使用		944	681	218	45
パソコン等の持参使用		205	164	36	5
手話通訳者の付与		146	124	21	1
文書による伝達		670	503	136	31
窓側の明るい席の指定		874	625	206	43
トイレに近接する試験室に指定		898	656	202	40
別室を設定		957	688	223	46
試験室を一階に設定		671	483	152	36
介助者の付与		377	296	73	8
試験場への車での入構許可		899	647	210	42
その他		240	204	25	11

※ 複数回答あり

※ 過去に実施した実績がなく、実施可否の検討も行っていない項目については、実施可能と回答していない場合がある。

(3)障害のある入学者数等(障害種別・学校種別)

<概要>

○令和3年度入学者選抜における障害のある入学者について見ると、大学及び短期大学においては「病弱・虚弱」が、高等専門学校では「発達障害」がそれぞれ最も多い。

表58 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (総表)

(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	※の内で受験上の配慮を実施した数	
						受験者	合格者
計	4,816	8,464	8,186	5,734	4,915	4,138	1,935
視覚障害	206	266	262	165	140	167	87
盲	30	37	37	26	23	25	17
弱視	176	229	225	139	117	142	70
聴覚・言語障害	950	1,048	1,006	538	389	871	432
聾	116	197	187	125	110	168	109
難聴	823	839	807	410	276	693	321
言語障害のみ	11	12	12	3	3	10	2
肢体不自由	459	520	507	315	262	376	198
上肢機能障害	39	60	58	43	41	26	14
下肢機能障害	171	196	192	109	92	152	72
上下肢機能障害	135	140	136	89	77	102	58
他の機能障害	114	124	121	74	52	96	54
病弱・虚弱	788	2,205	2,157	1,747	1,594	659	297
内部障害等	584	1,344	1,306	995	874	489	211
他の慢性疾患	204	861	851	752	720	170	86
重複	85	137	131	90	84	70	39
発達障害	624	1,363	1,323	1,024	939	476	210
SLD	51	73	72	46	40	39	13
ADHD	100	326	318	265	251	76	30
ASD	291	665	644	512	466	218	104
発達障害の重複	182	299	289	201	182	143	63
精神障害	912	1,718	1,634	1,130	969	795	354
統合失調症等	37	74	72	45	42	23	4
気分障害	58	238	230	206	190	44	25
神経症性障害等	389	728	681	455	380	364	161
摂食障害・睡眠障害等	28	73	67	57	49	19	10
他の精神障害	400	605	584	367	308	345	154
その他の障害	792	1,207	1,166	725	538	724	318

表59 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (大学)

(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	※の内で受験上の配慮を実施した数	
						受験者	合格者
計	4,642	7,457	7,182	4,774	3,962	4,006	1,828
視覚障害	203	250	246	150	125	165	85
盲	30	37	37	26	23	25	17
弱視	173	213	209	124	102	140	68
聴覚・言語障害	927	1,018	976	510	362	853	416
聾	115	196	186	124	109	167	108
難聴	801	810	778	383	250	676	306
言語障害のみ	11	12	12	3	3	10	2
肢体不自由	443	490	478	291	238	360	187
上肢機能障害	37	53	51	36	34	25	13
下肢機能障害	164	183	180	99	82	145	67
上下肢機能障害	129	132	128	84	72	96	55
他の機能障害	113	122	119	72	50	94	52
病弱・虚弱	749	1,832	1,785	1,384	1,233	629	269
内部障害等	570	1,169	1,132	825	705	476	199
他の慢性疾患	179	663	653	559	528	153	70
重複	85	128	122	81	75	70	39
発達障害	577	1,111	1,071	780	696	452	190
SLD	47	59	58	33	28	36	11
ADHD	89	248	240	190	176	69	24
ASD	268	551	530	401	355	207	94
発達障害の重複	173	253	243	156	137	140	61
精神障害	885	1,566	1,483	985	824	768	332
統合失調症等	34	66	64	38	35	22	4
気分障害	52	216	208	185	169	37	19
神経症性障害等	381	679	632	406	331	356	153
摂食障害・睡眠障害等	27	60	55	45	37	19	10
他の精神障害	391	545	524	311	252	334	146
その他の障害	773	1,062	1,021	593	409	709	310

※ 相談者と志願者は学校が記入した数をそのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

表60 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (短期大学)

	(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	※の内で受験上の配慮を実施した数	
							受験者	合格者
計		129	572	569	553	546	94	82
視覚障害		0	3	3	3	3	0	0
盲		0	0	0	0	0	0	0
弱視		0	3	3	3	3	0	0
聴覚・言語障害		17	20	20	19	18	12	11
聾		1	1	1	1	1	1	1
難聴		16	19	19	18	17	11	10
言語障害のみ		0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由		14	22	21	16	16	14	9
上肢機能障害		2	4	4	4	4	1	1
下肢機能障害		5	10	9	7	7	5	3
上下肢機能障害		6	6	6	3	3	6	3
他の機能障害		1	2	2	2	2	2	2
病弱・虚弱		35	246	245	241	239	25	25
内部障害等		13	118	117	117	116	12	12
他の慢性疾患		22	128	128	124	123	13	13
重複		0	5	5	5	5	0	0
発達障害		30	90	90	89	88	13	12
SLD		3	10	10	10	9	2	2
ADHD		7	27	27	27	27	3	3
ASD		17	40	40	40	40	6	6
発達障害の重複		3	13	13	12	12	2	1
精神障害		23	123	122	119	119	23	20
統合失調症等		3	7	7	6	6	1	0
気分障害		5	19	19	19	19	6	6
神経症性障害等		8	40	40	40	40	8	8
摂食障害・睡眠障害等		1	12	11	11	11	0	0
他の精神障害		6	45	45	43	43	8	6
その他の障害		10	63	63	61	58	7	5

表61 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

	(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	※の内で受験上の配慮を実施した数	
							受験者	合格者
計		45	435	435	407	407	38	25
視覚障害		3	13	13	12	12	2	2
盲		0	0	0	0	0	0	0
弱視		3	13	13	12	12	2	2
聴覚・言語障害		6	10	10	9	9	6	5
聾		0	0	0	0	0	0	0
難聴		6	10	10	9	9	6	5
言語障害のみ		0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由		2	8	8	8	8	2	2
上肢機能障害		0	3	3	3	3	0	0
下肢機能障害		2	3	3	3	3	2	2
上下肢機能障害		0	2	2	2	2	0	0
他の機能障害		0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱		4	127	127	122	122	5	3
内部障害等		1	57	57	53	53	1	0
他の慢性疾患		3	70	70	69	69	4	3
重複		0	4	4	4	4	0	0
発達障害		17	162	162	155	155	11	8
SLD		1	4	4	3	3	1	0
ADHD		4	51	51	48	48	4	3
ASD		6	74	74	71	71	5	4
発達障害の重複		6	33	33	33	33	1	1
精神障害		4	29	29	26	26	4	2
統合失調症等		0	1	1	1	1	0	0
気分障害		1	3	3	2	2	1	0
神経症性障害等		0	9	9	9	9	0	0
摂食障害・睡眠障害等		0	1	1	1	1	0	0
他の精神障害		3	15	15	13	13	3	2
その他の障害		9	82	82	71	71	8	3

※ 相談者と志願者は学校が記入した数をそのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

(4)受験上の配慮を行なった受験者数(障害種別・学校種別)

<概要>

○令和3年度入学者選抜において受験上の配慮を行なった受験者数について見ると、大学においては「聴覚・言語障害」が、短期大学では「病弱・虚弱」が、高等専門学校では「発達障害」がそれぞれ最も多い。

表62 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](総表)

	学部・学科(通学)					特別入試		障害者 特別入試	特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	AO入試	推薦入試	特別入試								
計	4,138	4,020	926	290	622	14	3,094	29	83	1	5		
視覚障害	167	153	51	18	27	6	102	0	13	0	1		
盲	25	18	13	7	4	2	5	0	6	0	1		
弱視	142	135	38	11	23	4	97	0	7	0	0		
聴覚・言語障害	871	848	277	91	181	5	571	7	13	0	3		
聾	168	162	91	30	59	2	71	0	5	0	1		
難聴	693	678	181	58	120	3	497	5	8	0	2		
言語障害のみ	10	8	5	3	2	0	3	2	0	0	0		
肢体不自由	376	353	137	45	89	3	216	3	19	1	0		
上肢機能障害	26	22	8	4	4	0	14	1	3	0	0		
下肢機能障害	152	147	55	18	35	2	92	0	5	0	0		
上下肢機能障害	102	92	46	13	32	1	46	0	9	1	0		
他の機能障害	96	92	28	10	18	0	64	2	2	0	0		
病弱・虚弱	659	641	117	31	86	0	524	7	10	0	1		
内部障害等	489	475	83	27	56	0	392	5	9	0	0		
他の慢性疾患	170	166	34	4	30	0	132	2	1	0	1		
重複	70	69	27	14	13	0	42	0	1	0	0		
発達障害	476	464	107	23	84	0	357	2	10	0	0		
SLD	39	37	12	1	11	0	25	0	2	0	0		
ADHD	76	75	15	4	11	0	60	0	1	0	0		
ASD	218	212	46	9	37	0	166	2	4	0	0		
発達障害の重複	143	140	34	9	25	0	106	0	3	0	0		
精神障害	795	775	130	47	83	0	645	6	14	0	0		
統合失調症等	23	22	2	2	0	0	20	0	1	0	0		
気分障害	44	43	14	5	9	0	29	0	1	0	0		
神経症性障害等	364	360	38	11	27	0	322	2	2	0	0		
摂食障害・睡眠障害等	19	18	5	1	4	0	13	0	1	0	0		
他の精神障害	345	332	71	28	43	0	261	4	9	0	0		
その他の障害	724	717	80	21	59	0	637	4	3	0	0		

表63 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](大学)

	学部・学科(通学)					特別入試		障害者 特別入試	特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	AO入試	推薦入試	特別入試								
計	4,006	3,889	852	270	568	14	3,037	29	83	1	4		
視覚障害	165	151	49	18	25	6	102	0	13	0	1		
盲	25	18	13	7	4	2	5	0	6	0	1		
弱視	140	133	36	11	21	4	97	0	7	0	0		
聴覚・言語障害	853	830	270	88	177	5	560	7	13	0	3		
聾	167	161	90	29	59	2	71	0	5	0	1		
難聴	676	661	175	56	116	3	486	5	8	0	2		
言語障害のみ	10	8	5	3	2	0	3	2	0	0	0		
肢体不自由	360	337	127	39	85	3	210	3	19	1	0		
上肢機能障害	25	21	7	3	4	0	14	1	3	0	0		
下肢機能障害	145	140	50	15	33	2	90	0	5	0	0		
上下肢機能障害	96	86	44	11	32	1	42	0	9	1	0		
他の機能障害	94	90	26	10	16	0	64	2	2	0	0		
病弱・虚弱	629	612	97	27	70	0	515	7	10	0	0		
内部障害等	476	462	73	23	50	0	389	5	9	0	0		
他の慢性疾患	153	150	24	4	20	0	126	2	1	0	0		
重複	70	69	27	14	13	0	42	0	1	0	0		
発達障害	452	440	93	20	73	0	347	2	10	0	0		
SLD	36	34	10	1	9	0	24	0	2	0	0		
ADHD	69	68	13	3	10	0	55	0	1	0	0		
ASD	207	201	39	8	31	0	162	2	4	0	0		
発達障害の重複	140	137	31	8	23	0	106	0	3	0	0		
精神障害	768	748	114	43	71	0	634	6	14	0	0		
統合失調症等	22	21	2	2	0	0	19	0	1	0	0		
気分障害	37	36	12	4	8	0	24	0	1	0	0		
神経症性障害等	356	352	32	9	23	0	320	2	2	0	0		
摂食障害・睡眠障害等	19	18	5	1	4	0	13	0	1	0	0		
他の精神障害	334	321	63	27	36	0	258	4	9	0	0		
その他の障害	709	702	75	21	54	0	627	4	3	0	0		

表64 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](短期大学)

	学部・学科(通学)						特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	特別入試									
	計	AO入試	推薦入試	障害者 特別入試							
計	94	93	60	20	40	0	33	0	-	-	1
視覚障害	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
弱視	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
聴覚・言語障害	12	12	7	3	4	0	5	0	-	-	0
聾	1	1	1	1	0	0	0	0	-	-	0
難聴	11	11	6	2	4	0	5	0	-	-	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
肢体不自由	14	14	10	6	4	0	4	0	-	-	0
上肢機能障害	1	1	1	1	0	0	0	0	-	-	0
下肢機能障害	5	5	5	3	2	0	0	0	-	-	0
上下肢機能障害	6	6	2	2	0	0	4	0	-	-	0
他の機能障害	2	2	2	0	2	0	0	0	-	-	0
病弱・虚弱	25	24	18	4	14	0	6	0	-	-	1
内部障害等	12	12	10	4	6	0	2	0	-	-	0
他の慢性疾患	13	12	8	0	8	0	4	0	-	-	1
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
発達障害	13	13	8	3	5	0	5	0	-	-	0
SLD	2	2	1	0	1	0	1	0	-	-	0
ADHD	3	3	1	1	0	0	2	0	-	-	0
ASD	6	6	4	1	3	0	2	0	-	-	0
発達障害の重複	2	2	2	1	1	0	0	0	-	-	0
精神障害	23	23	14	4	10	0	9	0	-	-	0
統合失調症等	1	1	0	0	0	0	1	0	-	-	0
気分障害	6	6	2	1	1	0	4	0	-	-	0
神経症性障害等	8	8	6	2	4	0	2	0	-	-	0
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
他の精神障害	8	8	6	1	5	0	2	0	-	-	0
その他の障害	7	7	3	0	3	0	4	0	-	-	0

表65 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](高等専門学校)

	学部・学科(通学)						特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	特別入試									
	計	AO入試	推薦入試	障害者 特別入試							
計	38	38	14	0	14	0	24	-	-	-	0
視覚障害	2	2	2	0	2	0	0	-	-	-	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
弱視	2	2	2	0	2	0	0	-	-	-	0
聴覚・言語障害	6	6	0	0	0	0	6	-	-	-	0
聾	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
難聴	6	6	0	0	0	0	6	-	-	-	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
肢体不自由	2	2	0	0	0	0	2	-	-	-	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
下肢機能障害	2	2	0	0	0	0	2	-	-	-	0
上下肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
病弱・虚弱	5	5	2	0	2	0	3	-	-	-	0
内部障害等	1	1	0	0	0	0	1	-	-	-	0
他の慢性疾患	4	4	2	0	2	0	2	-	-	-	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
発達障害	11	11	6	0	6	0	5	-	-	-	0
SLD	1	1	1	0	1	0	0	-	-	-	0
ADHD	4	4	1	0	1	0	3	-	-	-	0
ASD	5	5	3	0	3	0	2	-	-	-	0
発達障害の重複	1	1	1	0	1	0	0	-	-	-	0
精神障害	4	4	2	0	2	0	2	-	-	-	0
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
気分障害	1	1	0	0	0	0	1	-	-	-	0
神経症性障害等	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
他の精神障害	3	3	2	0	2	0	1	-	-	-	0
その他の障害	8	8	2	0	2	0	6	-	-	-	0

(5)入学者選抜において実施した配慮の内容(障害種別)

<概要>

○令和3年度入学者選抜において実施した配慮の内容について見ると、多い順に「別室を設定」299校、「補聴器の持参使用」225校、「トイレに近接する試験室に指定」203校。

表66 入学者選抜において実施した配慮の内容 [障害種別]

	点字問題を点字で解答	拡大文字問題の準備	拡大解答用紙の準備	音声で出題し音声で解答	マークシートに替えて文字で解答	チェック解答	試験時間の延長	照明器具の準備	特製机の使用	拡大鏡等の持参使用	補聴器の持参使用	車椅子等の持参使用	松葉杖の持参使用	パソコン等の持参使用	手話通訳者の付与	文書による伝達	窓側の明るい席の指定	トイレに近接する試験室に指定	別室を設定	試験室を一階に設定	介助者の付与	試験場への車での入構許可	その他	
実施校数 (校) 校数	503	15	94	77	3	9	49	171	4	101	77	225	168	58	20	20	200	16	203	299	81	75	169	353
視覚障害	96	14	52	37	2	7	13	58	3	10	54	0	0	2	4	0	6	8	1	48	3	9	4	54
盲	18	11	0	0	1	0	0	15	0	4	0	0	0	1	3	0	1	0	0	11	0	4	0	14
弱視	85	3	52	37	1	7	13	46	3	6	54	0	0	1	1	0	5	8	1	40	3	5	4	43
聴覚・言語障害	259	0	0	0	1	0	2	10	0	0	0	213	3	0	2	19	164	1	3	37	1	2	1	169
聾	46	0	0	0	1	0	1	4	0	0	0	29	1	0	2	10	38	1	2	4	0	0	0	29
難聴	233	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	198	2	0	1	13	143	0	1	36	1	2	0	150
言語障害のみ	6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
肢体不自由	197	0	13	16	0	0	19	63	1	66	1	2	126	36	7	0	2	0	82	81	52	43	113	104
上肢機能障害	25	0	1	4	0	0	6	11	0	5	0	1	5	1	1	0	1	0	5	13	4	2	2	12
下肢機能障害	103	0	2	2	0	0	0	9	0	24	0	1	62	27	3	0	1	0	39	31	33	14	48	45
上下肢機能障害	68	0	2	5	0	0	10	27	1	21	0	0	44	5	4	0	0	0	31	21	14	16	44	31
他の機能障害	64	0	8	5	0	0	5	25	1	25	1	0	35	5	0	0	0	0	28	31	12	16	32	44
病弱・虚弱	211	1	20	11	0	2	9	32	1	27	18	2	43	14	6	0	4	4	92	121	28	19	50	153
内部障害等	168	1	18	9	0	2	8	29	0	23	18	2	34	13	6	0	4	3	78	96	24	17	42	122
他の慢性疾患	94	0	2	2	0	0	1	3	1	5	0	0	12	1	0	0	0	1	20	54	8	2	14	60
重複	39	1	3	3	0	0	5	14	0	6	3	7	14	1	0	1	9	0	14	19	6	6	10	24
発達障害	184	0	20	12	0	1	18	62	0	3	2	0	1	0	3	1	56	1	23	120	4	3	15	135
SLD	23	0	5	1	0	0	5	12	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	13	0	0	0	15
ADHD	49	0	5	1	0	1	7	10	0	0	0	0	0	0	0	9	1	5	29	0	0	0	4	28
ASD	116	0	3	3	0	0	4	28	0	0	0	0	0	1	1	26	0	10	73	3	3	8	86	
発達障害の重複	72	0	10	7	0	0	3	26	0	3	0	1	0	1	0	27	0	7	50	1	0	5	50	
精神障害	236	0	3	3	0	0	2	19	0	3	1	2	7	4	3	0	7	0	62	148	7	7	25	168
統合失調症等	18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	12	1	0	2	8	
気分障害	28	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	0	0	3	12	
神経症性障害等	139	0	1	1	0	0	2	3	0	2	1	0	7	3	0	1	0	36	91	5	3	16	97	
摂食障害・睡眠障害等	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	9	0	1	3	14	
他の精神障害	146	0	2	1	0	0	0	15	0	0	0	2	0	0	3	0	4	0	35	77	1	4	3	101
その他の障害	185	0	7	8	0	0	8	13	0	18	5	17	8	7	0	0	10	3	76	90	14	3	25	150

※ 複数回答あり

10.障害学生の卒業後の進路

進路状況(学校種別・障害種別)

<概要>

○通学の最高年次(※)に在籍していた障害学生は(令和2年5月1日現在)8,010人で、令和2年度の卒業生は5,980人。

○卒業生の進路状況は、「進学者」が684人で「就職者」が2,973人。また、「進学者」のうち就職している者10人を加えた全就職者数は2,983人。

※最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表67 進路状況 [学校種別・障害種別] (総表)

	和最高年次(令和2年5月1日現在)		令和2年度に卒業した障害学生の進路状況(令和3年5月1日まで)													
	人数	障害学生数	進学者	大学院研究科	大学院学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く)	含む(臨床研修医(予定者を除く))	校専修学校・教育訓練機関等	関入所者	社会福祉施設・医療機関	一時的な職に就いた者	左記以外の者
計	8,010	5,980	684	457	178	7	36	6	10	2,973	27	121	128	289	1,041	717
視覚障害	120	102	15	13	1	0	1	0	0	54	0	7	1	3	15	7
盲	18	17	6	5	0	0	1	0	0	4	0	4	0	0	2	1
弱視	102	85	9	8	1	0	0	0	0	50	0	3	1	3	13	6
聴覚・言語障害	363	323	37	22	11	1	1	2	0	203	2	1	3	11	42	24
聾	110	90	6	6	0	0	0	0	0	61	0	1	0	2	17	3
難聴	242	225	30	16	11	1	1	1	0	137	2	0	3	9	23	21
言語障害のみ	11	8	1	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	2	0
肢体不自由	430	390	42	26	12	1	3	0	0	223	5	6	4	10	58	42
上肢機能障害	81	71	5	4	0	0	1	0	0	45	1	1	1	2	8	8
下肢機能障害	147	134	15	9	4	1	1	0	0	78	3	3	2	3	17	13
上下肢機能障害	139	131	14	9	4	0	1	0	0	70	1	0	1	5	24	16
他の機能障害	63	54	8	4	4	0	0	0	0	30	0	2	0	0	9	5
病弱・虚弱	1,914	1,662	177	105	60	2	10	0	4	1,008	9	19	20	86	184	159
内部障害等	1,210	1,038	114	73	35	0	6	0	3	625	8	15	13	52	110	101
他の慢性疾患	704	624	63	32	25	2	4	0	1	383	1	4	7	34	74	58
重複	83	64	8	6	1	0	1	0	0	29	0	4	0	1	13	9
発達障害	1,885	1,297	156	100	48	1	6	1	4	554	1	38	64	59	293	132
SLD	40	34	8	3	4	0	0	1	1	12	0	2	1	1	6	4
ADHD	571	357	38	24	12	1	1	0	2	164	1	10	7	22	70	45
ASD	989	718	94	63	27	0	4	0	1	285	0	21	46	28	174	70
発達障害の重複	285	188	16	10	5	0	1	0	0	93	0	5	10	8	43	13
精神障害	2,735	1,756	188	142	34	2	7	3	2	696	10	42	33	96	393	298
統合失調症等	200	128	9	5	4	0	0	0	0	48	0	4	6	6	36	19
気分障害	867	511	62	51	10	1	0	0	1	179	6	10	12	34	111	97
神経症性障害等	884	575	54	44	8	0	0	2	0	236	3	15	6	33	127	101
摂食障害・睡眠障害等	195	146	16	11	2	0	3	0	0	67	0	5	2	5	29	22
他の精神障害	589	396	47	31	10	1	4	1	1	166	1	8	7	18	90	59
その他の障害	480	386	61	43	11	0	7	0	0	206	0	4	3	23	43	46

表68 進路状況 [学校種別・障害種別] (大学)

	令和2年度に卒業した障害学生の進路状況(令和3年5月1日まで)															
	令和2年度 5月1日現在 (人)	令和2年度 3月31日 卒業の障害 学生数(人)	進学者	大学院 研究科	大学院 学部	短期 大学 本科	専攻 科	別 科	うち 就職 してい る者	就職者 (左記を 除く)	臨床 研修医 (予定者 を含む)	専修 学校・ 外国の 大学 等	専修 学校・ 外国の 大学 等	社会 福祉 施設・ 医療 機 関 入 所 者	一時的 な職に 就いた 者	左記 以外の 者
計	7,051	5,140	544	451	79	2	7	5	9	2,471	22	103	122	243	949	686
視覚障害	111	95	15	13	1	0	1	0	0	50	0	5	1	3	14	7
盲	18	17	6	5	0	0	1	0	0	4	0	4	0	0	2	1
弱視	93	78	9	8	1	0	0	0	0	46	0	1	1	3	12	6
聴覚・言語障害	328	290	27	22	2	0	1	2	0	186	2	1	3	9	39	23
聾	106	86	6	6	0	0	0	0	0	59	0	1	0	1	16	3
難聴	213	197	20	16	2	0	1	1	0	123	2	0	3	8	21	20
言語障害のみ	9	7	1	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	2	0
肢体不自由	405	367	37	25	11	0	1	0	0	210	5	5	4	10	57	39
上肢機能障害	74	65	4	4	0	0	0	0	0	42	1	0	1	2	8	7
下肢機能障害	140	128	14	9	4	0	1	0	0	75	3	3	2	3	16	12
上下肢機能障害	131	123	11	8	3	0	0	0	0	66	1	0	1	5	24	15
他の機能障害	60	51	8	4	4	0	0	0	0	27	0	2	0	0	9	5
病弱・虚弱	1,537	1,315	132	103	26	2	1	0	3	777	4	14	19	63	160	146
内部障害等	1,015	860	90	72	18	0	0	0	3	513	3	11	13	41	97	92
他の慢性疾患	522	455	42	31	8	2	1	0	0	264	1	3	6	22	63	54
重複	79	60	7	6	1	0	0	0	0	28	0	3	0	1	13	8
発達障害	1,664	1,114	114	99	14	0	0	1	4	462	1	34	61	51	265	126
SLD	36	31	7	3	3	0	0	1	1	11	0	1	1	1	6	4
ADHD	510	312	29	24	5	0	0	0	2	138	1	10	7	18	66	43
ASD	871	613	67	62	5	0	0	0	1	237	0	18	44	25	156	66
発達障害の重複	247	158	11	10	1	0	0	0	0	76	0	5	9	7	37	13
精神障害	2,552	1,606	168	142	22	0	2	2	2	613	10	38	31	86	367	293
統合失調症等	187	119	6	5	1	0	0	0	0	46	0	4	6	5	33	19
気分障害	834	486	60	51	9	0	0	0	1	164	6	8	12	32	107	97
神経症性障害等	824	522	50	44	4	0	0	2	0	211	3	15	4	28	113	98
摂食障害・睡眠障害等	176	128	14	11	2	0	1	0	0	53	0	4	2	5	28	22
他の精神障害	531	351	38	31	6	0	1	0	1	139	1	7	7	16	86	57
その他の障害	375	293	44	41	2	0	1	0	0	145	0	3	3	20	34	44

表69 進路状況 [学校種別・障害種別] (短期大学)

	令和2年5月1日現在 (人)	最高年次障害学生数 (令和3月31日 まで)	令和2年度に卒業した障害学生の進路状況(令和3年5月1日まで)													
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く) (含む)	臨床研修医(予定者を除く)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
計	660	560	47	0	38	5	4	0	1	346	5	13	6	45	69	29
視覚障害	8	6	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	1	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	8	6	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	1	0
聴覚・言語障害	24	23	4	0	3	1	0	0	0	13	0	0	0	2	3	1
聾	4	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0
難聴	19	18	4	0	3	1	0	0	0	10	0	0	0	1	2	1
言語障害のみ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	15	13	1	0	0	1	0	0	0	7	0	1	0	0	1	3
上肢機能障害	4	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
下肢機能障害	5	4	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
上下肢機能障害	4	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1
他の機能障害	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	289	262	15	0	15	0	0	0	1	183	5	3	1	23	20	12
内部障害等	154	139	9	0	9	0	0	0	0	93	5	3	0	11	10	8
他の慢性疾患	135	123	6	0	6	0	0	0	1	90	0	0	1	12	10	4
重複	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
発達障害	104	78	9	0	7	1	1	0	0	35	0	4	3	8	13	6
SLD	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
ADHD	33	23	3	0	2	1	0	0	0	11	0	0	0	4	3	2
ASD	54	43	4	0	3	0	1	0	0	19	0	3	2	3	8	4
発達障害の重複	14	10	2	0	2	0	0	0	0	4	0	0	1	1	2	0
精神障害	144	114	13	0	9	2	2	0	0	60	0	3	2	9	23	4
統合失調症等	9	5	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0
気分障害	26	18	2	0	1	1	0	0	0	9	0	2	0	2	3	0
神経症性障害等	56	49	4	0	4	0	0	0	0	23	0	0	2	4	14	2
摂食障害・睡眠障害等	13	13	1	0	0	0	1	0	0	10	0	1	0	0	1	0
他の精神障害	40	29	5	0	3	1	1	0	0	17	0	0	0	2	3	2
その他の障害	73	61	5	0	4	0	1	0	0	43	0	0	0	3	8	2

表70 進路状況 [学校種別・障害種別] (高等専門学校)

	令和2年5月1日現在)	最高年次障害学生数(令和3年3月31日現在)	令和2年度に卒業した障害学生の進路状況(令和3年5月1日まで)													
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く)	含む)	臨床研修医(予定者を	校・教育訓練機関等	専修学校・外国の学	関入所者	社会福祉施設・医療機
計	299	280	93	6	61	0	25	1	0	156	0	5	0	1	23	2
視覚障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
聴覚・言語障害	11	10	6	0	6	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	10	10	6	0	6	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	10	10	4	1	1	0	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	3	3	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	4	4	3	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	88	85	30	2	19	0	9	0	0	48	0	2	0	0	4	1
内部障害等	41	39	15	1	8	0	6	0	0	19	0	1	0	0	3	1
他の慢性疾患	47	46	15	1	11	0	3	0	0	29	0	1	0	0	1	0
重複	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	117	105	33	1	27	0	5	0	0	57	0	0	0	0	15	0
SLD	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	28	22	6	0	5	0	1	0	0	15	0	0	0	0	1	0
ASD	64	62	23	1	19	0	3	0	0	29	0	0	0	0	10	0
発達障害の重複	24	20	3	0	2	0	1	0	0	13	0	0	0	0	4	0
精神障害	39	36	7	0	3	0	3	1	0	23	0	1	0	1	3	1
統合失調症等	4	4	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
気分障害	7	7	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	0
神経症性障害等	4	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1
摂食障害・睡眠障害等	6	5	1	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0
他の精神障害	18	16	4	0	1	0	2	1	0	10	0	1	0	0	1	0
その他の障害	32	32	12	2	5	0	5	0	0	18	0	1	0	0	1	0

表71 障害学生の卒業率と就職率 [障害種別]

	最高年次 学生数 (人)	卒業 学生数	就職 希望者数	就職者数	卒業率 (%)	就職希望率 (%)	就職率 (%)
計	8,010	5,980	4,143	2,973	74.7	69.3	71.8
視覚障害	120	102	73	54	85.0	71.6	74.0
盲	18	17	8	4	94.4	47.1	50.0
弱視	102	85	65	50	83.3	76.5	76.9
聴覚・言語障害	363	323	251	203	89.0	77.7	80.9
聾	110	90	75	61	81.8	83.3	81.3
難聴	242	225	170	137	93.0	75.6	80.6
言語障害のみ	11	8	6	5	72.7	75.0	83.3
肢体不自由	430	390	299	223	90.7	76.7	74.6
上肢機能障害	81	71	58	45	87.7	81.7	77.6
下肢機能障害	147	134	100	78	91.2	74.6	78.0
上下肢機能障害	139	131	99	70	94.2	75.6	70.7
他の機能障害	63	54	42	30	85.7	77.8	71.4
病弱・虚弱	1,914	1,662	1,246	1,008	86.8	75.0	80.9
内部障害等	1,210	1,038	779	625	85.8	75.0	80.2
他の慢性疾患	704	624	467	383	88.6	74.8	82.0
重複	83	64	37	29	77.1	57.8	78.4
発達障害	1,885	1,297	885	554	68.8	68.2	62.6
SLD	40	34	19	12	85.0	55.9	63.2
ADHD	571	357	248	164	62.5	69.5	66.1
ASD	989	718	485	285	72.6	67.5	58.8
発達障害の重複	285	188	133	93	66.0	70.7	69.9
精神障害	2,735	1,756	1,092	696	64.2	62.2	63.7
統合失調症等	200	128	95	48	64.0	74.2	50.5
気分障害	867	511	289	179	58.9	56.6	61.9
神経症性障害等	884	575	349	236	65.0	60.7	67.6
摂食障害・睡眠障害等	195	146	88	67	74.9	60.3	76.1
他の精神障害	589	396	271	166	67.2	68.4	61.3
その他の障害	480	386	260	206	80.4	67.4	79.2

※ 卒業率:卒業学生数÷最高年次学生数×100(%)

※ 就職希望率:就職希望者数÷卒業学生数×100(%)

※ 就職率:就職者数÷就職希望者数×100(%)

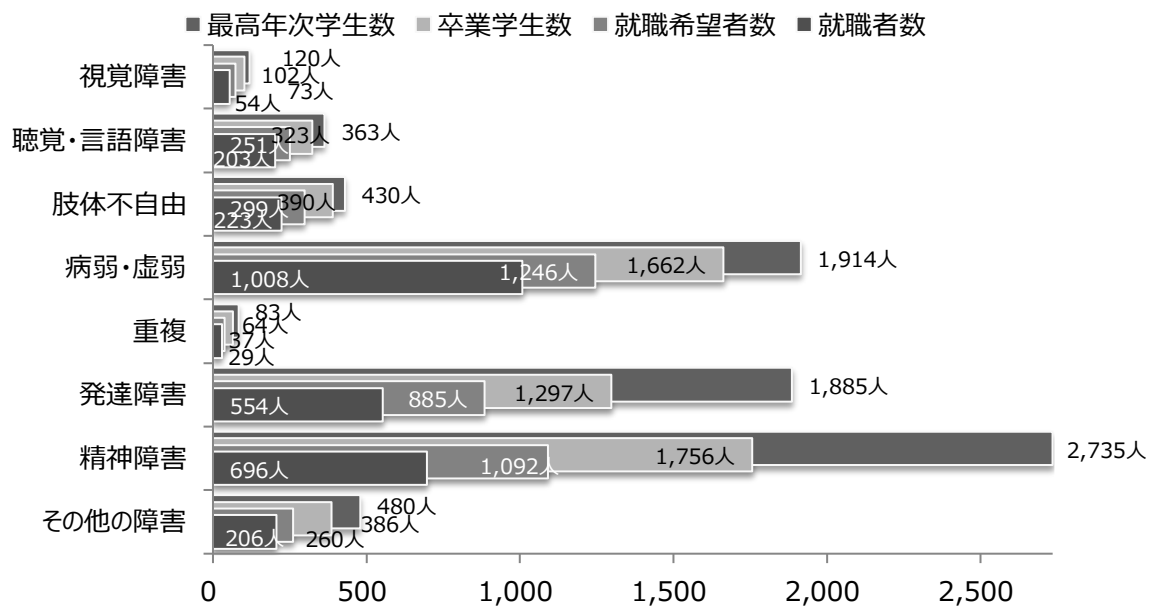


図26 障害学生の卒業及び就職の状況

11. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

発達障害学生の支援状況に関しては、診断書のある発達障害学生に加え、診断書はないものの発達障害があることが推察され教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行なっていない者を除く。）についても調査した。

(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学校種別）

<概要>

○発達障害（診断書有）学生は8,698人で、このうち支援障害学生は6,037人。

○発達障害（診断書無・配慮有）の支援障害学生は2,585人。発達障害（診断書有）の支援障害学生と合わせると8,622人。

表72 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学校種別]

	障害学生数				支援障害学生数			
	(人)	大学	短期大学	高等 専門学校	大学	短期大学	高等 専門学校	
計	8,698	7,368	278	1,052	8,622	7,712	338	572
診断書有（再掲）	8,698	7,368	278	1,052	6,037	5,434	189	414
SLD	243	210	15	18	171	150	9	12
ADHD	2,648	2,245	80	323	1,774	1,616	53	105
ASD	4,212	3,542	140	530	2,869	2,576	93	200
重複	1,595	1,371	43	181	1,223	1,092	34	97
診断書無・配慮有	—	—	—	—	2,585	2,278	149	158
SLD	—	—	—	—	63	40	18	5
ADHD	—	—	—	—	698	625	39	34
ASD	—	—	—	—	1,125	1,013	56	56
区分不明	—	—	—	—	699	600	36	63

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学科(専攻)別)

<概要>

○支援発達障害学生数(診断書有+診断書無・配慮有)を学科(専攻)別に見ると、大学では多い順に、「人文科学」1,896人、「社会科学」1,598人。短期大学では多い順に、「教育」71人、「人文」56人。高等専門学校は多い順に、「工業」554人、「社会」14人。

表73 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学科(専攻)別]

	障害学生数				支援障害学生数				② 診断書無・配慮有	発達障害の重複	S L D	A D D	A S D	区分不明		
	診断書有(再掲)	S L D	A D D	A S D	①+② 発達障害の重複	① 診断書有(再掲)	S L D	A D D							A S D	
計	8,698	243	2,648	4,212	1,595	8,622	6,037	171	1,774	2,869	1,223	2,585	63	698	1,125	699
大学	7,368	210	2,245	3,542	1,371	7,712	5,434	150	1,616	2,576	1,092	2,278	40	625	1,013	600
人文科学	1,669	39	507	813	310	1,896	1,302	29	379	637	257	594	10	153	257	174
社会科学	1,496	49	434	745	268	1,598	1,116	35	327	534	220	482	9	130	220	123
理学	518	7	133	240	138	553	412	4	107	191	110	141	2	32	77	30
工学	1,516	31	428	787	270	1,511	1,066	19	296	546	205	445	6	124	233	82
農学	384	9	109	180	86	382	292	6	77	136	73	90	1	31	37	21
保健(医・歯学)	71	0	30	36	5	79	36	0	14	19	3	43	1	8	16	18
保健(医・歯学を除く)	324	13	130	144	37	320	214	7	84	97	26	106	1	30	48	27
商船	8	0	4	3	1	6	6	0	2	3	1	0	0	0	0	0
家政	86	4	33	37	12	97	58	3	24	21	10	39	2	13	10	14
教育	302	12	114	120	56	324	217	9	82	85	41	107	3	32	35	37
芸術	482	21	157	213	91	411	315	18	108	130	59	96	3	28	35	30
その他	512	25	166	224	97	535	400	20	116	177	87	135	2	44	45	44
短期大学	278	15	80	140	43	338	189	9	53	93	34	149	18	39	56	36
人文	46	0	14	28	4	56	38	0	10	25	3	18	0	4	13	1
社会	34	1	12	15	6	48	25	0	8	12	5	23	0	5	10	8
教養	9	1	3	3	2	10	4	0	1	3	0	6	2	3	0	1
工業	16	0	5	7	4	14	13	0	4	6	3	1	0	0	1	0
農業	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健	4	0	3	1	0	5	3	0	2	1	0	2	0	0	1	1
家政	55	4	12	31	8	55	36	2	10	19	5	19	0	5	7	7
教育	40	0	15	20	5	71	23	0	11	8	4	48	12	11	10	15
芸術	42	4	11	16	11	55	29	3	6	9	11	26	2	10	14	0
その他	30	5	4	18	3	24	18	4	1	10	3	6	2	1	0	3
高等専門学校	1,052	18	323	530	181	572	414	12	105	200	97	158	5	34	56	63
社会	1	1	0	0	0	14	1	1	0	0	0	13	0	1	12	0
工業	1,041	17	319	527	178	554	409	11	104	200	94	145	5	33	44	63
商船	7	0	4	1	2	3	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0
芸術	3	0	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0

(3)発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数(学校種別)

<概要>

- 「発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」は786校で、学校(1,176校)に占めるその在籍校の割合は66.8%。
- 「支援発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」は693校で、全学校(1,176校)に占めるその在籍校の割合は58.9%。

表74 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 [学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	786	597	135	54
発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	740	579	108	53
SLD	152	129	12	11
ADHD	561	456	56	49
ASD	605	481	74	50
発達障害の重複	388	314	30	44
支援発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	693	533	109	51
支援発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	636	507	79	50
SLD	114	99	7	8
ADHD	453	381	37	35
ASD	520	424	53	43
発達障害の重複	333	272	23	38
発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	373	291	58	24
SLD	42	35	5	2
ADHD	208	173	24	11
ASD	223	190	21	12
区分不明	183	147	23	13
全体の学校数	1,176	809	310	57

(4) 発達障害のある学生への支援（支援内容別）

<概要>

○「支援発達障害（診断書有）学生または発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」693校で行なわれている支援内容は次のとおり。

- ・授業支援では、多い順に「配慮依頼文書の配付」468校、「出席に関する配慮」327校、「授業内容の代替、提出期限延長等」の323校。
- ・授業以外の支援では、多い順に「専門家によるカウンセリング」415校、「自己管理指導」305校、「医療機関との連携」259校。

表75 支援発達障害学生への主な支援内容〔授業支援及び授業以外の支援〕

	(校)	計	大学	短期大学	高等 専門学校
授業支援		638	499	91	48
配慮依頼文書の配付		468	388	50	30
出席に関する配慮		327	285	28	14
授業内容の代替、提出期限延長等		323	279	27	17
講義に関する配慮		294	253	25	16
学習指導		275	213	35	27
教室内座席配慮		249	203	30	16
履修支援		241	211	29	1
注意事項等文書伝達		229	197	20	12
試験時間延長・別室受験		169	142	12	15
実技・実習配慮		165	130	22	13
授業以外の支援		558	434	79	45
専門家によるカウンセリング		415	329	47	39
自己管理指導		305	241	33	31
医療機関との連携		259	202	28	29
対人関係配慮		215	188	19	8
休憩室・治療室の確保等		188	153	14	21
就職支援情報の提供、支援機関の紹介		180	153	17	10
居場所の確保		178	149	10	19
キャリア教育		169	147	16	6
障害学生向け求人情報の提供		157	140	13	4
就職先の開拓、就職活動支援		147	129	10	8

(5)発達障害を理由とする受験上の配慮(学校種別)

<概要>

○令和3年度入学者選抜において、発達障害を理由とする受験上の配慮については次のとおり。

- ・「診断書有」の受験者は476人で、多い順に学部・学科(通学)の「特別入試以外」の受験者357人、「特別入試」の受験者107人、「特別入試」の中では、多い順に「推薦入試」の受験者84人、「AO入試」の受験者23人。
- ・「診断書無・配慮有」の受験者は26人で、学部・学科(通学)の「特別入試以外」の受験者16人、「特別入試」の「推薦入試」の受験者が10人、「特別入試」の中では、多い順に「推薦入試」の受験生7人、「AO入試」の受験生2人となっている。

表76 発達障害を理由とする受験上の配慮を行なった受験者数 [学校種別]

	(人)	学部・学科(通学)					障害者 特別入試	特別入 試以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
		計	特別入試	AO入試	推薦入試	特別入試						
診断書有(再掲)	476	464	107	23	84	0	357	2	10	0	0	
大学	452	440	93	20	73	0	347	2	10	0	0	
SLD	36	34	10	1	9	0	24	0	2	0	0	
ADHD	69	68	13	3	10	0	55	0	1	0	0	
ASD	207	201	39	8	31	0	162	2	4	0	0	
発達障害の重複	140	137	31	8	23	0	106	0	3	0	0	
短期大学	13	13	8	3	5	0	5	0	—	—	0	
SLD	2	2	1	0	1	0	1	0	—	—	0	
ADHD	3	3	1	1	0	0	2	0	—	—	0	
ASD	6	6	4	1	3	0	2	0	—	—	0	
発達障害の重複	2	2	2	1	1	0	0	0	—	—	0	
高等専門学校	11	11	6	0	6	0	5	—	—	—	0	
SLD	1	1	1	0	1	0	0	—	—	—	0	
ADHD	4	4	1	0	1	0	3	—	—	—	0	
ASD	5	5	3	0	3	0	2	—	—	—	0	
発達障害の重複	1	1	1	0	1	0	0	—	—	—	0	
診断書無・配慮有	26	26	10	2	7	1	16	0	0	0	0	
大学	18	18	7	1	6	0	11	0	0	0	0	
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ADHD	4	4	2	1	1	0	2	0	0	0	0	
ASD	6	6	4	0	4	0	2	0	0	0	0	
区分不明	8	8	1	0	1	0	7	0	0	0	0	
短期大学	5	5	3	1	1	1	2	0	—	—	0	
SLD	1	1	1	0	1	0	0	0	—	—	0	
ADHD	4	4	2	1	0	1	2	0	—	—	0	
ASD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
区分不明	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
高等専門学校	3	3	0	0	0	0	3	—	—	—	0	
SLD	1	1	0	0	0	0	1	—	—	—	0	
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
ASD	2	2	0	0	0	0	2	—	—	—	0	
区分不明	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	

(6)発達障害学生の卒業後の進路状況(学校種別)

<概要>

○「診断書有」の学生については次のとおり。

・通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書有」の学生は、(令和2年5月1日現在)1,885人。令和2年度卒業生は1,297人。

・卒業生の進路状況は、進学が156人、就職が554人。

○「診断書無・配慮有」の学生については次のとおり。

・通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書無・配慮有」の学生は、(令和2年5月1日現在)720人。令和2年度卒業生は557人。

・卒業後の進路状況は、進学が48人、就職が273人。

※ 最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表77 発達障害学生の卒業後の進路状況 [学校種別]

	和 最 2 高 年 次 障 害 学 生 在 籍 数 (人)	日 生 ま れ た 障 害 学 生 の 数 (人)	令和2年度に卒業した障害学生の進路状況(令和3年5月1日まで)													
			進 学 者	大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者	就 職 者 (左 記 を 除 く)	含 む 臨 床 研 修 医 (予 定 者 を 除 く)	校 専 関 社 一 時 左 記 以 外 の 者	修 入 所 者	学 校 福 祉 施 設 ・ 医 療 機 関	的 な 職 に 就 いた 者	記 以 外 の 者
計	2,605	1,854	204	135	56	1	11	1	4	827	9	45	73	88	411	197
診断書有(再掲)	1,885	1,297	156	100	48	1	6	1	4	554	1	38	64	59	293	132
大学	1,664	1,114	114	99	14	0	0	1	4	462	1	34	61	51	265	126
SLD	36	31	7	3	3	0	0	1	1	11	0	1	1	1	6	4
ADHD	510	312	29	24	5	0	0	0	2	138	1	10	7	18	66	43
ASD	871	613	67	62	5	0	0	0	1	237	0	18	44	25	156	66
発達障害の重複	247	158	11	10	1	0	0	0	0	76	0	5	9	7	37	13
短期大学	104	78	9	0	7	1	1	0	0	35	0	4	3	8	13	6
SLD	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
ADHD	33	23	3	0	2	1	0	0	0	11	0	0	0	4	3	2
ASD	54	43	4	0	3	0	1	0	0	19	0	3	2	3	8	4
発達障害の重複	14	10	2	0	2	0	0	0	0	4	0	0	1	1	2	0
高等専門学校	117	105	33	1	27	0	5	0	0	57	0	0	0	0	15	0
SLD	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	28	22	6	0	5	0	1	0	0	15	0	0	0	0	1	0
ASD	64	62	23	1	19	0	3	0	0	29	0	0	0	0	10	0
発達障害の重複	24	20	3	0	2	0	1	0	0	13	0	0	0	0	4	0
診断書無・配慮有	720	557	48	35	8	0	5	0	0	273	8	7	9	29	118	65
大学	643	492	40	35	4	0	1	0	0	233	8	7	7	24	110	63
SLD	12	10	1	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	2	2
ADHD	143	102	7	7	0	0	0	0	0	58	0	2	2	3	19	11
ASD	302	238	26	25	1	0	0	0	0	114	0	3	5	10	50	30
区分不明	186	142	6	3	3	0	0	0	0	56	8	2	0	11	39	20
短期大学	56	49	5	0	3	0	2	0	0	28	0	0	2	5	7	2
SLD	7	7	1	0	0	0	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0
ADHD	10	7	2	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	2	0	0
ASD	15	13	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	2	2	4	0
区分不明	24	22	1	0	1	0	0	0	0	15	0	0	0	1	3	2
高等専門学校	21	16	3	0	1	0	2	0	0	12	0	0	0	0	1	0
SLD	2	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	3	3	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
ASD	9	5	1	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0
区分不明	7	6	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0

< IV. 参考資料 >

調査の手引

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2021.html

令和3年度(2021年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点	4
III. 各シートについて	8
IV. 調査票記入後の確認事項、パスワードの設定	12
V. 本調査における用語の定義	13
FAQ よくある質問集	20

調査の手引

I. 調査の概要

本調査は、全国すべての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況および修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした悉皆統計調査であり、独立行政法人日本学生支援機構(以下JASSO)が毎年実施しています。調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。

学校単位の個別情報や個人情報(保護・管理)については十分な配慮を行ないます。収集した情報は、研究及び政策立案のために使用しますが、学校及び個人が特定できる分析は行ないません。

[1] 調査の期日 令和3年5月1日現在

支援体制、活動や取組、支援の実施については、令和3年度中を対象とする

[2] 調査の内容

1. 学校基本情報(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 学校名と主となる所在地
- (2) 学校全体の学生数
- (3) 本調査の担当部署(者)
- (4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)

2. 支援体制(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
- (2) 障害学生支援に関する委員会等
- (3) 紛争解決のための第三者組織
- (4) 障害学生支援担当部署(者)
- (5) 障害学生の相談受付窓口
- (6) 支援の申し出等に関する対応手順
- (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
- (8) 支援学生(ノートテイク等)

3. 活動や取組(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

4. 受入に関する配慮(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
 - (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
 - (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮

5. 入学者数等(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害のある入学者数等
- (2) 受験上の配慮の内容

6. 令和2年度卒業生(令和2年度の学部(通学課程)最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

- (1) 学部(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数

(2) 状況別卒業障害学生数(令和3年5月1日現在)

7. 障害学生数(令和3年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)
学校種別に以下の課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

■大学・大学院(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)大学院(通学課程)、(4)大学院(通信教育課程)、(5)専攻科

■短期大学(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)専攻科

■高等専門学校(1)学部(通学課程)、(2)専攻科

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

10. その他の障害の内訳

11. 授業支援と授業以外の支援(令和3年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)
学校種別に全課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援(診断書はないが発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)
(1) 発達障害のある学生への支援における課題
(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数
支援している学生の数、実施している支援内容(授業支援及び授業以外の支援を記入してください)。

13. 意見・要望(障害学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

[3] 提出の期限 令和3年12月20日(月)

[4] 調査結果の公表

報告書:令和4年夏頃

調査結果はJASSOウェブサイト「障害のある学生の修学支援に関する実態調査

(https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/index.html)で閲覧できます。

[5] 調査票の配付

調査票は、「大学・大学院用」「短期大学用」「高等専門学校用」の3種類を用意しています。JASSOウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

なお、この「調査の手引」(PDF)はウェブサイトにも掲載しています。

令和3年度(2021年度)障害のある学生の修学支援に関する実態調査

https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2021.html

II. 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

[1] 調査票(回答)の取扱上の注意

情報保護のため、メールに添付する調査票(回答)ファイルには、読み取りパスワードを設定してください。パスワードは、JASSOよりお送りした調査依頼文書(令和3年9月1日付)に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、パスワードでロックを解除できることを確認の上、メールに添付して送信してください。

読み取りパスワードの設定方法については、12ページをご参照ください。

[2] 調査票(回答)の作成上の留意点

①セル、シート、ブックの編集はできません。

本調査票では、記入欄以外のところには記入できないようになっております。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集もできません。ただし、行の高さは編集できます。入力内容が多く、そのままでは表示できない場合は、行の高さを広げてご対応ください。

なお、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集できてしまう箇所もありますので、ご記入の際にはご注意ください。

また、セル内容をコピーして他のセルに貼り付ける場合には、必ず貼り付けオプションの「値の貼り付け」を選択してください。セル内容の全てをコピーしてしまうと、エラーチェック機能に誤動作が発生することがあります。

記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に記載するか、別表を作成して調査票(回答)とともにメールに添付してください。

②黄色のセル

本調査票には、記入すると黄色になるセルがあります。

回答が必須である設問では、セルが黄色で表示されています。回答の記入があれば白地に戻ります。また、同じ表の中で不整合が起きていると、セルが黄色に表示されます。(例:委員会があると回答しているのに、名称等の記載がない)不整合を修正すると、白地に戻ります。

回答後のご確認の際に、各設問の右側にある【記入上の注意】を参考に、黄色のセルが残っていないかご確認ください。

③記入内容の反映

黄色のセル表示が再記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっておりますので、「自動」に変更してください。

④学校名の記入

「学校名」には法人名は不要です。法人名を加えて記入(例:国立大学法人〇〇大学)すると「学校コード」にエラー表示が出ます。大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。「学校名」を記入すると、その右上の黒帯の欄に「学校コード」が表示されます。この「学校コード」は回答ファイルのファイル名に使用します。

⑤「記入上の注意」

○キャンパスが複数ある場合も1校1回答にまとめてください。

○大学内に短期大学部を有している場合は、大学(大学院を含む)と短期大学部の各1回答をお願いします。

○統合された学校で、旧校名での在籍学生がいる場合は、統合先の学校と合算せず、旧校名での回答をお願いします。

[6] 回答の提出

回答を記入した調査票データファイル(Excel)をメールに添付し、JASSOまで送信してください。

【回答のファイル名】

学校コード(13桁)_(アンダーバー)学校名_(アンダーバー)実態調査

(例:F123456789012_JASSO大学_実態調査)

※学校コードとは、文部科学省が各学校の識別用に割り当てているコードで、アルファベットのF(大学、短期大学)またはG(高等専門学校)で始まり、その後12桁の数字が入っているものです。調査票の「1.学校基本情報」シートの(1)に学校名を記入すると、上の黒帯の右端に白い文字で表示されますのでご確認ください。

【メールのタイトル】学校名

【メールの送信先】kaitou@jasso.go.jp

事情によりメールでデータファイルを送ることができない場合は、JASSO学生生活部障害学生支援課までご相談ください。

[7] 調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課障害学生調査・分析係

電話:03-5520-6176 E-Mail:shienko02@jasso.go.jp

調査票各シートの記入欄の右側には、本手引の内容を含む、より具体的な「記入上の注意」を掲載しています。回答を記入する際の参考にしてください。なお、調査票を印刷する際には、この「記入上の注意」は印刷されない設定となっています。

[3] 昨年度調査との主な相違点

昨年度導入した情報入力シート及び診断名検索を、今年度調査では「入力支援ツール」として独立させました。調査のご回答は、調査票に直接入力することもできますし、以下のシートの回答を「入力支援ツール」で作成し、コピー&ペーストすることもできます。

「入力支援ツール」は、JASSO ウェブサイトの調査票と同じページからダウンロードしていただけます。

【入力支援ツール対応シート】

5. 入学者数等
6. 令和2年度卒業生
7. 障害学生数
8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳
9. 精神障害(他の精神障害)の内訳
10. その他の障害の内訳
11. 授業支援と授業以外の支援
12. 発達障害が疑われる学生への支援

【入力支援ツールの構成】

- 診断名検索
- 障害学生情報入力シート
- 卒業生情報入力シート
- 発達障害(診断書無・配慮有)情報入力シート
- 発達障害(診断書無・配慮有)卒業生情報入力シート
- 5. 入学者数等
- 6. 令和2年度卒業生
- 7. 障害学生数
- 8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳
- 9. 精神障害(他の精神障害)の内訳
- 10. その他の障害の内訳
- 11. 授業支援と授業以外の支援
- 12. 発達障害が疑われる学生への支援

情報入力シートで、貴学の障害学生情報を、学生別に記入していただくと、その集計結果が、「入力支援ツール」内のシート5~12の回答欄に表示されるようになっていきます。ここに表示された回答データをコピーし、調査票回答欄に貼り付けてください。

※入力シート等のメリット※

- 診断名を充実させた診断名リストで診断名検索を行なうことで、障害区分がわかりやすくなりました。また、それともわからないう場合は、次のメールアドレスにお問合せ下さい。
shienka02@jasso.go.jp
- 学生別に1人の情報を受験から支援内容まで1行に続けて入力できるため、学内各部署の情報集約がしやすく、支援内容と支援障害学生数の不一致の照合が不要です。
- 学生別の情報のみ入力すれば良く、学校全体の集計作業がなくなりました。
- 昨年度の情報入力シートの情報を、今年度の「入力支援ツール」の情報入力シートにコピー&ペーストすることができ、入学者の追加、卒業生の削除、在籍学生の支援内容の変更等を加算修正すればよく、回答作業の負担が軽減します。

【回答作成の流れ】

1. 調査票の入手
JASSO ウェブサイトからダウンロードする

2. 回答の入力

1) 以下のシートには、例年同様、回答を直接入力してください。

1. 学校基本情報
2. 支援体制
3. 活動や取組
4. 受入に関する配慮
12. 発達障害が疑われる学生への支援 の(1)
13. 意見、要望

2) 障害学生の情報は、直接入力するか、「入力支援ツール」の以下の入力シートに、学生別に入力してください。「入力支援ツール」の詳しい使い方は、「入力支援ツール」内の使い方シートをご参照ください。

- 障害学生情報入力シート
- 卒業生情報入力シート
- 発達障害(診断書無・配慮有)情報入力シート
- 発達障害(診断書無・配慮有)卒業生情報入力シート

入力シートの情報が反映されるシート

5. 入学者数等
6. 令和2年度卒業生
7. 障害学生数
8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳
9. 精神障害(他の精神障害)の内訳
10. その他の障害の内訳

11. 授業支援と授業以外の支援

12. 発達障害が疑われる学生への支援

※入力した調査票の反映結果をご確認の上、回答欄をコピーし、調査票の該当シー
トの回答欄に、値貼り付けしてください。

3. 回答の提出

作成した調査票にパスワードをかけ、メールに添付して送信してください。「入力支援ソー
ル」は提出せず、貴学の控えとして保存してください。

Ⅲ. 各シートについて

1. 学校基本情報

(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 学校名と主となる所在地
学校名の欄に学校の名称を記入してください。法人名は不要です。学校名にアルファベッ
トを含む場合は全角で入力してください。
主となる所在地の欄に都道府県名を記入してください。なお、記入の際は末尾に「都」
「道」「府」「県」を付けてください。(例: 京都府、青森県)
- (2) 学校全体の学生数
令和3年5月1日現在の在籍学生数、入学者数及び令和2年度卒業生数を回答して
ください。対象となる学生の定義については、13ページをご参照ください。
・全学生数
学部……通学課程、通信教育課程／大学院……通学課程、通信教育課程／専攻科
・全入学者数(1年次のみ)
学部……通学課程、通信教育課程／大学院……通学課程、通信教育課程／専攻科
・令和2年度全卒業生数
学部……通学課程
- (3) 本調査の担当部署(者)
本調査の担当部署名、担当者(記入者)の役職・氏名(フリガナ)・連絡先(郵便番号、
住所、電話番号、FAX番号、E-Mail アドレス)を記入してください。
※回答内容に関する確認等で、連絡させていただく場合があります。
- (4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)
障害学生支援の担当部署と担当者について記入してください。担当部署が複数存在す
る場合には、いずれか1部署を代表で記入してください。
※本機構の障害学生支援事業に関するご案内等をさせていただく場合があります。

2. 支援体制

(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
障害者差別解消法の施行に伴い、これに適切に対応するための対応要領の策定は大学
等においても国公立は義務となり、私立においては文部科学省の定める対応指針に準じ
た対応を行なうこととされました。対応要領またはこれに準じる規程等があるかどうかにつ
いて回答してください。
- (2) 障害学生支援に関する専門委員会等
障害学生支援について協議・検討する委員会等の有無について回答してください。委員

- 会の名称及び代表者の役職等(副学長、学部長等)についても記入してください。
- (3) 紛争解決のための第三者組織
障害を理由とする差別及び合理的配慮の不提供に関する紛争の防止、解決等に関する調整機関の有無について回答してください。
- (4) 障害学生支援担当部署(者)
1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関の有無、名称について回答してください。
2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数について回答してください。兼任スタッフについては、障害学生支援に関する決まった担当者がなく関連部署・機関の全員が対応している場合は、人数は記入不要です。
- (5) 障害学生の相談受付窓口
支援の申し出等、障害のある学生からの相談に対応する窓口の有無及びその周知について回答してください。
- (6) 支援の申し出等に関する対応手順
支援の申し出等に関する対応手順を定めた文書について回答してください。対応手順とは、障害学生から支援の申し出を受けた際に、どのような手順で対応するかの業務の流れを指します。
対応手順の例: 手順1. 関係部署・機関が対応を協議 手順2. 障害学生との面談実施 手順3. 障害学生とともに使用する施設・設備を視察……等
- (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
障害のある学生が学生生活を送る上で必要となる施設・設備(屋外・屋内・支援機器)について、その整備状況を記入してください。キャンパスごとに整備状況が異なる場合も学校全体の状況にまとめて回答してください。
- (8) 支援学生(ノートテイク等)
障害のある学生を支援する学生(支援学生)について、支援学生組織の有無、支援を実施した場合の待遇(有償、無償等)、組織に所属する学生数等を回答してください。

3. 活動や取組
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- 令和3年度に実施する(予定含む)障害学生支援に関する活動や取組について回答してください。各項目の定義については、15 ページをご参照ください。
- ① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組
② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組
③ 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)
④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援
⑤ 他大学等との連携
⑥ 学外機関との連携
⑦ 相談対応・懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)

- ⑧ 障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)
⑨ 障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)
⑩ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣
⑪ 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイク・養成等)
⑫ 支援マニュアル、パンフレット等の配布
⑬ オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供
⑭ 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手續きなどに関する学内規程や支援事例等の周知
⑮ 障害学生支援に関する講座・講演等イベント
⑯ 障害学生支援または障害者支援に関する講義(ポランティア論等)

4. 受入に関する配慮
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
入学者選抜における受験上の配慮を周知している方法とその内容について回答してください。
- (2) 入学者選抜における受験上の配慮について、事前に事前相談の受付方法
令和3年度入学者選抜において、実際に事前相談があったかどうかに関わらず、どのような受付方法をとっていたかを回答してください。
- (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
令和3年度入学者選抜において準備していた、または受験者から申請があった場合に対応が可能であった配慮について回答してください(申請の有無は問いません)。

12. 発達障害が疑われる学生への支援
(発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)

- (1) 発達障害のある学生への支援における課題
発達障害のある学生への支援について、課題と感じていることがあれば該当欄に「」を記入してください。

13. 意見・要望

(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害学生支援の課題について
- (2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について
- (3) JASSOの障害学生支援の取組について

IV. 調査票記入後の確認事項、パスワードの設定

調査票記入後の確認事項

1. 一般的な確認事項

- (1) 学校名、学校コード、所在地の都道府県名と No. は正しく表示されていますか。
- (2) 連絡先(電話・FAX 番号)、担当部課室名、担当者の役職・氏名(フリガナ)・E-Mail アドレスに誤りはありませんか。
- (3) 前年度調査でご回答いただいた内容と比較して、各項目の数値に著しい差はありませんか。
- (4) 記入漏れシートはありませんか。

2. 項目別の確認事項

各シートに、黄色のセルは残っていませんか。セルが黄で表示される場合は、同じ表内の別の数値と不整合がないかご確認ください。

読み取りパスワードの設定について

まず、回答を記入した調査票ファイルのコピーを作成してください。元のファイルにいきなりパスワードを設定してしまうと、パスワードを紛失した場合に、ファイルが開けなくなります。コピーしたファイルに、ファイル名(3 ページ[6] 参照)をつけます。パスワードの設定方法は、以下のとおりです。

■ Excel2010・2013・2016

- ① [ファイル] タブをクリックします。
- ② [情報] をクリックします。
- ③ [ブックの保護] をクリックします。
- ④ [パスワードを使用して暗号化] をクリックし、パスワードを設定してください。

V. 本調査における用語の定義

対象となる学生について

- 【学生数】研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含みません。
- 【入学者数】1年次の入学者の数(2年次以上の編入者は含みません)。
- 【障害学生】「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生または健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)
 - ※令和3年5月1日現在、在籍していた全ての障害学生(障害があることについて)の申請が令和3年5月2日以降の場合を含む)を計上してください。
 - ※各障害種の定義(13~15ページ)もご参照ください。
- 【支援障害学生】学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている障害学生(今年度中の支援予定を含む)
- 【支援障害学生】学校の支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている障害学生(今年度中の支援予定を含む)
- 【最低在学年限超過数】各課程の最低在学年限(4年制ならば4年、6年制ならば6年)を超えて在学している障害学生数(休学者数は含みません)

障害について

- 【視覚障害】
 - 盲……視覚による教育が不可能または著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用した教育が必要な程度
 - 弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度(視野障害や、明るいところが見えにくく、暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む)
 - ※色覚異常、片目の失明や弱視については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨(色覚異常、片目の失明等)を記入する。
- 【聴覚・言語障害】
 - 聾……両耳の聴力損失60デシベル以上、または補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能、または著しく困難な程度
 - 難聴……両耳の聴力損失60デシベル未満、または補聴器を使用すれば通常の話し声を解することが可能な程度
 - 言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害(構音障害、音声障害、口蓋裂)
 - ※片耳の聾や難聴については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨(片耳の難聴等)を記入する。
- 【肢体不自由】

- 上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害
- 下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害
- 上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害
- 他の機能障害……体幹(胴体)に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害および運動の障害

- 【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者を指す。
 - 内部障害等(※1)……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこうまたは直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者
 - ※1:「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾病」に該当する者の慢性疾患(※2)……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 または、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者(てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者)はここに計上する
- ※2:これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

- 【重複】以下の通り、障害が重複している者
 - 2つの身体障害の重複
 - 視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱
 - 3つ以上の身体障害の重複
 - 視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

- 【発達障害(診断書有)】発達障害に関する医師の診断書がある者
 - SLD……限局性学習症/限局性学習障害(旧LD:学習障害)
 - ADHD……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害(旧注意欠陥/多動性障害)
 - ASD……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等:高機能自閉症及びアスペルガー症候群)
- 発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者
- 【精神障害】以下の疾患が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 または、健康診断等において下記の障害があることが明らかになった者
 - 統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害(ICD-10 F20-F29 に該当する疾患)
 - 気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分(感情)障害等(ICD-10 F30-F39 に該当する疾患)
 - 神経症性障害等……不安障害、強迫性障害(強迫神経症)、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性(転換性)障害、身体表現性障害、神経衰弱等(ICD-10 F40-F48 に

の見込みのある者に対して行なった配慮は含みません。
 【特別入試】以下の3つに分類される入試方式
 AO入試……学校独自の選抜基準(アドミッション・ポリシー)による入試
 推薦入試……出身学校長の推薦に基づき、公募制、指定校対象、付属高等学校対象等の推薦入試
 障害者特別入試……障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による入試(入試形式がAO入試、推薦入試であった場合を含む)
 【特別入試以外入試】上記に当てはまらない入試 一般入試、社会人入試、海外からの帰国生徒を対象とする入試、外国人を対象とする入試等

卒業生及び卒業後の進路について

【最高年次】
 大学……4年次または6年次(4年制、6年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計)
 短期大学……2年次または3年次(2年制、3年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計)
 高等専門学校……5年次

【就職希望者】令和3年3月31日現在卒業した障害学生のうち就職を希望していた者
 【就職者】給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者 正社員または雇用期間が一年以上で、勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ.就職者」、それ以外または雇用期間、勤務形態等が不明の場合は「カ.一時的な仕事に従事」に計上してください。自家・自営業に就いた者(継続的に本業として家業に従事する場合)も、「イ.就職者」の欄に計上してください。家事の手伝いに就いた者は「ア〜カ以外」の欄に計上してください。夜間部の学生のうち在学中すでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「イ.就職者」の欄に計上してください。「ア.進学者」のうち職に就いている者については、「イ.就職者」に含めず、「②就職数」の欄に計上してください。

【臨床研修医】医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者または5月1日現在、臨床研修医となることが予定される者も含まれます。
 【専修学校、外国の学校、教育訓練機関等入学者】「ア.進学者」以外で、学校等に入学(在籍)している者 専修学校、各種学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者等

【社会福祉施設、医療機関入所者】社会福祉施設に入所、または医療機関に入院した者 社会福祉施設、医療機関に就職した者は「イ.就職者」に計上してください。

【一時的な仕事に従事】臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者 例えばアルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を計上してください。

【ア〜カ以外】進学でも就職でもないことが明らかかな者 家事手伝いなどがここに含まれます。学校

該当する疾患)
 摂食障害、睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等(ICD-10 F50-F59に該当する疾患)
 ※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者、または、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者のうち、生活規制を必要とする程度のもの。
 ※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

【発達障害(診断書無・配慮有)】発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援(教育上の配慮等)を行なっている者

※何らかの支援(教育上の配慮等)とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

SLD……限局性学習症/限局性学習障害(ILD:学習障害)
 ADHD……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害(旧注意欠陥/多動性障害)
 ASD……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等:高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

※ICD は世界保健機関による疾病及び関連保健問題の国際統計分類で、国際的に広く用いられている統計分類基準です。令和3年5月1日時点での最新版がICD-11となります。

活動や取組について

【障害学生支援に関する講義】カリキュラムに含まれる講義(資格取得等に要するものを除く)、単位付与の有無は問わない。

【障害学生支援に関する学生向け研修】支援方法、支援技術等の習得を目的として実施するもの。
 【障害学生支援に関する講座・講演等イベント】支援についての意識啓発、情報提供等を目的として実施するもの。

入学者選抜及び受験上の配慮について

【受験上の配慮】入学者選抜において行なわれた、障害を理由とする合理的配慮(別室受験、時間延長等)

※急性性の疾病(インフルエンザ等)やけが(骨折、捻挫等)等、一過性のもの、その後に回復

て具体的な状況を把握していない者であっても、進学でも就職でもないことが明らかかな者であれば計上してください。

【不詳・死亡の者】不詳は、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者 死亡は、令和3年5月1日までに死亡した者

支援について

【点訳・墨訳】

点訳……教材、配布資料などを点字に訳すこと。

墨訳(すみやく)……試験の点字解答を出題者が採点を墨字、点字を墨字、活字に訳すこと。【教材のテキストデータ化】教材、配付資料等をテキストデータにすること。音声認識ソフトや点訳ソフトを利用するために行ないます。

【教材の拡大】教材、配付資料等を拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。

【ガイドヘルプ】移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいいます。

【リーディングサービス】教材や配布資料などを音声で読み上げる(文字を音声に訳す)こと。主として、講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者と支援者が対面して資料等を読み上げる「対面朗読」があります。

【手話通訳(触手話を含む)】講義内容や周りの様子等を手話で伝えること。盲聾者のための触手話を含みます。

【ノートイク】講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。

【パソコンテイク】講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。

【ビデオ教材字幕付け・文字起こし】教材等として使用される映像メディアの台詞やナレーションをテキスト化し、字幕として挿入する。または紙面に記すこと。

【チューターまたはティーチング・アシスタントの活用】大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。

【試験時間延長・別室受験】定期試験の際に、通常の試験時間を延長したり他の学生とは別室で試験を実施すること。点字の読み取りや筆記、代筆等で通常に比べて時間を要する場合、他の学生と同室では支障がある場合等を実施します。

【解答方法配慮】障害の状況に応じて、試験時の解答方法を変更すること。

【パソコンの持込使用許可】受講に利用するため、パソコンの持ち込みを許可すること。

【注意事項等文書伝達】定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付あるいは板書すること。

【使用教室配慮】授業で使用する教室を、移動しやすい教室や修学に適した広さ・設備のある教室にすること。

【実技・実習配慮】いわゆる座学中心の講義以外の授業(体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等)において、障害の状況に応じて配慮すること。

【教室内座席配慮】教室内の座席を障害学生が受講しやすい位置に配慮すること。

【FM補聴器/マイク使用】講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用。またはその器材の貸し出し等を行なうこと。

【専用机・イス・スペース確保】車いす用の机の配置やスペースの確保等、受講や学生生活を円滑にするために、障害の状況や特性に合わせて設備またはそれに関連する配慮を行なうこと。

【読み上げソフト・音声認識ソフト使用】電子データを音声に変換して読み上げたり、音声データを電子データに変換するソフトの活用。またはその貸し出し等を行なうこと。

【講義に関する配慮】講義内容の録音、板書の撮影等を許可すること。

【授業内容の代替・提出期限延長等】実技やリスニング等、障害学生にとって困難のある授業を別の内容に代替する、レポートや課題の提出期限を延長する等、評価方法を配慮すること。ただし評価基準はダブルスタンダードを設けず、障害のない学生との公平性を保つことが必要です。

【履修支援】履修登録の補助や支援、優先的な履修登録等の配慮をすること。

【学外実習・フィールドワーク配慮】実習先での情報保障や移動支援、実習先機関との連携等を行なうこと。

【居場所の確保】学内で1人になれるスペースを確保したり、孤立しないための仲間作り支援を行なうこと。

【通学支援】スクールの乗降や自動車通学の許可、専用駐車場の確保等を行なうこと。

【個別支援情報の収集】出身校や保護者と連携し、必要な支援や入学以前に受けていた支援に関する情報を収集すること。

【情報取得支援】学内行事の案内や休講情報等、学生生活に必要な情報を取得できよう支援すること。

【自己管理指導】スケジュール管理に関する指導や、自主学習への支援を行なうこと。

【対人関係支援】対人スキル指導や対人関係に関するトラブルへの対応を行なうこと。

【日常生活支援】食事、洗濯、清掃、入浴、睡眠等、日常生活に関する指導を行なうこと。

【専門家によるカウンセリング】臨床心理士等の専門家によるカウンセリング。

【医療機関との連携】主治医や障害に関する専門医療機関等と連携すること。

【医療機器、薬剤の保管等】透析用機器や人工呼吸器等の医療機器や、発作等の緊急用薬剤等を預かり、保管すること。

【休憩室・治療室の確保】休み時間、空き時間に利用できる休憩室や透析等の医療行為を行なうための部屋を確保すること。

【生活介助】体位変換、更衣、食事、トイレ等の介助を行なうこと。

【介助者の入構、入室許可】生活介助等を行なう介助者が学内や教室に入ることを許可すること。【キャリア教育】学生が自身の障害についての理解を深め、必要な支援や職業適性を把握できるように指導すること。

【障害学生向け求人情報の提供】障害学生を対象とする求人情報を収集し、学生に提供すること。

【就職支援情報の提供、支援機関の紹介】障害学生を対象とする就職ガイダンスやセミナー、就職支援サイト、就職支援機関等に関する情報を提供し、紹介すること。

【インターンシップ先の開拓】受け入れ先となる企業等を開拓し、障害学生のインターンシップ体験を支援すること。

【就職先の開拓、就職活動支援】障害学生の適性に合う就職先の開拓や、就職活動におけるエントリーシート作成や面接を指導すること。

FAQ よくある質問集

○ 一般的な質問

Q 障害学生が在籍していませんが、回答しなければいけませんか。

A 「1. 学校基本情報」「2. 支援体制」「3. 活動や取組」「4. 受入に関する配慮」「5. 入学者数等」、「13. 意見・要望」シートにご回答ください。また、昨年度最高年次に障害学生が在籍していた場合は「6. 令和 2 年度卒業生」に、診断書はないが発達障害が疑われる学生への支援を実施している場合は、「12. 発達障害が疑われる学生への支援」にもご回答ください。

Q 今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。

A 学生が在籍している間は回答してください。まったく在籍学生がいない場合はその旨ご連絡ください。

Q キャンパスが分かれているので、キャンパスごとに回答してもいいですか。

A お手数ですが1校1回答をお願いします。それぞれのキャンパスの情報を集約し、学校全体の回答としてまとめてください。

Q 記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。

A 行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。記入欄が足りない場合は、回答ファイルを送信する際にメール本文に内容を記載するか、追加分についての別表を作成してメールに添付してください。

Q 5月1日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入したらいいですか。

A 令和 3 年5月1日時点の数値を記入してください。

Q 研修生は対象となりますか。

A 研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。

Q 本学では、春入学の学生と秋入学の学生がいます。入学者数はどのように計上しますか。

A 調査期日（今年度 5 月 1 日）現在、1 年生の入学者数を合算して計上してください。

Q 2 年生から3 年生に進級する時点で留年し、2 年生が2 回目の学生がいます。この学生は「最低在学年限超過数」に計上しますか。

A 最低在学年限は、4 年制であれば4 年、6 年制であれば6 年となります。問いの2 年生は3 年次以

降の課程のある学生で、最低在学年限には達していないため、計上の対象とはなりません。

Q 令和2年度に入学し、留年したため現在1年生の場合、現況の欄は、入学者(1年生)と、在籍者(2年生以上)のどちらを選択すればいいですか。

A 在籍者(2年生以上)を選択してください。

Q 令和3年5月1日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。

A 学校に籍のある学生はすべて計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。

○ 調査票の取得と回答方法について

Q 「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。

A ご担当者のメールアドレス宛にファイルを送信しますので、日本学生支援機構障害学生支援課(E-Mail: shienka02@jasso.go.jp)までご連絡ください。

Q メールで回答を送りましたが、間違いないかどうかわかりません。どうしたらいいですか。

A メール送信時に開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。

Q 先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。

A 修正後、回答ファイル名の学校名の後に(再提出)と追記したファイルをメールに添付し、「学校名(再提出)」というメールタイトルで再送付してください。

Q 具体的な内容を記入したところ、欄の大きさに対して文字数が多すぎて全文が表示されません。どうしたらいいですか。

A 本調査票は集計上の都合によりセルに保護をかけていますが、行の高さは編集できます。該当セルのある行を選択し、全文が表示されるまで高さを広げてください。

○ 障害についての質問

Q 学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。

A 実態調査では学校や個人を特定できるような結果は公表しません。学校として障害があることを把握している場合には、障害学生数に計上してください。

Q 障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。

A 本調査の回答のために学生に確認する必要はありません。「障害があるらしい」と推察されるが

把握していない学生については障害学生に計上しません。ただし推察される障害が発達障害で何らかの支援を行っている場合は、この後のFAQもご参照ください。

Q 視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。

A 13ページの各障害の定義を参考に、いずれかを判断して該当する欄に計上してください。

Q 発達障害(診断書有)で、SLD、ADHD、ASDの重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。

A 発達障害の中に「発達障害の重複」という小区分があります。この区分で回答してください。

Q 精神障害で、神経症性障害等と摂食障害・睡眠障害等の重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。

A 精神障害の中に「他の精神障害」という小区分があります。この区分で回答してください。

Q 発達障害らしい学生がいて、対応に気をつけています。この場合、発達障害(診断書無・配慮有)情報入力シートに計上しますか。

A 「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行なわれている場合は計上してください。ただし、教職員個人が「発達障害らしい」と思い、個人的に配慮している場合は含みません。

Q 身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害種別はどのように計上しますか。

A 身体障害と発達障害または精神障害が重複している場合は、障害種別は身体障害とし、重複する発達障害または重複する精神障害の該当欄に、その学生の発達障害または精神障害の情報を入力してください。

Q 最近、障害があることがわかった学生がいて、5月1日現在にはそのことを把握していなかったのですが、この学生は障害学生数に含めますか。

A 5月2日以降に障害のあることを把握した学生が、5月1日現在に在籍していた場合には、障害学生数に含めてください。

Q 令和元年度から「性別違和」が調査対象外となりましたが、これは、性別違和の学生への支援は、障害学生支援関連部署の担当ではなくということですか。

A 性別違和は障害とは捉えない方向へ進んでいくものと考えていることを受けて、本調査の対象外としました。性別違和の学生への支援担当部署について等、それぞれの大学等での取り扱いに影響を及ぼすものではありません。

○活動や取組、支援について

Q 障害学生支援に関する活動や取組において「演習」は⑩の「講義」、⑪の「研修」のどちらに当てはまりますか？

A カリキュラムに含まれている「演習」ならば⑩の「講義」、カリキュラム外で支援方法、支援技術等の習得を目的とする内容であれば⑪の「研修」、カリキュラム外で意識啓発、情報提供を目的とする内容であれば⑤の「講座・講演等イベント」となります。

Q 学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援内容のところに計上しますか。

A 学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には計上してください。学校が関与していない場合は、その支援内容は計上しません。

Q 一般学生が自立的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。

A 学校に申し出がなく、学校が支援していない場合は、計上しません。

Q 自立的に障害学生を支援している学生から、ノートテイクのための入室許可の申し出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。また、支援している学生は支援学生に計上しますか。

A 支援のための入室許可は、学校の支援として「その他の授業支援」として計上してください。ただし、この場合のノートテイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。

Q パソコンテイクや点字のサークルがあり、このサークルの学生に支援活動を依頼しています。この場合は、支援学生のどこに計上したらいいですか。

A 「学生が運営する組織に参加する学生がいる」に計上してください。

Q ボランティア活動を行なう学生組織が障害学生支援を行なっています。当該学生組織は障害学生支援のみならず、学内外の様々なボランティア活動を行なっているため、所属している学生が必ずしも全員、障害学生支援に携わっている訳ではありません。この場合、支援学生の人数のカウントはどのように行なえばいいでしょうか。

A 支援学生の数については、現在実際に障害学生支援を行なっている学生数、または本年度中に障害学生支援に携わる予定の概数を実数で計上してください。

Q 授業の一環として障害学生支援に携わっている学生は支援学生として計上しますか。

A 「その他」に計上し、どういう支援学生なのかを記入する欄に、その旨(〇〇の授業の一環として障害学生支援をしている等)を記入してください。また、単位取得や成績評価の対象としている場合は、「C、その他」を選択し「C、その他の具体的な内容」にその旨を記入してください。

Q 学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。

A 「2.支援体制」の(7)「障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況」に、該当の設問がありますので、そちらに記入してください。授業支援と授業以外の支援には計上しません。

【お問い合わせ】

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課
障害学生調査・分析係
電話：03-5520-6176
E-Mail:shienka02@jasso.go.jp

調査票

(大学・大学院用)

※課程別の調査票については学部(通学課程)のみを掲載しています。

※短期大学用、高等専門学校用は、以下の2点を除き同様です。

1. 課程数

短期大学:学部(通学課程)、学部(通信教育課程)、専攻科

高等専門学校:学部(通学課程)、専攻科

2. 学科(専攻)数

短期大学:人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、
芸術、その他

高等専門学校:社会、工業、商船、芸術

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2021.html

1. 学校基本情報

令和3年度 (2021年度)	
大学、短期大学及び高等専門学校における	
障害のある学生の修学支援に関する実態調査	
(大学・大学院用)	
1. 学校基本情報	
(1) 学校名と主たる所在地	

学校名	主たる所在地の都道府県名	No.
-----	--------------	-----

(2) 学校全体の学生数 ※課程のないところ、学生数のないところには0を入力してください。

課程	令和3年度 全学生数	令和3年度 全入学者数	令和2年度 全卒業者数
学部			
通学課程			
通信教育課程			
大学院			
通学課程			
通信教育課程			
専攻科			
計	0	0	0

全入学者数または全卒業者数が0の場合、以下の当てはまる理由を選択してください。

<input type="checkbox"/>	年より募集停止しているため、入学者はいない。
<input type="checkbox"/>	年開学のため、卒業者はまだいない。
<input type="checkbox"/>	その他

(3) 本調査の担当部署 (者)

部署名	担当者
役職	氏名
郵便番号	所在地
電話番号	FAX番号
	E-Mail

(4) 障害学生支援の主たる担当部署 (者)

部署名	担当者
役職	氏名
郵便番号	所在地
電話番号	FAX番号
	E-Mail

次に「2. 支援体制」シートを記入してください。

2. 支援体制

2. 支援体制

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
 障害者差別解消法に関する対応要領、基本方針（ガイドライン）等、または障害学生支援に関する規程等（例：入学選抜、修学支援に関する委員会、部署、担当者等に関する規程、規定等）について、該当する欄に「1」を記入してください。なお、学生全般に関する規程のうち、障害学生に関する具体的な表記がないものは、下記①に該当しません。

<input type="checkbox"/>	①対応要領または基本方針、規程等がある。
<input type="checkbox"/>	②令和3年度中に策定予定である。
<input type="checkbox"/>	③対応要領または基本方針、規程等はない。

(2) 障害学生支援に関する委員会等
 障害学生支援について協議・検討する委員会について、該当する欄に「1」を記入し、下欄に代表者について記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専門委員会がある（障害学生委員会、パリアリ-委員会、支援担当者会議等）。
	委員会名
	代表者（委員長等）の役職等 （副学長、学部長等）
<input type="checkbox"/>	②専門委員会はないが、他の委員会に対応している（学生委員会等）。
	委員会名
	代表者（委員長等）の役職等 （副学長、学部長等）
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援に関して検討・協議する委員会はない。

(3) 紛争解決のための第三者組織
 障害学生に関する紛争の防止、解決等に関し、障害学生支援部署とは別に、第三者的視点で調整を行なう専門機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①第三者的視点で調整を行なう専門機関がある。
<input type="checkbox"/>	②他の機関（ラサメント委員会等）で対応している。 機関
<input type="checkbox"/>	③第三者的視点で調整を行なう機関はない。

2. 支援体制

(4) 障害学生支援担当部署（者）

1. 障害学生支援業務を行う部署、機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 専門部署・機関がある（障害学生支援センター、バリアフリー支援室等）	
	部署・機関名	
<input type="checkbox"/>	② 専門部署・機関はないが他の部署・機関が対応している（学生課、保健室等）	
	部署・機関名	
<input type="checkbox"/>	③ 障害学生支援業務を行なう部署・機関はない	

2. 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数を記入してください。

① 専任スタッフ (担当者がいる場合、左の欄に1を記入し、右の欄に人数を記入してください)	人数
ア. 障害学生支援を専門に担当するコーディネーター	
イ. 障害学生を専門に担当するカウンセラー	
ウ. 障害学生を専門に担当する医師	
エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持つ教職員	
オ. 障害学生支援を専門に担当する職員	
カ. 障害学生支援を専門に担当する教員	
キ. その他	
② 兼任スタッフ (障害学生支援担当者が決まっている場合のみ人数を計上してください。決まった担当者がなく、部署・機関の全員が臨時対応する場合は左の順のみ1を記入し、人数は記入不要です)	人数
ア. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当するコーディネーター	
イ. 他の業務と兼任で障害学生を担当するカウンセラー	
ウ. 他の業務と兼任で障害学生を担当する医師	
エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持ち他の業務と兼任で支援を行なう教職員	
オ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する職員	
カ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する教員	
キ. その他	
③ 外部スタッフ	人数
ア. 嘱託等の契約に基づき、外部から招いている医師、カウンセラー等	
イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技術者（手話通訳、ノートテイク等）	
ウ. その他	

2. 支援体制

(5) 障害学生の相談受付窓口
障害学生が支援の申し出等をしたときに、学生にとってわかりやすい窓口がありますか。窓口の有無及びその周知について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 支援の申し出等の相談に対応する窓口がある。	
	ア. 窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している。	
	イ. 窓口は設けているが、特に周知していない。	
<input type="checkbox"/>	② 支援の申し出等の相談に対応する窓口はない。	
	ア. 特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している。	
	イ. 窓口はなく、相談対応について特に周知していない。	

(6) 支援の申し出等に関する対応手順
障害学生から支援の申し出、相談等があった場合の対応手順について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 対応手順を規定した文書がある。
<input type="checkbox"/>	② 対応要領等に対応手順が記載されている。
<input type="checkbox"/>	③ 対応手順を決定する文書はない。

(7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
学生生活において必要な施設、設備の整備状況について、該当する欄に「1」を記入してください。

	学内全体に整備				部分的に整備			
	現在	必要箇所	整備しない	未整備	現在	必要箇所	整備しない	未整備
①屋外								
ア. 通路の舗装、段差の解消等								
イ. 手すり、スロープ、階段昇降機等								
ウ. 点字ブロック、標識シール等								
エ. 専用駐車場								
②屋内								
ア. 自動扉等出入口の整備								
イ. エレベーター								
ウ. 手すり、スロープ、階段昇降機等								
エ. 車椅子移動等に必要なスペース確保								
オ. 点字プレート等教室表示								
カ. 聴覚障害者用屋内信号装置								
キ. 障害者用トイレ								
ク. 自習室、読書室								
ケ. 磁気誘導ループ								
③支援機器								
ア. 点字プリンタ								
イ. 立体コピー機								
ウ. 拡大読書機								
エ. 点字携帯端末								
オ. 簡読器等								
カ. 車椅子、簡易ベッド等								
その他								

※以下に、その他の具体的な内容を記入してください。

(8) 支援学生（ノートテイカー等）
支援学生（障害学生を支援する学生）の人数、所属する組織、処遇について回答してください。
支援学生の数は、現在支援に携わっている、または本年度中に支援に携わる予定の人数を、延べ数ではなく、重数で計上してください。
障害学生が個人的に依頼した学生が個人的に支援している、学校が関わっていない場合は含みません。

1) 支援学生の数 ※正確な人数が不明の場合は概数で回答してください。

支援学生がいる（支援学生に支援を依頼している）。 人

支援学生が行なっている具体的な支援内容 ※複数ある場合は、複数記入してください。

2) 支援学生はいる（支援学生による支援は行っていない）。

2) 支援学生の組織 ※複数回答可

① 学校が運営する組織に登録している支援学生がいる。

A. 有償 人

B. 無償 人

C. その他 人

C. その他の具体的な内容

② 上記①以外の支援学生がいる。

i) 学生が自主的に運営する組織に参加する支援学生がいる。

A. 有償 人

B. 無償 人

C. その他 人

C. その他の具体的な内容

ii) 他校の協力により支援学生を派遣してもらっている。

A. 有償 人

B. 無償 人

C. その他 人

C. その他の具体的な内容

iii) その他 上記 i) ii) に該当しない支援学生がいる

※授業の一環として障害学生支援を行なっている場合等はこちらを選択してください。また、その中で単位取得、成績評価等に反映している場合は、下の C. その他 を選択して具体的な内容を記入してください。

以下にどのような支援学生なのかを記入してください。（例：その課題として行なっている等）

A. 有償 人

B. 無償 人

C. その他 人

C. その他の具体的な内容

3. 活動や取組

以下の活動や取組を実施している場合は、実施の欄に「1」を記入してください。

① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組					
ア. 教職員向けの研修会等の実施					
イ. 学生向けの研修会等の実施					
ウ. パンフレット等の配布					
エ. その他					
② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組					
ア. 教職員向けの研修会等の実施					
イ. 学生向けの研修会等の実施					
ウ. パンフレット等の配布					
エ. その他					
③ 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）					
ア. 相談窓口について					
イ. 支援の申し出方法について					
ウ. 支援内容決定のプロセスについて					
エ. 具体的な授業支援等の支援内容の説明					
オ. 在籍障害学生数					
カ. 在籍支援障害学生数					
キ. キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示					
ク. その他					

④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援					
ア. 学外機関との連携、支援情報の提供					
イ. 一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施					
ウ. 障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施					
エ. インターネット先、就職先の開拓、企業との連携					
オ. その他					
⑤ 他大学等との連携					
連携している学校名と連携内容、または参加している（大学等による）ネットワーク名と活動内容を記入してください。					
名称/					
内容/					
名称/					
内容/					
名称/					
内容/					
名称/					
内容/					

3. 活動や取組

⑥ 学外機関との連携
相談・支援機関、訓練機関、企業等、連携機関の名称と連携内容を記入してください。

名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	
名称/ 内容	

⑦ 相談対応・懇談会等（障害学生・支援スタッフ向け）

名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象

⑧ 障害学生支援に関する（学内）教員研修（FD等）

名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数

3. 活動や取組

⑨ 障害学生支援に関する（学内）職員研修（SD等）

名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象

⑩ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣

名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数

3. 活動や取組

⑬ 障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイク・養成等）		回数
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		

⑭ 支援マニュアル、パンフレット等の配布

⑮ オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供

⑯ 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知

⑮ 障害学生支援に関する講座・講演等イベント		対象
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		

3. 活動や取組

⑯ 障害学生支援または障害者支援に関する講義（ポテンティアル論等）		種別
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		
名称/ 内容		

次に「4. 受入に関する配慮」シートをご記入ください。

4. 受入に関する配慮

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知

入学者選抜における受験上の配慮の周知について、①～③のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、①②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記載してください。

<input type="checkbox"/>	①入試要項（募集要項）に、受験上の配慮に関する記載がある。 ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している。 イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。 ウ. その他 <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	②ホームページに、受験上の配慮に関する記載がある。または、記載のある入試要項を掲載している。 ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している。 イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。 ウ. その他 <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③入試要項にも、ホームページにも記載していない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法

入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法について、①～④のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載してください。

<input type="checkbox"/>	①随時、受け付けている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	②全学共通のルールで期間を設けている。 ※ルールは同じだが試験日が違うので実際の期日は違うという場合もこちらを選択してください。 ア. 出願受付締切まで <input type="checkbox"/> 1. 試験前日まで <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ウ. その他 <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③学部、学科等や入試形態によって違う。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	④特に告知はしていないが、相談があれば対応する。	<input type="checkbox"/>

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮

令和3年度入学者選抜において、もし受験者から申請があったら対応が可能だった受験上の配慮を、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①配慮の準備がある。または申し出があれば対応可能な配慮がある。	<input type="checkbox"/>	L. 車椅子等の持参使用
<input type="checkbox"/>	A. 点字問題を点字で解答	<input type="checkbox"/>	M. 松葉杖の持参使用
<input type="checkbox"/>	B. 拡大文字問題の準備	<input type="checkbox"/>	N. パソコン等の持参使用
<input type="checkbox"/>	C. 拡大解答用紙の準備	<input type="checkbox"/>	O. 手話通訳者の付与
<input type="checkbox"/>	D. 音声で出題し音声で解答	<input type="checkbox"/>	P. 文書による伝達
<input type="checkbox"/>	E. マークシートに替えて文字で解答	<input type="checkbox"/>	Q. 窓側の明るい席の指定
<input type="checkbox"/>	F. チェック解答	<input type="checkbox"/>	R. トイレに近接する試験室に指定
<input type="checkbox"/>	G. 試験時間の延長	<input type="checkbox"/>	S. 別室を設定
<input type="checkbox"/>	H. 照明器具の準備	<input type="checkbox"/>	T. 試験室を一階に設定
<input type="checkbox"/>	I. 特製机の使用	<input type="checkbox"/>	U. 介助者の付与
<input type="checkbox"/>	J. 拡大鏡等の持参使用	<input type="checkbox"/>	V. 試験場への車での入構許可
<input type="checkbox"/>	K. 補聴器の持参使用		
<input type="checkbox"/>	W. その他 <input type="text"/>		
	具体的な内容		
	1 <input type="text"/>		
	2 <input type="text"/>		
	3 <input type="text"/>		
	4 <input type="text"/>		
	5 <input type="text"/>		
	6 <input type="text"/>		
	7 <input type="text"/>		
	8 <input type="text"/>		
	9 <input type="text"/>		
	10 <input type="text"/>		
<input type="checkbox"/>	②申し出がなかったため検討しておらず、回答できない。		

次に「5. 入学者数等」シートをご記入ください。

障害種別	部所名	WECOMの具体的な内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		
50		

6. 令和2年度卒業生
(1) 学部（通学課程） 最高年次及び卒業障害者学生数

障害種別	R2年度卒業生		
	①	②	③
視覚障害			
聴覚障害			
言語障害			
知的障害			
発達障害のみの障害			
肢体不自由			
下肢機能障害			
上肢機能障害			
身体機能障害			
他の機能障害			
病弱・虚弱			
内部障害等			
他の慢性疾患			
重複			
発達障害			
SLD			
ADHD			
(診断書有)			
発達障害の重複			
ASD			
統合失調症等			
気分障害			
気分障害			
神経症性障害等			
摂食障害・睡眠障害等			
他の精神障害			
その他の障害			
計	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、支援を行なった卒業者の数

発達障害	SLD			
(診断書有)	ADHD			
無・配慮	ASD			
有)	区分不明			
計	計	0	0	0

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

	課程	学科(専攻)	内訳(診断名)	ア		現況
				障害学生 数	アのうち 支援障害 学生数	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

	課程	学科(専攻)	内訳(診断名)	ア		現況
				障害学生 数	アのうち 支援障害 学生数	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						

11. 授業支援と授業以外の支援

区分	視覚障害 言語障害 聴覚障害 身体障害 その他	聴覚障害 言語障害 聴覚障害 身体障害 その他	下肢 上肢 視覚 聴覚 その他	精神障害 発達障害 統合失調症 気分障害 うつ病 その他	有(発症) S A I A D S L D H I D D その他	精神障害 統合失調症 気分障害 うつ病 その他	その他の障害 実施の有無
支援障がい学生数	0	0	0	0	0	0	0
1 授業以外の支援	0	0	0	0	0	0	0
2 学生生活支援	0	0	0	0	0	0	0
3 個別支援情報の収集(出身校との連携等)	0	0	0	0	0	0	0
4 情報取得支援(行事案内、休職情報等)	0	0	0	0	0	0	0
5 社会的スキル指導	0	0	0	0	0	0	0
6 自己管理指導(スケジュール管理等)	0	0	0	0	0	0	0
7 日常生活支援(食事、入浴、睡眠等)	0	0	0	0	0	0	0
8 専門家によるカンセリング	0	0	0	0	0	0	0
9 医療機関との連携	0	0	0	0	0	0	0
# 医療機関、薬局の連携	0	0	0	0	0	0	0
# 休憩室・治療室の確保等	0	0	0	0	0	0	0
# 生活支援	0	0	0	0	0	0	0
# 生活介助(体位変換、食事、トイレ等)	0	0	0	0	0	0	0
# 介助者の入構、入室許可	0	0	0	0	0	0	0
# キャンパス教育(障害理解、職業適性の把握等)	0	0	0	0	0	0	0
# 障害学生向け求人情報の提供	0	0	0	0	0	0	0
# 就職支援情報提供、支援機関の紹介	0	0	0	0	0	0	0
# インターンシップ先の開拓	0	0	0	0	0	0	0
# 就職先の開拓、就職活動支援	0	0	0	0	0	0	0
# その他の授業以外の支援	0	0	0	0	0	0	0

11. 授業支援と授業以外の支援

課程	障害大区分		障害小区分		具体的な内容
	1	2	1	2	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					

No.	課程	障害大区分	障害小区分	具体的内容
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

12. 発達障害が疑われる学生への支援

(1) 発達障害のある学生への支援における課題
 発達障害のある学生への支援は、高等教育機関によって形成型の課題の1つと見なされています。課題と視念されている事項に記入してください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	学生の修学上の困難が発達障害によるものか不明
<input type="checkbox"/>	教員の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	職員/発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	周囲の学生の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の自己理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の保護者の理解
<input type="checkbox"/>	支援体制/学習困難
<input type="checkbox"/>	個人情報/相談
<input type="checkbox"/>	その他

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行っている学生数

[1]学部 (通学課程) 学科 (専攻) ①人文科学～保健 (医・歯学)		人文科学		社会科学		工学		農学		保健 (医・歯学)			
学科(専攻)別/ 障害種別	学修(専攻)別/ 障害種別	S	A	A	A	S	A	A	A	S	A	A	A
発達障害 (発達障害(広義)) 支援学生数	発達障害 (発達障害(広義)) 支援学生数	L	D	S	D	L	D	S	D	L	D	S	D
体学障	体学障	D	H	D	D	D	H	D	D	D	H	D	D
学障	学障	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明
1	1												
2	2												
3	3												
4	4												
5	5												
6	6												
7	7												
8	8												
9	9												
10	10												
11	11												
12	12												
13	13												
14	14												
15	15												
16	16												
17	17												
18	18												
19	19												
20	20												
21	21												
22	22												
23	23												
24	24												
25	25												
26	26												
27	27												
28	28												

[1]学部 (通学課程) 学科 (専攻) ②保健 (医・歯学を除く)～その他

[1]学部 (通学課程) 学科 (専攻) ②保健 (医・歯学を除く)～その他		保健 (医・歯学を除く)		農学		工学		社会科学		人文科学			
学科(専攻)別/ 障害種別	学修(専攻)別/ 障害種別	S	A	A	A	S	A	A	A	S	A	A	A
発達障害 (発達障害(広義)) 支援学生数	発達障害 (発達障害(広義)) 支援学生数	L	D	S	D	L	D	S	D	L	D	S	D
体学障	体学障	D	H	D	D	D	H	D	D	D	H	D	D
学障	学障	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明	明
1	1												
2	2												
3	3												
4	4												
5	5												
6	6												
7	7												
8	8												
9	9												
10	10												
11	11												
12	12												
13	13												
14	14												
15	15												
16	16												
17	17												
18	18												
19	19												
20	20												
21	21												
22	22												
23	23												
24	24												
25	25												
26	26												
27	27												
28	28												

※その他の授業支援の具体的な内容

No.	項目	所属区分	個別に支援の具体的な内容
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

※その他の授業以外の支援

No.	項目	所属区分	個別に支援の具体的な内容
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

13. 意見、要望

(1) 障害学生支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

(3) 日本学生支援機構の障害学生支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

◆ご協力ありがとうございました◆

ご記入内容を再度ご確認ください。「調査の手引」をご参照の上、読み取りパスワードでロックしたファイルをJASSOまでメールにてご送付ください。

令和 3 年度(2021 年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における

障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和 4 年 8 月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051

E-mail:shienka02@jasso.go.jp

